

CA Service Desk Manager

CA CMDB テクニカル リファレンス ガイド
r12.5



本書及び関連するソフトウェア ヘルプ プログラム(以下「本書」と総称)は、ユーザへの情報提供のみを目的とし、CA はその内容を予告なく変更、撤回することがあります。

CA の事前の書面による承諾を受けずに本書の全部または一部を複写、譲渡、複製、開示、修正、複製することはできません。本書は、CA または CA Inc. が権利を有する秘密情報であり、かつ財産的価値のある情報です。ユーザは本書を開示したり、CA とユーザとの間で別途締結される機密保持契約により許可された目的以外に使用することはできません。

上記にかかわらず、本書に記載されているソフトウェア製品に関連して社内でユーザおよび従業員が使用する場合に限り、該当するソフトウェアのライセンスを受けたユーザは、合理的な範囲内の部数の本書の複製を作成できます。ただし CA のすべての著作権表示およびその説明を各複製に添付することを条件とします。

本書のコピーを作成する上記の権利は、ソフトウェアの該当するライセンスが完全に有効となっている期間内に限定されます。いかなる理由であれ、そのライセンスが終了した場合には、ユーザは CA に本書の全部または一部を複製したコピーをすべて CA に返却したか、または破棄したことを文書で証明する責任を負います。

準拠法により認められる限り、CA は本書を現状有姿のまま提供し、商品性、お客様の使用目的に対する適合性、他者の権利に対する不侵害についての黙示の保証を含むいかなる保証もしません。また、本書の使用に起因し、逸失利益、投資の喪失、業務の中断、営業権の損失、データの損失を含むがそれに限らない、直接または間接のいかなる損害が発生しても、CA はユーザまたは第三者に対し責任を負いません。CA がかかる損害の可能性について事前に明示に通告されていた場合も同様とします。

本書に記載されたソフトウェア製品は、該当するライセンス契約書に従い使用されるものであり、該当するライセンス契約書はこの通知の条件によっていかなる変更も行われません。

本書の制作者は CA および CA Inc. です。

「制限された権利」のもとでの提供:アメリカ合衆国政府が使用、複製、開示する場合は、FAR Sections 12.212、52.227-14 及び 52.227-19(c)(1)及び(2)、ならびに DFARS Section 252.227-7014(b)(3) または、これらの後継の条項に規定される該当する制限に従うものとします。

Copyright © 2009 CA. All rights reserved. 本書に記載された全ての商標、商号、サービスマークおよびロゴは、それぞれ各社に帰属します。

CA 製品リファレンス

このマニュアル セットで参照されている CA 製品は、以下のとおりです。

- CA Advantage™ Data Transformer (ADT)
- CA APM (CA Asset Portfolio Management)
- CA CMDB
- CA Business Intelligence
- CA Cohesion® Application Configuration Manager (CA Cohesion ACM)
- CA Embedded Entitlements Manager (CA EEM)
- CA Enterprise Workload Automation (CA EWA)
- CA IT Process Automation Manager (CA IT PAM)
- CA 管理データベース (CA MDB)
- CA Management Portal
- CA NSM (CA Network and Systems Management)
- CA Portal
- CA Remote Control Manager (CA RCM)
- CA Service Desk Manager (CA SDM)
- CA Service Management
- CA Siteminder
- CA Software Delivery
- CA Spectrum® Infrastructure Manager (CA Spectrum)
- CA Wily
- CA Workflow
- Unicenter Asset Portfolio Management (UAPM)

CA への連絡先

テクニカル サポートの詳細については、弊社テクニカル サポートの Web サイト (<http://www.ca.com/jp/support/>) をご覧ください。

目次

第 1 章: はじめに	9
対象読者	9
CI ファミリーおよびクラス	9
構成アイテム ファミリーのリスト	10
構成アイテム ファミリーの概要を生成する	10
MDB 拡張テーブル	11
共通属性	11
関係タイプ	15
関係タイプのリスト	19
第 2 章: ファミリーおよびクラス	21
ベース ファミリー	21
Cluster (クラスター) ファミリー	22
Cluster の属性	22
Cluster.Resource の属性	24
Cluster.Resource グループの属性	24
Contact (連絡先) ファミリー	25
Contact の属性	25
Contract (契約) ファミリー	26
Contract の属性	27
Document (ドキュメント) ファミリー	27
Document の属性	28
Enterprise (エンタープライズ) ファミリー	29
Enterprise.Service の属性	29
Enterprise.Transaction の属性	31
Facilities (設備) ファミリー	33
Facilities.Air Conditioning の属性	34
Facilities.Fire Control の属性	35
Facilities.Furnishings の属性	36
Facilities.Other の属性	37
Facilities.Uninterruptible Power Supply の属性	38
Hardware (ハードウェア) ファミリー	39
Investment (投資) ファミリー	59
Investment.Idea の属性	61

Investment.Other の属性	62
Investment.Project の属性	63
Location (ロケーション) ファミリー	64
Location の属性	64
Network (ネットワーク) ファミリー	65
Network.Bridge の属性	67
Network.Controller の属性	69
Network.Frontend の属性	71
Network.Hub の属性	73
Network.Network Interface Card の属性	75
Network.Other の属性	77
Network.Peripheral の属性	79
Network.Port の属性	81
Network.Router の属性	83
Network.Switch の属性	86
Organization (組織) ファミリー	88
組織属性	88
Security (セキュリティ) ファミリー	89
Security の属性	90
Service (サービス) ファミリー	90
サービス属性	91
SLA (サービス レベル アグリーメント) ファミリー	92
SLA の属性	92
Software (ソフトウェア) ファミリー	93
Software の属性	95
Software.Database の属性	97
Software.In-House の属性	98
Software.Operating System の属性	100
J2EE 規格	101
ストレージ エリア ネットワーク (SAN) ファミリー	103
SAN.Interface の属性	103
SAN.Switch の属性	105
Telecom (テレコム) ファミリー	107
Telecom.Circuit の属性	108
Telecom.Other の属性	110
Telecom.Wireless の属性	113
Telecom.Radio の属性	116
Telecom.Voice の属性	118

第 3 章: General Resource Loader (GRLoader)	123
GRLoader に関する考慮事項	123
GRLoader コマンド	124
XML 入力	129
MAC アドレスの正規化	131
エラー処理	132
GRLoader 構成ファイル	132
構成ファイルのオプション	133
GRLoader XML	135
XML コンテンツ: CI タグ	136
XML コンテンツ: 関係タグ	141
XML コンテンツ: 特殊な値	143
連絡先およびその他のルックアップ フィールド	144
既存のテーブルのデータに対して検証されたフィールド (SREL)	145
データ変換	146
変換ルールの作成	147
ルールの構文	159
リモート MDR からの GRLoader の実行	161
GRLoader およびマルチテナンシー	162
第 4 章: CI 調整	165
CI 調整属性	165
トランザクション ワーク エリア属性	167
ci_twa_ci 属性	167
ci_twa_relation 属性	168
第 5 章: CA CMDB Web サービス	169
CA CMDB Web サービス	169
Web サービスの展開	169
Web サービス コンポーネント	170
登録サービス	170
クエリ サービス	171
ログイン	172
CA CMDB Web サービス アクセス	172
CA CMDB のすべてのファミリーからすべての CI を返すコード	173
サンプル Java プログラム	173
WSDL ドキュメント	174
セキュリティに関する考慮事項	174

CMDBf 実装: CA CMDB の制限	175
項目テンプレートの制限.....	176
登録の制限	176
関係テンプレートのサポートと制限	177
一般的な制限	178
日付データ タイプ	179
日付時間データ タイプ	179
第 6 章: マルチテナンシーおよび CI	181
マルチテナンシーが CI に影響する仕組み	181
CI リストおよびマルチテナンシー関係	182
CI 作成およびマルチテナンシー関係	183
CI 更新およびマルチテナンシー関係	185

第 1 章: はじめに

このセクションには、以下のトピックが含まれています。

[対象読者](#) (9 ページ)

[CI ファミリオよびクラス](#) (9 ページ)

[共通属性](#) (11 ページ)

[関係タイプ](#) (15 ページ)

対象読者

このマニュアルは、以下の CMDB (Configuration Management Database、構成管理データベース)タスクを実行する開発者の方を対象としています。

- CA CMDB にデータをマップする
- CA CMDB 構成アイテムを管理する
- Advantage Data Transformer (ADT)を使用して Federation Adapter に書き込む
- CMDBf Web サービスを使用して CA CMDB を操作する

CA CMDB の実装を計画する場合は、このマニュアルを参照してください。これらのタスクを実行するとき、このマニュアルの使用するセクションを印刷して手元に置いておくことができます。

CI ファミリオよびクラス

構成アイテム(CI)ファミリーでは、事業資産をタイプ別に分類し、ファミリーの各 CI に意味のある属性を割り当てます。ファミリーは、ハードウェア、ソフトウェア、サービス CI などの一般的な CI のカテゴリです。

CI クラスは、ファミリー カテゴリに含まれる特定のカテゴリです。たとえば、ハードウェアというファミリーには、モデム、ルータ、リピータ、ブリッジなどの CI クラスが含まれます。

CI をファミリーとクラスに編成することによって、管理が容易になります。たとえば、特定のファミリーまたはクラスに属している CI のリストを作成できます。

以下のシーケンスを使用して、事業資産を分類します。

1. CI ファミリーを定義する。
2. CI クラスを定義する。
3. CI を定義する。

構成アイテム ファミリのリスト

CA CMDB CI ファミ리를リストしてそれらの説明を表示することができます。

構成アイテム ファミ리를リストするには、以下の手順に従います。

1. 管理者として CA Service Desk Manager にログインします。
Web インターフェースが表示されます。
2. [管理]をクリックします。
管理ツリーが表示されます。
3. CA CMDB、[CI ファミ리를]をクリックしてフォルダ構造を移動します。
CI ファミ리와その説明がリストされます。
4. (オプション)CI ファミ리를名をクリックします。
CI ファミ리를詳細が表示されます。

構成アイテム ファミ리의概要を生成する

レポート形式で CA CMDB CI ファミ리를リストしてそれらの説明を表示することができます。

構成アイテム ファミ리를リストするには、以下の手順に従います。

1. 管理者として CA Service Desk Manager にログインします。
Web インターフェースが表示されます。
2. [管理]をクリックします。
管理ツリーが表示されます。
3. CA Service Desk Manager、[CI ファミ리를]をクリックしてフォルダ構造を移動します。
CI ファミ리와その説明がリストされます。
4. [レポート]、[概要]をクリックします。
概要レポートが別のウィンドウに表示されます。
5. (オプション)[印刷]をクリックしてプリンタを選択し、レポートを印刷します。
レポートが印刷されます。

MDB 拡張テーブル

各 CI ファミリには、MDB の拡張テーブルに含まれているファミリ固有の属性セットがあります。ファミリ固有属性は、各 CI タイプの固有の特性を示します。たとえば、Hardware.Server ファミリの CI には、以下の内容を表す属性があります。

- swap_size - スワップ アウトされたプロセスの状態を保存するためにハードウェアまたはネットワーク デバイスに割り当てられたディスク領域のサイズ。
- mem_capacity - インストールして使用することができるメモリの合計量。
- slot_total_mem - ハードウェアまたはネットワーク デバイスのメモリ カードで使用可能なメモリの合計量。

CA Service Desk Manager を実装する場合は、管理する CI のタイプ、および追跡できる属性を決定します。

共通属性

以下の属性は、さまざまなファミリに共通の属性です。

オブジェクト名	説明
acquire_date	リソースを取得した日付。
alarm_id	IP アドレス。(ハードウェアの場合のみ)
asset_count	リソースの数量
asset_num	代替リソース ID。例: コンピュータ上のシールに記載されている ID。
class	オブジェクトでは、クラスの名前。 テーブルでは、ca_resource_class テーブルへの外部キー (SREL integer から grc)。
company_bought_for_uuid	オブジェクトでは、CI を購入した会社の名前。 テーブルでは、ca_company テーブルへの外部キー (SREL uuid から ca_cmpny)。
contact_1	オブジェクトでは、ユーザ定義の連絡先フィールド。 テーブルでは、ca_contact テーブルへの外部キー (SREL uuid から cnt)。
contact_2	オブジェクトでは、ユーザ定義の連絡先フィールド。 テーブルでは、ca_contact テーブルへの外部キー (SREL uuid から cnt)。

オブジェクト名	説明
contact_3	オブジェクトでは、ユーザ定義の連絡先フィールド。 テーブルでは、ca_contact テーブルへの外部キー (SREL uuid から cnt)。
creation_date	CI が作成された日時を示すタイムスタンプ (pdmtime)。
creation_user	CI を作成した連絡先のユーザ ID。
delete_flag	アクティブ FALSE 0(ゼロ) いいえ: CI はアクティブで表示リストに表示されます(初期設定)。 非アクティブ TRUE 1(one) はい: CI はアクティブではなく、表示リストに表示されません。
department	オブジェクトでは、部門の名前。 テーブルでは、ca_resource_department テーブルへの外部キー (SREL integer から dept)。
description	リソースの名称または説明
dns_name	デバイスがドメイン ネーム サーバで認識されている名前
exclude_registration	登録の除外
expense_code	オブジェクトでは、CI のコスト センター。 テーブルでは、ca_resource_cost_center テーブルへの外部キー (SREL integer から cost_cntr)。
expiration_date	ライセンス、リースなどが失効する日
family	オブジェクトでは、ファミリの名前。 テーブルでは、ca_resource_family テーブルへの外部キー (SREL integer から nrf)。 hardware.server、 network.router、 software.database など、上位レベルでの拡張に使用します。
financial_num	ファイナンス番号。
install_date	リソースが組織またはネットワークにインストールされた日付。
is_asset	フィルタ目的のためにアセットを分類したり、CA CMDB やその他の製品 (CA Asset Portfolio Management など) で表示を制御したりする場合に設定できるブール値フラグ。 CA CMDB では、アセットが CA Asset Portfolio Management で管理されている場合はこのフ

オブジェクト名	説明
	ラグを[いいえ]に変更できません。
is_ci	フィルタ目的のために CI を分類したり、CA CMDB やその他の製品 (CA Asset Portfolio Management など) で表示を制御したりする場合に設定できるブール値フラグ。デフォルトでは、CA CMDB によって作成された CI には CI としてのフラグが設定されますが、アセットとしてのフラグは設定されません。
last_mod_by	CI を最後に変更した連絡先のユーザ ID。
license_number	ライセンス情報。
loc_cabinet	キャビネットのロケーション。
loc_floor	フロアのロケーション。
loc_room	部屋のロケーション。
loc_shelf	シェルフのロケーション。
loc_slot	スロットのロケーション。
ロケーション	オブジェクトでは、ロケーションの名前。 テーブルでは、location テーブルのレコードへの外部キー (SREL uuid から loc)。
mac_address	MAC アドレス。(ハードウェアの場合のみ)
manufacturer	オブジェクトでは、CI を製造した会社の名前。 テーブルでは、ca_company テーブルのレコードへの外部キー (SREL uuid から ca_cmpny)。
モデル	オブジェクトでは、CI のモデル名。 テーブルでは、ca_model_def テーブルへの外部キー (SREL uuid から mfrmod)。
name	リソースの名前です。
name_type	ハードウェア、ソフトウェアなどを示す ca_asset_type テーブルへの外部キー
org_bought_for_uuid	オブジェクトでは、CI を購入した組織の名前。 テーブルでは、ca_organization テーブルへの外部キー (SREL uuid から org)。
優先度	このエントリの列挙値で、リストおよび関連する値の順序を指定 (SREL integer から pri)。
product_version	製品リリース

オブジェクト名	説明
repair_org	オブジェクトでは、CI の保守を担当する組織の名前。 テーブルでは、ca_organization テーブルへの外部キー (SREL uuid から org)。
resource_alias	リソースの別名
resource_contact	オブジェクトでは、CI に責任を持つ連絡先の名前。 テーブルでは、ca_contact テーブルへの外部キー (SREL uuid から cnt)。
resource_owner_uuid	オブジェクトでは、CI の担当者の名前。 テーブルでは、ca_contact テーブルへの外部キー (SREL uuid から cnt)。
serial_number	シリアル番号
service_org	オブジェクトでは、リソースの最終責任を持つ組織の名前。 テーブルでは、ca_organization テーブルへの外部キー (SREL uuid から org)。
service_type	編集不可能な列挙値 (SREL string から no_contract_sdsc)。
sla	この usp_owned_resource の SLA 値。
smag_1	ユーザ定義の文字列フィールド。
smag_2	ユーザ定義の文字列フィールド。
smag_3	ユーザ定義の文字列フィールド。
smag_4	ユーザ定義の文字列フィールド。
smag_5	ユーザ定義の文字列フィールド。
smag_6	ユーザ定義の文字列フィールド。
standard_ci	比較用の標準構成。
status	オブジェクトでは、CI のステータスを示すインジケータ。 テーブルでは、ca_resource_status テーブルへの外部キー (SREL integer から rss)。
supplier	オブジェクトでは、CI の供給に責任を持つベンダーの名前。 テーブルでは、ca_company テーブルへの外部キー

オブジェクト名	説明
	(SREL uuid から ca_cmpny)。
system_name	コンピュータ名。(ハードウェアの場合のみ)
tenant	CI のテナント割り当て。
vendor_repair	オブジェクトでは、CI の保守を提供するベンダーの名前。 テーブルでは、ca_company テーブルへの外部キー (SREL uuid から ca_cmpny)。
vendor_restore	オブジェクトでは、リソースの最終責任を持つ会社の名前。 テーブルでは、ca_company テーブルへの外部キー (SREL uuid から ca_cmpny)。
warranty_end	保証終了日
warranty_start	保証開始日

関係タイプ

関係は、CI 間の方向性のつながりです。

プロバイダ/従属	従属/プロバイダ	関係の説明
administers (処理する)	is administered by (処理される)	責任のあるエンティティ (通常、担当者) がその他のエンティティの日常的な管理を実行します。
approves (承認する)	is approved by (承認される)	責任のあるエンティティは、別のエンティティが計画済みまたは必要なアクティビティを続行することに対して承認を与えます。
authorizes (許可する)	is authorized by (許可される)	責任のあるエンティティが、その他のエンティティのアクティビティを許可します。
authors (作成する)	is authored by (作成される)	責任のある担当者がドキュメント CI を書きます/作成します。
Backs up (バックアップする)	is backed up by (バックアップされる)	データ復旧および保管のために、あるエンティティの重要な情報が別のエンティティに格納されます。

プロバイダ/従属	従属/プロバイダ	関係の説明
communicates with (通信する)	communicates with (通信する)	論理的または物理的に接続された 2 つのエンティティが、データまたは情報を相互にやり取りするピアツーピア関係。
complies to (準拠する)	is complied to by (準拠される)	あるエンティティが、別のエンティティで示される規則 (CobIT、SOX など) に従います。
connects to (接続する)	connects to (接続する)	2 つのエンティティが論理的または物理的に接続されたピアツーピア関係。
contains (含む)	is contained by (含まれる)	あるエンティティが物理的または論理的に別のエンティティの保管場所となっている場合、前者は後者を含むとみなします。含まれるエンティティによって、含むエンティティにサービスが提供されます。
コントロール	is controlled by (制御される)	あるエンティティ (一般的に、SLA) が、別のエンティティで提供される予定のサービスのレベルを指定します。
defines (定義する)	is defined by (定義される)	あるエンティティが別のエンティティの実際の状態または望ましい状態を示す場合、前者は後者を定義するとみなします。
deploys (展開する)	is deployed by (展開される)	責任のあるエンティティが、その他のエンティティをまとめたり分割したりします。
ドキュメント	is documented by (文書化される)	あるエンティティ (通常はドキュメント) が、別のエンティティの操作または他の部分について説明します。 [documents (文書化する)] は、主として、規範的な関係ではなく説明的な関係です。
fails over (フェールオーバーする)	fails over (フェールオーバーする)	通常、致命的なサービスの中断に対応して、あるエンティティが別のエンティティに取って代わることができる、2 つのエンティティ間のピアツーピア関係です。
Fronts (導入となる)	is fronted by (導入される)	あるエンティティが、別の物理エンティティのリクエストの許可および応答に

プロバイダ/従属	従属/プロバイダ	関係の説明
		責任を持つ関係。たとえば、Webサーバはアプリケーションの導入(部)となります。
governs (制御する)	is governed by (制御される)	管理機関 (NIST、SOX PCAOB、SEC) は、一般的に、管理されるエンティティで準拠する必要がある規則および決定を発行します。
has an assignee (担当者がいる)	is assigned to (割り当てられる)	あるエンティティ (通常は個人) が別のエンティティの責任者として指名されます。
Hosts (ホストする)	is hosted by (ホストされる)	あるエンティティが、継続的な別のエンティティをホストします。ホストされるエンティティは、ホストするエンティティによって提供されるサービスを使用します。
is business owner of (事業主である)	is owned by (所有されている)	あるエンティティ (通常は個人) が別のエンティティのビジネス連絡先の責任者として指定されます。
is gateway for (ゲートウェイである)	has for gateway (ゲートウェイがある)	ハードウェア (コンピュータ) またはネットワーク コンポーネントのエンティティが、別の管理デバイスへのアクセスを許可または管理します。
is high availability server for (高可用性サーバである)	has for high availability server (高可用性サーバがある)	クラスタリングおよびデータベース ミラーリングを使用して、システム障害から高速復旧します。
is location for (格納場所である)	located at (格納されている)	あるエンティティ (この場合、物理的なロケーション) が別のエンティティの格納場所として指定されます。
is primary contact for (主要連絡先である)	has primary contact of (主要連絡先がある)	
is proxy for (プロキシである)	is proxied by (プロキシされる)	あるエンティティが、ネットワークまたはリモートのストレージ デバイスへの接続の代替経路として機能します。たとえば、このゲートウェイは、この LAN のクライアントのプロキシです。
is recovery server of (復旧サーバである)	has for recovery server (復旧サーバがある)	サービスまたはアプリケーションと、特定のサービスまたはアプリケーションの復元専用で構成されているサーバ。一般的に、復旧サーバはクラス

プロバイダ/従属	従属/プロバイダ	関係の説明
		タの代わりとなるものであり、迅速ではない復旧が許される場合に使用されます。
is required by (必要とされる)	requires (必要とする)	別のエンティティがなければ正常に機能できないエンティティ。
is server of (サーバである)	is client of (クライアントである)	サーバがクライアントからのリクエストに回答するサーバ クライアント関係。「serves (サービスを提供する) - is served by (サービスが提供される)」関係の代替となります。
is source code for (ソース コードである)	source code is from (ソース コードは～である)	あるエンティティ(アプリケーションコードまたはアプリケーション ライブラリ)によって、別のエンティティで実行可能な手順が提供されます。
is subscribed to by (申し込まれる)	subscribes to (申し込む)	あるエンティティ(ユーザのグループまたは単一ユーザ)が、別のエンティティのユーザにアクセスするために「サインアップ」します。
is the parent of (親である)	is the child of (子である)	親エンティティがないと別のエンティティが存在できない場合、前者は後者の親になります。
is used by (使用される)	uses (使用する)	
manages (管理する)	is managed by (管理される)	
monitors (監視する)	is monitored by (監視される)	あるエンティティが別のエンティティの要素を追跡している場合、前者は後者を監視しています。
notifies (通知する)	is notified by (通知される)	あるエンティティが、特定の対象に関連する情報が利用可能になったことを別のエンティティに知らせます。
provides to (提供する)	is provided by (提供される)	あるエンティティ(通常、サービス)を顧客が使用できるよう、別のエンティティが責任を持ちます。たとえば、ユーザ、組織、その他のエンティティがサービスを提供します。
regulates (調整する)	is regulated by (調整される)	あるエンティティが定期的に別のエンティティの任意のパラメータを調整します。例: タイム サーバはその他のデバイスの時間を定期的に調整し

プロバイダ/従属	従属/プロバイダ	関係の説明
		ます。
runs (実行する)	runs on (実行される)	あるエンティティが別の一時エンティティを実行します。
secures (保護する)	is secured by (保護される)	あるエンティティが別のエンティティをリスクから保護します。
serves (サービスを提供する)	is served by (サービスが提供される)	「is server of (サーバである) - is client of (クライアントである)」関係の代替となります。
サービス	is serviced by (サービスされる)	あるエンティティ(通常、保守組織やベンダー)が、物理エンティティに対するサービス コールの応答に責任を持ちます。
supports (サポートする)	is supported by (サポートされる)	あるエンティティ(通常、組織)が、別のエンティティ(通常、サービス)から発生したインシデントへの対応に責任を持ちます。
updates (更新する)	is updated by (更新される)	あるエンティティが別のエンティティのデータを最新の状態に保持します。
uses (使用する)	is used by (使用される)	あるエンティティが別のエンティティのデータまたはサービスを使用します。

関係タイプのリスト

CA CMDB 関係タイプを一覧表示して、CI 間の関連付けとその方向性を参照できます。

関係タイプをリストするには、以下の手順に従います。

1. 管理者として CA Service Desk Manager にログインします。
Web インターフェースが表示されます。
2. [管理]をクリックします。
管理ツリーが表示されます。
3. [CA CMDB]、[CI 関係タイプ]をクリックしてフォルダ構造をナビゲートします。
関係タイプは、[プロバイダ > 従属]、[従属 > プロバイダ]、[ピア ツー ピア]の列に表示されます。

4. (オプション)関係タイプをクリックします。
関係タイプの詳細が別のウィンドウに表示され、関係を編集することができます。

第 2 章：ファミリーおよびクラス

このセクションには、以下のトピックが含まれています。

- [ベース ファミリ \(21 ページ\)](#)
- [Cluster \(クラスタ\) ファミリ \(22 ページ\)](#)
- [Contact \(連絡先\) ファミリ \(25 ページ\)](#)
- [Contract \(契約\) ファミリ \(26 ページ\)](#)
- [Document \(ドキュメント\) ファミリ \(27 ページ\)](#)
- [Enterprise \(エンタープライズ\) ファミリ \(29 ページ\)](#)
- [Facilities \(設備\) ファミリ \(33 ページ\)](#)
- [Investment \(投資\) ファミリ \(59 ページ\)](#)
- [Location \(ロケーション\) ファミリ \(64 ページ\)](#)
- [Network \(ネットワーク\) ファミリ \(65 ページ\)](#)
- [Organization \(組織\) ファミリ \(88 ページ\)](#)
- [Security \(セキュリティ\) ファミリ \(89 ページ\)](#)
- [Service \(サービス\) ファミリ \(90 ページ\)](#)
- [SLA \(サービス レベル アグリーメント\) ファミリ \(92 ページ\)](#)
- [Software \(ソフトウェア\) ファミリ \(93 ページ\)](#)
- [ストレージ エリア ネットワーク \(SAN\) ファミリ \(103 ページ\)](#)
- [Telecom \(テレコム\) ファミリ \(107 ページ\)](#)

ベース ファミリ

以下の CA Service Desk Manager および CA APM ベース ファミリには固有の CA CMDB 拡張テーブルがありません：

- コンピュータ
- ハードウェア
- その他
- プロジェクト (CA Service Desk 拡張テーブルを含む)
- ソフトウェア

CA CMDB では、これらのベース ファミリの CI に対応する [構成アイテムの詳細] ページには、追加のフィールドが含まれており、[属性] タブがありません。ファミリー変更およびクラス機能を使用してこれらの CI を CA CMDB ファミリに変換することで、ファミリー固有の属性、バージョン指定、スナップショット、およびベースラインの追跡機能といった CA CMDB の拡張機能が利用できるようになります。

Cluster(クラスタ)ファミリ

Cluster ファミリには以下のファミリが含まれています。

Cluster

負荷の変動に対応するため、またはデバイスに障害が発生したときに処理を継続する目的で接続されている複数のサーバを特定します。

Cluster.Resource

クラスタ リソース グループのメンバを特定します。

Cluster.Resource Group

クラスタ内のデバイスのグループを特定します。

ファミリ	クラス	拡張テーブル/論理名	拡張テーブル/物理名	説明
Cluster	Cluster	net_clux	ci_network_cluster	フェールオーバー クラスタ
Cluster.Resource	リソース	net_rsrcx	ci_network_resource	リソース クラスタ
Cluster.Resource Group	Resource Group (リソース グループ)	net_rgrpX	ci_network_resource_group	リソース グループ クラスタ

Cluster の属性

Cluster ファミリには、net_clux 拡張テーブルに対応する以下の属性が含まれています。

オブジェクト名	ラベル	説明
active_date	アクティブ日	CI がアクティブ ステータスに入れられた日付
channel_address	チャンネル アドレス	ポート上のチャンネルを識別するために使用されるタグ。
contract_number	契約番号	CI または CI のグループの購入、リース、保証、保守などを網羅する法的な契約の固有の ID。
gateway_id	ゲートウェイ ID	別のネットワークへの入り口 (ゲートウェイ) として動作するネットワーク ポイントの固有の ID。
last_mtce_date	最終保守日	CI で保守が実行された最後の日付。
lease_cost_per_month	リース月額	毎月ベンダーに支払うリースの料金。

オブジェクト名	ラベル	説明
lease_termination_date	リース終了日	リースが終了して影響を受けた構成アイテムをベンダーに返さなければならない日付。
lease_renewal_date	リース更新日	リースを次の期限まで更新するか、または影響を受けた構成アイテムをベンダーに返さなければならない日付。
lease_effective_date	リース発効日	リースの開始日。
leased_or_owned_status	リースまたは所有	特定の CI が一定の期間リースされたか、または購入されたかを示します。
maintenance_fee	保守料金	一定の期間の保守サービスに対して支払われる金額。
maintenance_period	保守期間	保守契約がアクティブである期間。
mtce_contract_number	保守契約番号	保守契約を一意に識別する番号。
mtce_level	保守レベル	この CI の現在のパッチ バージョンを示します。
mtce_type	保守タイプ	この CI に提供される保守の種類(ベンダー、社内など)。
network_address	ネットワーク アドレス	この CI が常駐する IP アドレス(例: 192.168.0.4)
network_name	ネットワーク名	複数のコンピュータとそれらの周辺機器を接続する通信システムの固有の名前または ID。
os_version	OS バージョン	CI のオペレーティング システムのバージョン番号。
ci_priority	CI 優先度	この CI の回復の優先度を示すために割り当てられたサービス レベルの指定。
proj_code	プロジェクト コード	CI に割り当てられたプロジェクトの ID またはその他の一意の識別子。
purchase_amountc	購入金額	CI の購入に生じたコスト。 注: purchase_amount 属性は廃止されます。
quorum	クォーラム	クラスタに関連するすべての構成情報に対する限定的なリポジトリの名前。
retire_date	リタイア日	CI がアクティブでなくなった日付。
SLA	Service Level Agreement	この IT コンポーネントに対して期待される、容認可能なサービスのレベルおよびサポート オプションを規定する IT と顧客間の契約の名前または ID。

オブジェクト名	ラベル	説明
virtual_ip	仮想 IP アドレス	複数のドメイン名または複数のサーバの間で共有される IP アドレスの指定。

Cluster.Resource の属性

Cluster.Resource ファミリには、net_rsrcx 拡張テーブルに対応する以下の属性が含まれています。

オブジェクト名	ラベル	説明
resource_disk	リソース ディスク	サーバまたはクラスタ ノードからアクセスの要求を行うことができる共有ディスクの ID。
resource_file	リソース ファイル	クラスタ リソース間で共有することができるサブフォルダが含まれているファイル フォルダの ID。
resource_group_type	リソース グループ タイプ	クラスタの回復ドメインのタイプ(データ耐性、アプリケーション耐性、デバイス耐性など)。
resource_mount_point	リソース マウント ポイント	デバイスをマウントするディレクトリの名前。
resource_type	リソース タイプ	クラスタ リソースの分類(物理ディスク、プリント スプーラ、ファイルの共有、ネットワーク名、ローカル クォーラムなど)。

Cluster.Resource グループの属性

Cluster.Resource グループ ファミリには、net_rgrp_x 拡張テーブルに対応する以下の属性が含まれています。

オブジェクト名	ラベル	説明
resource_group_type	リソース グループ タイプ	クラスタの回復ドメインのタイプ(データ耐性、アプリケーション耐性、デバイス耐性など)。

Contact(連絡先)ファミリー

Contact ファミリーは、IT インフラストラクチャでアクティブな個人またはロールを指定します。

ファミリー	クラス	拡張テーブル /論理名	拡張テーブル /物理名	説明
連絡先	Executive (エグゼクティブ)	cntx	ci_contact	会社の役員
連絡先	External contact (外部連絡先)	cntx	ci_contact	外部の個人またはロール
連絡先	Managerial (経営者)	cntx	ci_contact	マネージャ
連絡先	Other contact (その他の連絡先)	cntx	ci_contact	各種個人またはロール
連絡先	Technical (テクニカル)	cntx	ci_contact	技術者

Contact の属性

Contact ファミリーには、cntx 拡張テーブルに対応する以下の属性が含まれています。

base_contact

CI が示す個人またはグループを指定します (SREL uuid から cnt)。コンタクトはコンタクト ファミリーの 1 つの CI によってのみ示されるという排他関係を示します。

オブジェクト名	ラベル
access_type	アクセス タイプ
available	使用可能
bm_status	実行ステータス
contact_num	ID の連絡先
domain	データ パーティション
first_name	名
global_queue_id	グローバル キュー

オブジェクト名	ラベル
last_name	グループ名
last_name	姓
middle_name	Middle Name
position	ジョブ タイトル
スケジュール	作業スケジュール
service_type	サービス タイプ
status	設定済みステータス
timezone	タイム ゾーン
type	連絡先タイプ
userid	ユーザ ID

Contract (契約)ファミリー

Contract ファミリーは 2 つの当事者間で署名された法的拘束力をもつビジネス文書を特定します。

ファミリー	クラス	拡張テーブル /論理名	拡張テーブル /物理名	説明
契約	License Agreement (使用許諾契約書)	conx	ci_contract	使用許諾契約
契約	Other Contract (その他の契約)	conx	ci_contract	その他の契約
契約	Warranty/Maintenance Contract (保証/メンテナンス契約)	conx	ci_contract	Warranty/Maintenance Contract (保証/メンテナンス契約)

Contract の属性

Contract ファミリには、conx 拡張テーブルに対応する以下の属性が含まれています。

オブジェクト名	ラベル	説明
con_comments	Comments	特定の CI についてより詳細に説明する自由形式のテキスト。
con_num	契約番号	CI または CI のグループの購入、リース、保証、保守などを網羅する法的な契約の固有の ID。
con_end_date	終了日付	契約、保証、またはその他の法的取り決めの期限が切れる日付。
proj_code	プロジェクト コード	CI に割り当てられたプロジェクトの ID またはその他の一意の識別子。
con_ref	契約参照	指定した契約に関連する別のドキュメントの名前または番号。
con_renewal_date	更新日	既存の契約、保証、またはその他の法的取り決めに追加の期間の間有効にします。
con_start_date	開始日	契約、ドキュメント、サービス、または SLA がアクティブになった日付。
con_status	ステータス	アプリケーション、契約、ドキュメント、サービス、または SLA CI のステータス(開発、レビュー、アクティブ、リタイア済みなど)の指定。
con_type	型	アプリケーション、契約、ドキュメント、サービス、または SLA CI の種類の説明。

Document(ドキュメント)ファミリ

Document ファミリは、人間が読み取れる印刷または電子的に保存されたテキストを指定します。

ファミリ	クラス	拡張テーブル/論理名	拡張テーブル/物理名	説明
Document	Admin Guide (管理ガイド)	docx	ci_document	管理者ガイド
Document	Application Test Plan (アプリケーション テスト計画)	docx	ci_document	アプリケーション テスト計画ドキュメント
Document	Business Continuity Plan (事業継続計画)	docx	ci_document	事業継続計画ドキュメント
Document	Other Document (その)	docx	ci_document	その他のドキュメント

ファミリ	クラス	拡張テーブル/論理名	拡張テーブル/物理名	説明
	他のドキュメント)			
Document	Policies and Standards (ポリシーおよび基準)	docx	ci_document	ポリシーおよび基準ドキュメント
Document	Training Class Collateral (トレーニング クラスのカタログ)	docx	ci_document	トレーニング クラスのカタログ ドキュメント
Document	User Guide (ユーザ ガイド)	docx	ci_document	ユーザ ガイド ドキュメント

Document の属性

Document ファミリには、docx 拡張テーブルに対応する以下の属性が含まれています。

オブジェクト名	ラベル	説明
ci_priority	CI 優先度	この CI の回復の優先度を示すために割り当てられたサービス レベルの指定。
doc_category	カテゴリ	アプリケーション、サービス、SLA、またはドキュメントの上位レベル タイプの指定。
doc_end_date	終了日付	ドキュメントの有効期限が切れるかまたは無効になる日付。
doc_id	Document ID	特定のドキュメントを指定する名前または番号。
doc_start_date	開始日	契約、ドキュメント、サービス、または SLA がアクティブになった日付。
doc_status	ステータス	アプリケーション、契約、ドキュメント、サービス、または SLA CI のステータス(開発、レビュー、アクティブ、リタイア済みなど)の指定。
doc_type	型	アプリケーション、契約、ドキュメント、サービス、または SLA CI の種類の説明。
doc_version	Version	アプリケーション、ドキュメント、サービス、または SLA CI の現在のレベル(バージョン)を指定する番号またはその他の ID。
優先度	プライオリティ	この CI の回復の優先度を示すために割り当てられたサービス レベルの指定。
SLA	Service Level Agreement	この IT コンポーネントに対して期待される、容認可能なサービスのレベルおよびサポート オプションを規定する IT と顧客間の契約の名前または ID。

Enterprise (エンタープライズ) ファミリ

Enterprise ファミリには以下のファミリが含まれています。

Enterprise.Service

企業のビジネス プロセスを直接または間接的にサポートする人、プロセス、情報テクノロジーの集まりを指定します。

Enterprise.Transaction

トランザクション アプリケーションの 1 つのトランザクションを指定します。

ファミリ	クラス	拡張テーブル/論理名	拡張テーブル/物理名
Enterprise.Service	ビジネス サービス	entsrvx	ci_enterprise_service
Enterprise.Service	インフラストラクチャ サービス	entsrvx	ci_enterprise_service
Enterprise.Service	その他サービス	entsrvx	ci_enterprise_service
Enterprise.Transaction	Business Transactions	enttx	ci_enterprise_transaction

Enterprise.Service の属性

Enterprise.Service ファミリには以下のクラスが含まれています。

- ビジネス サービス
- インフラストラクチャ サービス
- その他サービス

Enterprise.Service ファミリには、entsrvx 拡張テーブルに対応する以下の属性が含まれています。

注: (R)は、他の CI への関係として属性を保存できることを示します。

オブジェクト名	ラベル	説明
availability_end	使用可能の終了	断続的なサービスにおいて次に予測されるサービス可用性の期間の終了
availability_start	使用可能の開始	断続的なサービスにおいて次に予測されるサービス可用性の期間の開始
business_contacts(R)	ビジネス連絡先	サービスに関する質問の連絡先となるビジネス担当者

オブジェクト名	ラベル	説明
business_impact	ビジネス インパクト	サービスが停止または低下した場合のビジネスへの影響の規模
business_owner (R)	ビジネス担当者	サービスを所有する担当者
business_priority	ビジネス優先度	ビジネスにおけるサービスの重要性
business_risk	ビジネス リスク	サービスによって課せられるビジネスに対するリスク
business_unit (R)	ビジネス ユニット	サービスを受ける事業部門
cancel_date	キャンセル日	サービスがキャンセルまたは停止された日付
カテゴリ	サービス カテゴリ	サービス カテゴリ
charge_code	チャージ コード	サービス費用を追跡するために使用されるアカウントリング コード
cobit_objective	COBIT 達成目標	適用可能な COBIT コントロール達成目標
description	Service Description	サービスの説明
design_end_date	設計終了日	設計ライフ サイクル段階の終了日
design_start_date	設計開始日	設計ライフ サイクル段階の開始日
escalation_contacts (R)	エスカレーション連絡先	サービス問題が拡大した場合に連絡する担当者
lifecycle_state	サービス ライフサイクル状態	ITIL v3 に準拠します。例: 設計、移行、運用、完了。
lifecycle_status	サービス ライフサイクル ステータス	lifecycle_state 内のステータス: 承認待ち、資金調達申請中
operation_end_date	運用終了日	運営ライフ サイクル段階の終了日
operation_start_date	運用開始日	運営ライフ サイクル段階の開始日
portfolio (R)	ポートフォリオ	サービス ポートフォリオ保有サービス
service_alignment	サービス アライメント	サービスはどの程度会社の目標に適合していますか? 高-中-低
service_goal	サービス目標	サービスがサポートする会社の戦略についての説明
service_hours	サービス時間	サービスが通常利用可能な時間
service_manager (R)	サービス マネージャ	サービスを管理する担当

オブジェクト名	ラベル	説明
site (R)	サイト	サービスが保持されるプライマリ ロケーション
SLA (R)	SLA	適用可能な SLA の簡単な説明
transition_end_date	移行終了日	移行ライフ サイクル段階の終了日
transition_start_date	移行開始日	移行ライフ サイクル段階の開始日
unavailability_end	使用不可の終了	断続的なサービスにおいて次に予測されるサービス喪失の終了
unavailability_start	使用不可の開始	断続的なサービスにおいて次に予測されるサービス喪失の開始
version	サービス バージョン	サービスの現在のリリース

Enterprise.Transaction の属性

Enterprise.Transaction ファミリには、enttx 拡張テーブルに対応する以下の属性が含まれています。

注: (R)は、他の CI への関係として属性を保存できることを示します。

オブジェクト名	ラベル	説明
availability_end	使用可能の終了	断続的なサービスにおいて次に予測されるサービス可用性の期間の終了
availability_start	使用可能の開始	断続的なサービスにおいて次に予測されるサービス可用性の期間の開始
business_contacts (R)	ビジネス連絡先	サービスに関する質問の連絡先となるビジネス担当者
business_impact	ビジネス インパクト	サービスが停止または低下した場合のビジネスへの影響の規模
business_owner (R)	ビジネス担当者	サービスを所有する担当者
business_priority	ビジネス優先度	ビジネスにおけるサービスの重要性
business_unit (R)	ビジネス ユニット	サービスを受ける事業部門
cancel_date	キャンセル日	サービスがキャンセルまたは停止された日付
カテゴリ	トランザクション カ	サービス カテゴリ

オブジェクト名	ラベル	説明
	カテゴリ	
description	Transaction Description	サービスの説明
design_end_date	設計終了日	設計ライフ サイクル段階の終了日
design_start_date	設計開始日	設計ライフ サイクル段階の開始日
escalation_contacts (R)	エスカレーション連絡先	サービス問題が拡大した場合に連絡する担当者
lifecycle_state	トランザクションライフサイクル状態	設計-移行-実稼働-終了
lifecycle_status	トランザクションライフサイクルステータス	lifecycle_state 内のステータス: 承認待ち、資金調達申請中
operation_end_date	運用終了日	運営ライフ サイクル段階の終了日
operation_start_date	運用開始日	運営ライフ サイクル段階の開始日
site (R)	サイト	サービスが保持されるプライマリ ロケーション
transaction_alignment	トランザクション アライメント	トランザクション アライメント
transaction_goal	トランザクション目標	トランザクション目標
transaction_manager	トランザクション マネージャ	トランザクション マネージャ
transition_end_date	移行終了日	移行ライフ サイクル段階の終了日
transition_start_date	移行開始日	移行ライフ サイクル段階の開始日
unavailability_end	使用不可の終了	断続的なサービスにおいて次に予測されるサービス喪失の終了
unavailability_start	使用不可の開始	断続的なサービスにおいて次に予測されるサービス喪失の開始
version	トランザクションバージョン	サービスの現在のリリース

Facilities(設備)ファミリ

Facilities ファミリには以下のファミリが含まれています。

Facilities.Air Conditioning

空調、暖房、換気、調湿、または一般的な環境管理システムを指定します。

Facilities.Fire Control

防火用設備を指定します。

Facilities.Furnishings

重要な IT 関連アイテムの格納に使用される備品を指定します。

Facilities.Other

その他の設備機器または消耗品を指定します。

Facilities.Uninterruptible Power Supply

無停電電源装置、その他の電力調整および電源調整システムを指定します。

ファミリ	クラス	拡張テーブル /論理名	拡張テーブル /物理名	説明
Facilities.Air Conditioning	Air Conditioning (空調設備)	fac_acx	ci_fac_ac	空調設備
Facilities.Fire Control	Fire Control(防 火管理)	fac_firex	ci_fac_fire_co ntrol	Fire Control(防火管理)
Facilities.Furnishings	装置ラック	fac_furx	ci_fac_furnish ings	装置ラック
Facilities.Furnishings	ファイル キャビ ネット	fac_furx	ci_fac_furnish ings	ファイル キャビネット
Facilities.Other	Other Facilities (その他の設 備)	fac_othx	ci_fac_other	その他の設備
Facilities.Uninterrupti ble Power Supply	Uninterruptible Power Supply (無停電電源装 置)	fac_upsx	fac_upsx	Uninterruptible Power Supply(無停電 電源装置)

Facilities.Air Conditioning の属性

Facilities.Air Conditioning ファミリには、fac_acx 拡張テーブルに対応する以下の属性が含まれています。

オブジェクト名	ラベル	説明
active_date	発効日	CI がアクティブ ステータスに入れられた日付
contract_number	契約番号	CI または CI のグループの購入、リース、保証、保守などを網羅する法的な契約の固有の ID。
last_mtce_date	最終保守日	CI で保守が実行された最後の日付。
lease_cost_per_month	リース月額	毎月ベンダーに支払うリースの料金。
lease_end_date	リース終了日	リースが終了して影響を受けた構成アイテムをベンダーに返さなければならない日付。
lease_renewal_date	リース更新日	リースを次の期限まで更新するか、または影響を受けた構成アイテムをベンダーに返さなければならない日付。
lease_start_date	リース発効日	リースの開始日。
leased_or_owned_status	リースまたは所有	特定の CI が一定の期間リースされたか、または購入されたかを示します。
maintenance_fee	保守料金	一定の期間の保守サービスに対して支払われる金額。
maintenance_period	保守期間	保守契約が有効な期間。
mtce_contract_number	保守契約番号	保守契約を一意に識別する番号。
mtce_level	保守レベル	この CI の現在のパッチ バージョンを示します。
mtce_type	保守タイプ	この CI に提供される保守の種類(ベンダーまたは社内など)。
ci_priority	CI 優先度	この CI の回復の優先度を示すために割り当てられたサービス レベルの指定。
proj_code	プロジェクト コード	CI に割り当てられたプロジェクトの ID またはその他の一意の識別子。
purchase_amountc	購入金額	CI の購入に生じたコスト。 注: purchase_amount 属性は廃止されます。
retire_date	リタイア日	CI がアクティブでなくなった日付。
SLA	Service Level Agreement	この IT コンポーネントに対して期待される、容認可能なサービスのレベルおよびサポート オプションを規定する IT と顧客間の契約の名前または ID。

Facilities.Fire Control の属性

Facilities.Fire Control ファミリには、fac_firex 拡張テーブルに対応する以下の属性が含まれています。

オブジェクト名	ラベル	説明
active_date	発効日	CI がアクティブ ステータスに入れられた日付
contract_number	契約番号	CI または CI のグループの購入、リース、保証、保守などを網羅する法的な契約の固有の ID。
last_mtce_date	最終保守日	CI で保守が実行された最後の日付。
lease_cost_per_month	リース月額	毎月ベンダーに支払うリースの料金。
lease_end_date	リース終了日	リースが終了して影響を受けた構成アイテムをベンダーに返さなければならない日付。
lease_renewal_date	リース更新日	リースを次の期限まで更新するか、または影響を受けた構成アイテムをベンダーに返さなければならない日付。
lease_start_date	リース発効日	リースの開始日。
leased_or_owned_status	リースまたは所有	特定の CI が一定の期間リースされたか、または購入されたかを示します。
maintenance_fee	保守料金	一定の期間の保守サービスに対して支払われる金額。
maintenance_period	保守期間	保守契約が有効な期間。
mtce_contract_number	保守契約番号	保守契約を一意に識別する番号。
mtce_level	保守レベル	この CI の現在のパッチ バージョンを示します。
mtce_type	保守タイプ	この CI に提供される保守の種類(ベンダーまたは社内など)。
ci_priority	CI 優先度	この CI の回復の優先度を示すために割り当てられたサービス レベルの指定。
proj_code	プロジェクト コード	CI に割り当てられたプロジェクトの ID またはその他の一意の識別子。
purchase_amountc	購入金額	CI の購入に生じたコスト。 注: purchase_amount 属性は廃止されます。
retire_date	リタイア日	CI がアクティブでなくなった日付。
SLA	Service Level Agreement	この IT コンポーネントに対して期待される、容認可能なサービスのレベルおよびサポート オプションを規定する IT と顧客間の契約の名前または ID。

Facilities.Furnishings の属性

Facilities.Furnishings ファミリには、fac_furx 拡張テーブルに対応する以下の属性が含まれています。

オブジェクト名	ラベル	説明
active_date	発効日	CI がアクティブ ステータスに入れられた日付
contract_number	契約番号	CI または CI のグループの購入、リース、保証、保守などを網羅する法的な契約の固有の ID。
last_mtce_date	最終保守日	CI で保守が実行された最後の日付。
lease_cost_per_month	リース月額	毎月ベンダーに支払うリースの料金。
lease_end_date	リース終了日	リースが終了して影響を受けた構成アイテムをベンダーに返さなければならない日付。
lease_renewal_date	リース更新日	リースを次の期限まで更新するか、または影響を受けた構成アイテムをベンダーに返さなければならない日付。
lease_start_date	リース発効日	リースの開始日。
leased_or_owned_status	リースまたは所有	特定の CI が一定の期間リースされたか、または購入されたかを示します。
maintenance_fee	保守料金	一定の期間の保守サービスに対して支払われる金額。
maintenance_period	保守期間	保守契約が有効な期間。
mtce_contract_number	保守契約番号	保守契約を一意に識別する番号。
mtce_level	保守レベル	この CI の現在のパッチ バージョンを示します。
mtce_type	保守タイプ	この CI に提供される保守の種類(ベンダーまたは社内など)。
ci_priority	CI 優先度	この CI の回復の優先度を示すために割り当てられたサービス レベルの指定。
proj_code	プロジェクト コード	CI に割り当てられたプロジェクトの ID またはその他の一意の識別子。
purchase_amountc	購入金額	CI の購入に生じたコスト。 注: purchase_amount 属性は廃止されます。
retire_date	リタイア日	CI がアクティブでなくなった日付。
SLA	Service Level Agreement	この IT コンポーネントに対して期待される、容認可能なサービスのレベルおよびサポート オプションを規定する IT と顧客間の契約の名前または ID。
warehouse_loc	倉庫のロケーション	CI の受け取り後に CI が常駐するウェアハウスまたは他の保管設備の物理的なロケーションで、「in stock」ステータスになり

オブジェクト名	ラベル	説明
		ます。

Facilities.Other の属性

Facilities.Other ファミリには、fac_othx 拡張テーブルに対応する以下の属性が含まれています。

オブジェクト名	ラベル	説明
active_date	発効日	CI がアクティブ ステータスに入れられた日付
contract_number	契約番号	CI または CI のグループの購入、リース、保証、保守などを網羅する法的な契約の固有の ID。
last_mtce_date	最終保守日	CI で保守が実行された最後の日付。
lease_cost_per_month	リース月額	毎月ベンダーに支払うリースの料金。
lease_end_date	リース終了日	リースが終了して影響を受けた構成アイテムをベンダーに返さなければならない日付。
lease_renewal_date	リース更新日	リースを次の期限まで更新するか、または影響を受けた構成アイテムをベンダーに返さなければならない日付。
lease_start_date	リース発効日	リースの開始日。
leased_or_owned_status	リースまたは所有	特定の CI が一定の期間リースされたか、または購入されたかを示します。
maintenance_fee	保守料金	一定の期間の保守サービスに対して支払われる金額。
maintenance_period	保守期間	保守契約が有効な期間。
mtce_contract_number	保守契約番号	保守契約を一意に識別する番号。
mtce_level	保守レベル	この CI の現在のパッチ バージョンを示します。
mtce_type	保守タイプ	この CI に提供される保守の種類(ベンダーまたは社内など)。
network_address	ネットワーク アドレス	この CI が常駐する IP アドレス(例: 192.168.0.4)。
network_name	ネットワーク名	複数のコンピュータとそれらの周辺機器を接続する通信システムの固有の名前または ID。
ci_priority	CI 優先度	この CI の回復の優先度を示すために割り当てられたサービス レベルの指定。
proj_code	プロジェクト コード	CI に割り当てられたプロジェクトの ID またはその他の一意の識別子。
purchase_amountc	購入金額	CI の購入に生じたコスト。

オブジェクト名	ラベル	説明
retire_date	リタイア日	CI がアクティブでなくなった日付。
SLA	Service Level Agreement	この IT コンポーネントに対して期待される、容認可能なサービスのレベルおよびサポート オプションを規定する IT と顧客間の契約の名前または ID。
warehouse_loc	倉庫のロケーション	CI の受け取り後に CI が常駐するウェアハウスまたは他の保管設備の物理的なロケーションで、「in stock」ステータスになります。

Facilities.Uninterruptible Power Supply の属性

Facilities.Uninterruptible Power Supply ファミリには、fac_upsx 拡張テーブルに対応する以下の属性が含まれています。

オブジェクト名	ラベル	説明
active_date	発効日	CI がアクティブ ステータスに入れられた日付
contract_number	契約番号	CI または CI のグループの購入、リース、保証、保守などを網羅する法的な契約の固有の ID。
last_mtce_date	最終保守日	CI で保守が実行された最後の日付。
lease_cost_per_month	リース月額	毎月ベンダーに支払うリースの料金。
lease_end_date	リース終了日	リースが終了して影響を受けた構成アイテムをベンダーに返さなければならない日付。
lease_renewal_date	リース更新日	リースを次の期限まで更新するか、または影響を受けた構成アイテムをベンダーに返さなければならない日付。
lease_start_date	リース発効日	リースの開始日。
leased_or_owned_status	リースまたは所有	特定の CI が一定の期間リースされたか、または購入されたかを示します。
maintenance_fee	保守料金	一定の期間の保守サービスに対して支払われる金額。
maintenance_period	保守期間	保守契約が有効な期間。
mtce_contract_number	保守契約番号	保守契約を一意に識別する番号。
mtce_level	保守レベル	この CI の現在のパッチ バージョンを示します。
mtce_type	保守タイプ	この CI に提供される保守の種類(ベンダーまたは社内など)。
network_address	ネットワーク アドレス	この CI が常駐する IP アドレス(例: 192.168.0.4)。
network_name	ネットワーク名	複数のコンピュータとそれらの周辺機器を接続する通信システ

オブジェクト名	ラベル	説明
		ムの固有の名前または ID。
ci_priority	CI 優先度	この CI の回復の優先度を示すために割り当てられたサービス レベルの指定。
proj_code	プロジェクト コード	CI に割り当てられたプロジェクトの ID またはその他の一意の識別子。
purchase_amountc	購入金額	CI の購入に生じたコスト。 注: purchase_amount 属性は廃止されます。
retire_date	リタイア日	CI がアクティブでなくなった日付。
SLA	Service Level Agreement	この IT コンポーネントに対して期待される、容認可能なサービスのレベルおよびサポート オプションを規定する IT と顧客間の契約の名前または ID。
warehouse_loc	倉庫のロケーション	CI の受け取り後に CI が常駐するウェアハウスまたは他の保管設備の物理的なロケーションで、「in stock」ステータスになります。

Hardware(ハードウェア)ファミリ

Hardware ファミリには以下のファミリが含まれています。

Hardware.Logical Partition

単一システムを複数の独立した論理システムに分割する、メインフレーム アーキテクチャである論理パーティション(LPAR)を特定します。

Hardware.Mainframe

従来、IBM によって製造されていた、z/OS、OS/390 などを実行する、大規模なセントラル コンピューティング デバイスを特定します。

Hardware.Monitor

コンピュータ、ビデオ、および監視モニタを特定します。CRT モニタ、LCD モニタ、およびプラズマ モニタが含まれます。

Hardware.Other

その他の IT ハードウェアを特定します。

Hardware.Printer

一般的に、電子ドキュメントを目に見える物理メディア(通常、用紙)に変換するコンピューティング システムに接続されるデバイスを特定します。

Hardware.Server

主な機能が、個々のユーザにディスプレイおよびキーボードを提供することではなく、他のコンピュータからの要求に応答することである、ネットワーク上のコンピュータを特定します。

Hardware.Storage

電子データの格納を目的として設計されている装置を特定します。テープ ドライブ、光学式ディスク、および SAN がすべて含まれます。

Hardware.Virtual Machine

VMWare、MSVM など、ソフトウェアでシミュレートされたシステムで実行しているサーバを特定します。

Hardware.Workstation

その他のコンピュータにサービスを提供するのではなく、エンド ユーザによって主に使用されるコンピュータを特定します。

ファミリ	クラス	拡張テーブル/ 論理名	拡張テーブル/物理 名	説明
Hardware.Logical Partition	Logical Partition (論理パーティション)	har_lparx	ci_hardware_lpar	メインフレーム論理パーティション
Hardware.Mainframe	Cray	har_maix	ci_hardware_mainframe	Cray メインフレーム
Hardware.Mainframe	グループ 80	har_maix	ci_hardware_mainframe	Group 80 メインフレーム
Hardware.Mainframe	MVS	har_maix	ci_hardware_mainframe	MVS メインフレーム
Hardware.Mainframe	OS/390	har_maix	ci_hardware_mainframe	OS/390 メインフレーム
Hardware.Mainframe	Other Hardware Mainframe (その他ハードウェアメインフレーム)	har_maix	ci_hardware_mainframe	その他のメインフレームハードウェア
Hardware.Mainframe	System 390	har_maix	ci_hardware_mainframe	System 390 ハードウェア
Hardware.Mainframe	System Z	har_maix	ci_hardware_mainframe	System z ハードウェア

ファミリ	クラス	拡張テーブル/ 論理名	拡張テーブル/物理 名	説明
Hardware.Mainframe	Tandem - Mainframe (Tandem - メイン フレーム)	har_maix	ci_hardware_mainfra me	Tandem ハードウェア
Hardware.Mainframe	Unisys.Mainfram e	har_maix	ci_hardware_mainfra me	Unisys メインフレーム ハードウェア
Hardware.Mainframe	Vax - Mainframe (Vax - メインフ レーム)	har_maix	ci_hardware_mainfra me	Vax ハードウェア
Hardware.Mainframe	Virtual Storage Array(仮想スト レージ アレイ)	har_maix	ci_hardware_mainfra me	仮想ストレージ アレイ
Hardware.Mainframe	z/OS	har_maix	ci_hardware_mainfra me	z/OS ハードウェア
Hardware.Monitor	CRT	har_monx	ci_hardware_monitor	CRT モニタ
Hardware.Monitor	Flat Screen(フ ラット スクリーン)	har_monx	ci_hardware_monitor	フラット スクリーン モニタ
Hardware.Monitor	Other Monitor (その他のモニ タ)	har_monx	ci_hardware_monitor	その他のディスプレイ ハードウェア
Hardware.Monitor	Terminal(ターミ ナル)	har_monx	ci_hardware_monitor	ターミナル ハードウェア
Hardware.Other	Barcode Reader (バーコード リー ダ)	har_othx	ci_hardware_other	バーコード リーダ ハード ウェア
Hardware.Other	Copier(コピー 機)	har_othx	ci_hardware_other	コピー機ハードウェア
Hardware.Other	Digital Camera (デジタル カメ ラ)	har_othx	ci_hardware_other	Digital Camera(デジタル カメラ)
Hardware.Other	Electronic Whiteboard(電 子黒板)	har_othx	ci_hardware_other	Electronic Whiteboard(電 子黒板)
Hardware.Other	Other Hardware (その他のハード ウェア)	har_othx	ci_hardware_other	その他のハードウェア

ファミリ	クラス	拡張テーブル/ 論理名	拡張テーブル/物理 名	説明
Hardware.Other	Projector(プロ ジェクタ)	har_othx	ci_hardware_other	プロジェクタ ハードウェア
Hardware.Other	Shredder(シュ レツダ)	har_othx	ci_hardware_other	シュレツダ ハードウェア
Hardware.Other	Television(テレ ビ)	har_othx	ci_hardware_other	テレビ ハードウェア
Hardware.Other	VCR/DVD	har_othx	ci_hardware_other	VCR/DVD ハードウェア
Hardware.Other	Video Camera(ビ デオ カメラ)	har_othx	ci_hardware_other	ビデオ カメラ ハードウェ ア
Hardware.Printer	Bubble Jet(バブ ル ジェット)	har_prix	ci_hardware_printer	Bubble Jet(バブル ジェツ ト)
Hardware.Printer	Ink Jet(インク ジェット)	har_prix	ci_hardware_printer	Ink Jet(インク ジェット)
Hardware.Printer	Laser(レーザ)	har_prix	ci_hardware_printer	レーザ プリンタ
Hardware.Printer	Microfiche(マイ クロフィッシュ)	har_prix	ci_hardware_printer	マイクロフィッシュ プリンタ
Hardware.Printer	Other Printer(そ の他のプリンタ)	har_prix	ci_hardware_printer	その他のプリンタ ハード ウェア
Hardware.Printer	Plotter(プロッタ)	har_prix	ci_hardware_printer	プロッタ プリンタ
Hardware.Server	AIX	har_serx	ci_hardware_server	AIX を使用するサーバ
Hardware.Server	HP UX	har_serx	ci_hardware_server	HP-UX を使用するサーバ
Hardware.Server	Linux	har_serx	ci_hardware_server	Linux を使用するサーバ
Hardware.Server	Other Operating System(その他 のオペレーティン グ システム)	har_serx	ci_hardware_server	その他の OS を使用する サーバ
Hardware.Server	サーバ	har_serx	ci_hardware_server	サーバ ハードウェア
Hardware.Server	Sun	har_serx	ci_hardware_server	Sun を使用するサーバ
Hardware.Server	Tandem	har_serx	ci_hardware_server	Tandem を使用するサー バ
Hardware.Server	Unisys	har_serx	ci_hardware_server	Unisys を使用するサーバ
Hardware.Server	UNIX	har_serx	ci_hardware_server	UNIX を使用するサーバ

ファミリ	クラス	拡張テーブル/ 論理名	拡張テーブル/物理 名	説明
Hardware.Server	Vax	har_serx	ci_hardware_server	Vax を使用するサーバ
Hardware.Server	VM	har_serx	ci_hardware_server	VM を使用するサーバ
Hardware.Server	Windows	har_serx	ci_hardware_server	Windows を使用するサーバ
Hardware.Storage	CD-Rom ドライブ	har_stox	ci_hardware_storage	CD-Rom ドライブ
Hardware.Storage	Disk Array(ディスク アレイ)	har_stox	ci_hardware_storage	Disk Array(ディスク アレイ)
Hardware.Storage	DVD	har_stox	ci_hardware_storage	DVD ストレージ
Hardware.Storage	File System(ファイル システム)	har_stox	ci_hardware_storage	ファイル システム ストレージ
Hardware.Storage	ハード ドライブ	har_stox	ci_hardware_storage	ハード ドライブ
Hardware.Storage	Network Attached Storage (ネットワーク接続ストレージ)	har_stox	ci_hardware_storage	Network Attached Storage (ネットワーク接続ストレージ)
Hardware.Storage	Optical(光学式)	har_stox	ci_hardware_storage	オプティカル ハードウェア
Hardware.Storage	Other Hardware Storage(その他のハードウェア ストレージ)	har_stox	ci_hardware_storage	その他のストレージ ハードウェア
Hardware.Storage	Silo(サイロ)	har_stox	ci_hardware_storage	ストレージ サイロ ハードウェア
Hardware.Storage	Storage Area Network(ストレージ エリア ネットワーク)	har_stox	ci_hardware_storage	ストレージ エリア ネットワーク(SAN)ハードウェア
Hardware.Storage	Tape Array(テープ アレイ)	har_stox	ci_hardware_storage	テープ ストレージ アレイ
Hardware.Storage	Tape Library (テープ ライブラリ)	har_stox	ci_hardware_storage	テープ ストレージ ライブラリ
Hardware.Storage	Virtual Tape System(仮想テープ システム)	har_stox	ci_hardware_storage	Virtual Tape System(仮想テープ システム)

ファミリ	クラス	拡張テーブル/ 論理名	拡張テーブル/物理 名	説明
	ム)			
Hardware.Storage	Zip Drive (Zip ドライブ)	har_stox	ci_hardware_storage	Zip ドライブ ハードウェア
Hardware.Virtual Machine	ESX Server	har_virx	ci_hardware_virtual	ESX Server
Hardware.Virtual Machine	GSX Server	har_virx	ci_hardware_virtual	GSX Server
Hardware.Virtual Machine	Microsoft Virtual Server	har_virx	ci_hardware_virtual	Microsoft Virtual Server
Hardware.Virtual Machine	Other Hardware Virtual Machine (その他のハードウェア仮想マシン)	har_virx	ci_hardware_virtual	その他の仮想マシン
Hardware.Workstation	Workstation (ワークステーション)	har_worx	ci_hardware_workstation	ワークステーション ハードウェア

Hardware.Logical Partition の属性

Hardware.Logical Partition ファミリには、har_lparx 拡張テーブルに対応する以下の属性が含まれています。

オブジェクト名	ラベル	説明
active_date	アクティブ日	CI がアクティブ ステータスに入れられた日付
ci_priority	CI 優先度	この CI の回復の優先度を示すために割り当てられたサービス レベルの指定。
contract_number	契約番号	CI または CI のグループの購入、リース、保証、保守などを網羅する法的な契約の固有の ID。
current_memory	現在の使用済みメモリ	使用可能な合計容量に対して使用されているメモリの量を示します。
current_processors	現在の使用済みプロセッサ	使用可能なプロセッサ数に対して現在使用されている数を示します。
desired_memory	最適メモリ	管理リソースのメモリが過剰にならない限り、論理パーティションに割り当てられるメモリの量。
desired_processors	プロセッサ最適数	管理リソースのプロセッサが過剰にならない限り、論理パーティ

オブジェクト名	ラベル	説明
		ションに割り当てられるプロセッサの量。
disk_type	ディスク タイプ	ワークステーションまたはサーバにあるディスク ドライブのタイプ。
hard_drive_capacity	ディスク容量	ハードウェア CI で使用可能なハード ドライブの容量。
lease_cost_per_month	リース月額	毎月ベンダーに支払うリースの料金。
lease_start_date	リース発効日	リースが有効になる日付(リース開始日とも呼ばれます)。
lease_renewal_date	リース更新日	リースを次の期限まで更新するか、または影響を受けた構成アイテムをベンダーに返さなければならない日付。
lease_end_date	リース終了日	リースが終了して影響を受けた構成アイテムをベンダーに返さなければならない日付。
leased_or_owned_status	リースまたは所有	特定の CI が一定の期間リースされたか、または購入されたかを示します。
maintenance_fee	保守料金	一定の期間の保守サービスに対して支払われる金額。
maintenance_period	保守期間	保守契約が有効な期間。
max_memory	最大メモリ	LPAR で使用可能なメモリの最大量。
max_processors	プロセッサ最大数	LPAR で使用可能なプロセッサの最大数。
mem_capacity	メモリ容量	インストールして使用することができるメモリの合計量。
min_memory	最小メモリ	LPAR に必要な最小メモリ。
min_processors	プロセッサ最小数	LPAR に必要なプロセッサの最小数。
mtce_contract_number	保守契約番号	保守契約を一意に識別する番号。
mtce_type	保守タイプ	この CI に提供される保守の種類(ベンダーまたは社内など)。
number_mips	MIPS	ハードウェアまたはネットワーク デバイスの処理速度と容量の指定。
panel_display	パネル ディスプレイ	論理パーティションの設定とシステムまたは個々のパーティションの起動、開始、および停止を管理にするのに使用されるオペレータ コンソール。
phys_mem	インストール済みメモリ	ハードウェア デバイスにインストールされている物理メモリ。
優先度	プライオリティ	この CI の回復の優先度を示すために割り当てられたサービス レベルの指定。
proc_speed	プロセッサ スピード	コンピュータが操作を実行する速度の測定。
proc_type	プロセッサ タイプ	ハードウェア デバイスの CPU の種類。
プロファイル	Profile	必要なシステム リソースの割り当てを示す論理パーティション

オブジェクト名	ラベル	説明
		の構成の名前。
proj_code	プロジェクト コード	CI に割り当てられたプロジェクトの ID またはその他の一意の識別子。
purchase_amountc	購入金額	CI の購入に生じたコスト。 注: purchase_amount 属性は廃止されます。
retire_date	リタイア日	CI がアクティブでなくなった日付。
SLA	Service Level Agreement	この IT コンポーネントに対して期待される、容認可能なサービスのレベルおよびサポート オプションを規定する IT と顧客間の契約の名前または ID。

Hardware.Mainframe の属性

Hardware.Mainframe ファミリには、har_maix 拡張テーブルに対応する以下の属性が含まれています。

オブジェクト名	ラベル	説明
active_date	アクティブ日	CI がアクティブ ステータスに入れられた日付
contract_number	契約番号	CI または CI のグループの購入、リース、保証、保守などを網羅する法的な契約の固有の ID。
disk_type	ディスク タイプ	ワークステーションまたはサーバにあるディスク ドライブのタイプ。
hard_drive_capacity	ディスク容量	ハードウェア CI で使用可能なハード ドライブの容量。
lease_cost_per_month	リース月額	毎月ベンダーに支払うリースの料金。
lease_effective_date	リース発効日	リースが有効になる日付(リース開始日とも呼ばれます)。
lease_renewal_date	リース更新日	リースを次の期限まで更新するか、または影響を受けた構成アイテムをベンダーに返さなければならない日付。
lease_end_date	リース終了日	リースが終了して影響を受けた構成アイテムをベンダーに返さなければならない日付。
leased_or_owned_status	リースまたは所有	特定の CI が一定の期間リースされたか、または購入されたかを示します。
maintenance_fee	保守料金	一定の期間の保守サービスに対して支払われる金額。
maintenance_period	保守期間	保守契約が有効な期間。
mem_capacity	メモリ容量	インストールして使用することができるメモリの合計量。
mtce_contract_number	保守契約番号	保守契約を一意に識別する番号。

オブジェクト名	ラベル	説明
mtce_type	保守タイプ	この CI に提供される保守の種類(ベンダーまたは社内など)。
number_mips	MIPS	ハードウェアまたはネットワーク デバイスの処理速度と容量の指定。
phys_mem	インストール済みメモリ	ハードウェア デバイスにインストールされている物理メモリ。
ci_priority	CI 優先度	この CI の回復の優先度を示すために割り当てられたサービス レベルの指定。
proc_speed	プロセッサ スピード	コンピュータが操作を実行する速度の測定。
proc_type	プロセッサ タイプ	ハードウェア デバイスの CPU の種類。
proj_code	プロジェクト コード	CI に割り当てられたプロジェクトの ID またはその他の一意の識別子。
purchase_amountc	購入金額	CI の購入に生じたコスト。 注: purchase_amount 属性は廃止されます。
retire_date	リタイア日	CI がアクティブでなくなった日付。
SLA	Service Level Agreement	この IT コンポーネントに対して期待される、容認可能なサービスのレベルおよびサポート オプションを規定する IT と顧客間の契約の名前または ID。

Hardware.Monitor の属性

Hardware.Monitor ファミリには、har_monx 拡張テーブルに対応する以下の属性が含まれています。

オブジェクト名	ラベル	説明
active_date	アクティブ日	CI がアクティブ ステータスに入れられた日付
contract_number	契約番号	CI または CI のグループの購入、リース、保証、保守などを網羅する法的な契約の固有の ID。
lease_cost_per_month	リース月額	毎月ベンダーに支払うリースの料金。
lease_effective_date	リース発効日	リースが有効になる日付(リース開始日とも呼ばれます)。
lease_renewal_date	リース更新日	リースを次の期限まで更新するか、または影響を受けた構成アイテムをベンダーに返さなければならない日付。
lease_termination_date	リース終了日	リースが終了して影響を受けた構成アイテムをベンダーに返さなければならない日付。
leased_or_owned_stat us	リースまたは所有	特定の CI が一定の期間リースされたか、または購入されたかを示します。

オブジェクト名	ラベル	説明
maintenance_fee	保守料金	一定の期間の保守サービスに対して支払われる金額。
maintenance_period	保守期間	保守契約が有効な期間。
mtce_contract_number	保守契約番号	保守契約を一意に識別する番号。
mtce_type	保守タイプ	この CI に提供される保守の種類(ベンダーまたは社内など)。
ci_priority	CI 優先度	この CI の回復の優先度を示すために割り当てられたサービス レベルの指定。
proj_code	プロジェクト コード	CI に割り当てられたプロジェクトの ID またはその他の一意の識別子。
purchase_amountc	購入金額	CI の購入に生じたコスト。 注: purchase_amount 属性は廃止されます。
retire_date	リタイア日	CI がアクティブでなくなった日付。
SLA	Service Level Agreement	この IT コンポーネントに対して期待される、容認可能なサービスのレベルおよびサポート オプションを規定する IT と顧客間の契約の名前または ID。

Hardware.Other の属性

Hardware.Other ファミリには、har_othx 拡張テーブルに対応する以下の属性が含まれています。

オブジェクト名	ラベル	説明
active_date	発効日	CI がアクティブ ステータスに入れられた日付
array_name	ストレージ アレイ名	複数のディスク ドライブが含まれていて RAID や仮想化などの機能を実行するエンタープライズ ストレージ システムの ID。
array_serial_num	ストレージ アレイ シリアル番号	複数のディスク ドライブが含まれていて RAID や仮想化などの機能を実行するエンタープライズ ストレージ システムの製造者のシリアル番号。
bios_ver	BIOS バージョン	BIOS のバージョン番号。これは、パーソナル コンピュータのスタートアップ時に実行されるコードです。
cd_rom_type	CD ROM タイプ	ワークステーションまたはサーバにある CD ROM ドライブのタイプ。
contract_number	契約番号	CI または CI のグループの購入、リース、保証、保守などを網羅する法的な契約の固有の ID。
disk_type	ディスク タイプ	ワークステーションまたはサーバにあるディスク ドライブのタイプ

オブジェクト名	ラベル	説明
		プ。
graphics_card	グラフィック カード モデル	拡張グラフィック機能用にデバイスの使用可能なスロットにインストールされた拡張カードのモデル指定。
hard_drive_capacity	ディスク容量	ハードウェア CI で使用可能なハード ドライブの容量。
lease_cost_per_month	リース月額	毎月ベンダーに支払うリースの料金。
lease_effective_date	リース発効日	リースが有効になる日付(リース開始日とも呼ばれます)。
lease_renewal_date	リース更新日	リースを次の期限まで更新するか、または影響を受けた構成アイテムをベンダーに返さなければならない日付。
lease_end_date	リース終了日	リースが終了して影響を受けた構成アイテムをベンダーに返さなければならない日付。
leased_or_owned_status	リースまたは所有	特定の CI が一定の期間リースされたか、または購入されたかを示します。
maintenance_fee	保守料金	一定の期間の保守サービスに対して支払われる金額。
maintenance_period	保守期間	保守契約が有効な期間。
media_drive_num	メディア ドライブ容量	複数のメモリ カードを 1 つの単位に統合するハードウェア デバイスの容量。
media_type	メディア タイプ	ハードウェア デバイス(ディスク、CD ROM など)のストレージメディアの種類。
mem_cache_proc	プロセッサ キャッシュ	メモリと CPU 間で高速メモリ ストレージを処理するハードウェア デバイスの ID。
mem_capacity	メモリ容量	インストールして使用することができるメモリの合計量。
memory_shares	メモリ シェア数	この仮想マシンに付与された指定のメモリ割り当て。
modem_card	モデム カード	ネットワークまたはインターネットへの高速接続を可能にするワークステーションまたはネットワーク デバイスのカードの ID。
modem_type	モデム タイプ	ネットワークまたはインターネットに高速接続するワークステーションによって使用されるモデムの分類/速度。
監視	モニタ モデル	ハードウェア、ネットワーク、またはテレコム デバイスに接続する表示装置のタイプ。
mtce_contract_number	保守契約番号	保守契約を一意に識別する番号。
mtce_type	保守タイプ	この CI に提供される保守の種類(ベンダーまたは社内など)。
net_card	ネットワーク カード	他のネットワーク コンポーネントとの接続および通信のため、コンピュータやネットワーク デバイスの使用可能なスロットにインストールされた拡張カードのモデル。

オブジェクト名	ラベル	説明
number_mips	MIPS	ハードウェアまたはネットワーク デバイスの処理速度と容量の指定。
number_net_card	ネットワーク カード数	コンピュータの使用可能なスロットにインストールされている拡張カードの数。
number_net_port	ネットワーク ポート数	デバイスで使用されているポートの合計数。
number_net_port_connection	ネットワーク ポート接続数	サーバにあるポートの合計数。
number_proc_inst	インストール済みプロセッサ数	ハードウェアまたはネットワーク デバイスにインストールされているプロセッサの合計数。
number_slot_proc	プロセッサ容量	ハードウェア デバイスのプロセッサ スロットの合計数。
phys_mem	インストール済みメモリ	ハードウェア デバイスにインストールされている物理メモリ。
printer	プリンタ	ハードウェアまたはネットワーク デバイスに接続しているプリンタのタイプまたはモデル。
ci_priority	CI 優先度	この CI の回復の優先度を示すために割り当てられたサービス レベルの指定。
proc_speed	プロセッサ スピード	コンピュータが操作を実行する速度の測定。
proc_type	プロセッサ タイプ	ハードウェア デバイスの CPU の種類。
processor_count	プロセッサ容量	ハードウェア CI で使用可能な CPU またはマイクロプロセッサの数。
proj_code	プロジェクト コード	CI に割り当てられたプロジェクトの ID またはその他の一意の識別子。
purchase_amountc	購入金額	CI の購入に生じたコスト。
retire_date	リタイア日	CI がアクティブでなくなった日付。
役割	Role	ハードウェアまたはネットワーク デバイスによってサポートされているビジネス機能(生産、テストなど)。
security_patch_level	セキュリティ パッチ レベル	この CI の現在のセキュリティ パッチ バージョンの指定。
server_type	サーバ タイプ	サーバの種類(アプリケーション、メール、Web、プロキシ、FTP など)。
SLA	Service Level Agreement	この IT コンポーネントに対して期待される、容認可能なサービスのレベルおよびサポート オプションを規定する IT と顧客間の契約の名前または ID。
slot_mem_used	使用済みメモリ スロット数	ハードウェアまたはネットワーク デバイスで使用可能なメモリカードから使用されているメモリの量。

オブジェクト名	ラベル	説明
slot_total_mem	メモリ スロット数	ハードウェアまたはネットワーク デバイスのメモリ カードで使用可能な合計メモリ。
swap_size	スワップ サイズ	スワップ アウトされたプロセスの状態を保存するためにハードウェアまたはネットワーク デバイ스에割り当てられたディスク容量のサイズ。
テクノロジー	テクノロジー	ハードウェアまたはネットワーク デバイスによって採用された TCP/IP、イーサネット、FDDI などのテクノロジー。
total_capacity	合計ディスク容量	ハードウェア デバイスで使用可能なストレージの合計量。
type_net_conn	ネットワーク接続のタイプ	ハードウェアまたはネットワーク デバイスによって使用されるネットワーク接続の種類を指定します。
used_space	使用済みディスク総容量	CI によって使用されている使用可能なディスク ストレージ スペースの量。

Hardware.Printer の属性

Hardware.Printer ファミリには、har_prix 拡張テーブルに対応する以下の属性が含まれています。

オブジェクト名	ラベル	説明
active_date	アクティブ日	CI がアクティブ ステータスに入れられた日付
contract_number	契約番号	CI または CI のグループの購入、リース、保証、保守などを網羅する法的な契約の固有の ID。
lease_cost_per_month	リース月額	毎月ベンダーに支払うリースの料金。
lease_effective_date	リース発効日	リースが有効になる日付(リース開始日とも呼ばれます)。
lease_renewal_date	リース更新日	リースを次の期限まで更新するか、または影響を受けた構成アイテムをベンダーに返さなければならない日付。
lease_end_date	リース終了日	リースが終了して影響を受けた構成アイテムをベンダーに返さなければならない日付。
leased_or_owned_status	リースまたは所有	特定の CI が一定の期間リースされたか、または購入されたかを示します。
maintenance_fee	保守料金	一定の期間の保守サービスに対して支払われる金額。
maintenance_period	保守期間	保守契約が有効な期間。
mtce_contract_number	保守契約番号	保守契約を一意に識別する番号。
mtce_type	保守タイプ	この CI に提供される保守の種類(ベンダーまたは社内など)。

オブジェクト名	ラベル	説明
ci_priority	CI 優先度	この CI の回復の優先度を示すために割り当てられたサービス レベルの指定。
proj_code	プロジェクト コード	CI に割り当てられたプロジェクトの ID またはその他の一意の識別子。
purchase_amountc	購入金額	CI の購入に生じたコスト。 注: purchase_amount 属性は廃止されます。
retire_date	リタイア日	CI がアクティブでなくなった日付。
SLA	Service Level Agreement	この IT コンポーネントに対して期待される、容認可能なサービスのレベルおよびサポート オプションを規定する IT と顧客間の契約の名前または ID。

Hardware.Server の属性

Hardware.Server ファミリには、har_serx 拡張テーブルに対応する以下の属性が含まれています。

オブジェクト名	ラベル	説明
active_date	発効日	CI がアクティブ ステータスに入れられた日付
bios_ver	BIOS バージョン	BIOS のバージョン番号。これは、パーソナル コンピュータのスタートアップ時に実行されるコードです。
cd_rom_type	CD ROM タイプ	ワークステーションまたはサーバにある CD ROM ドライブのタイプ。
contract_number	契約番号	CI または CI のグループの購入、リース、保証、保守などを網羅する法的な契約の固有の ID。
hard_drive_capacity	ディスク容量	ハードウェア CI で使用可能なハード ドライブの容量。
lease_cost_per_month	リース月額	毎月ベンダーに支払うリースの料金。
lease_effective_date	リース発効日	リースが有効になる日付(リース開始日とも呼ばれます)。
lease_renewal_date	リース更新日	リースを次の期限まで更新するか、または影響を受けた構成アイテムをベンダーに返さなければならない日付。
lease_termination_date	リース終了日	リースが終了して影響を受けた構成アイテムをベンダーに返さなければならない日付。
leased_or_owned_status	リースまたは所有	特定の CI が一定の期間リースされたか、または購入されたかを示します。
maintenance_fee	保守料金	一定の期間の保守サービスに対して支払われる金額。
maintenance_period	保守期間	保守契約が有効な期間。

オブジェクト名	ラベル	説明
mem_capacity	メモリ容量	インストールして使用することができるメモリの合計量。
監視	モニタ モデル	ハードウェア、ネットワーク、またはテレコム デバイ스에接続する表示装置のタイプ。
mtce_contract_number	保守契約番号	保守契約を一意に識別する番号。
mtce_type	保守タイプ	この CI に提供される保守の種類(ベンダーまたは社内など)。
net_card	ネットワーク カード	ネットワーク接続された別のコンポーネントに接続して通信できるように、コンピュータまたはネットワーク デバイスの使用可能なスロットにインストールされた拡張カードを指定します。
number_mips	MIPS	ハードウェアまたはネットワーク デバイスの処理速度と容量の指定。
number_net_card	ネットワーク カード数	コンピュータの使用可能なスロットにインストールされている拡張カードの数。
number_net_port	ネットワーク ポート数	デバイスで使用されているポートの合計数。
number_net_port_connection	ネットワーク ポート接続数	サーバにあるポートの合計数。
number_proc_inst	インストール済みプロセッサ数	ハードウェアまたはネットワーク デバイ스에インストールされているプロセッサの合計数。
number_slot_proc	プロセッサ容量	ハードウェア デバイスのプロセッサ スロットの合計数。
panel_display	パネル ディスプレイ	論理パーティション設定、システムまたは個々のパーティションのブート、開始、停止の管理に使用されるオペレータ コンソール。
phys_mem	インストール済みメモリ	ハードウェア デバイ스에インストールされている物理メモリ。
printer	プリンタ	ハードウェアまたはネットワーク デバイ스에接続しているプリンタのタイプまたはモデル。
ci_priority	CI 優先度	この CI の回復の優先度を示すために割り当てられたサービス レベルの指定。
proc_speed	プロセッサ スピード	コンピュータが操作を実行する速度の測定。
proc_type	プロセッサ タイプ	ハードウェア デバイスの CPU の種類。
プロファイル	Profile	必要なシステム リソースの割り当てを示す論理パーティションの構成の名前。
proj_code	プロジェクト コード	CI に割り当てられたプロジェクトの ID またはその他の一意の識別子。
purchase_amountc	購入金額	CI の購入に生じたコスト。
retire_date	リタイア日	CI がアクティブでなくなった日付。

オブジェクト名	ラベル	説明
役割	Role	ハードウェアまたはネットワーク デバイスによってサポートされているビジネス機能(生産、テストなど)。
security_patch_level	セキュリティ パッチ レベル	この CI の現在のセキュリティ パッチ バージョンの指定。
server_type	サーバ タイプ	サーバの種類(アプリケーション、メール、Web、プロキシ、FTP など)。
SLA	Service Level Agreement	この IT コンポーネントに対して期待される、容認可能なサービスのレベルおよびサポート オプションを規定する IT と顧客間の契約の名前または ID。
slot_mem_used	使用済みメモリ スロット数	ハードウェアまたはネットワーク デバイスで使用可能なメモリカードから使用されているメモリの量。
slot_total_mem	メモリ スロット数	ハードウェアまたはネットワーク デバイスのメモリ カードで使用可能な合計メモリ。
swap_size	スワップ サイズ	スワップ アウトされたプロセスの状態を保存するためにハードウェアまたはネットワーク デバイスに割り当てられたディスク容量のサイズ。
テクノロジー	テクノロジー	ハードウェアまたはネットワーク デバイスによって採用された TCP/IP、イーサネット、FDDI などのテクノロジー。
type_net_conn	ネットワーク接続のタイプ	ハードウェアまたはネットワーク デバイスによって使用されるネットワーク接続の種類を指定します。

Hardware.Storage の属性

Hardware.Storage ファミリには、har_stox 拡張テーブルに対応する以下の属性が含まれています。

オブジェクト名	ラベル	説明
active_date	発効日	CI がアクティブ ステータスに入れられた日付
array_name	ストレージ アレイ名	複数のディスク ドライブが含まれていて RAID や仮想化などの機能を実行するエンタープライズ ストレージ システムの ID。
array_serial_num	ストレージ アレイ シリアル番号	複数のディスク ドライブが含まれていて RAID や仮想化などの機能を実行するエンタープライズ ストレージ システムの製造者のシリアル番号。
contract_number	契約番号	CI または CI のグループの購入、リース、保証、保守などを網羅する法的な契約の固有の ID。

オブジェクト名	ラベル	説明
disk_type	ディスク タイプ	ワークステーションまたはサーバにあるディスク ドライブのタイプ。
lease_cost_per_month	リース月額	毎月ベンダーに支払うリースの料金。
lease_effective_date	リース発効日	リースが有効になる日付(リース開始日とも呼ばれます)。
lease_renewal_date	リース更新日	リースを次の期限まで更新するか、または影響を受けた構成アイテムをベンダーに返さなければならない日付。
lease_termination_date	リース終了日	リースが終了して影響を受けた構成アイテムをベンダーに返さなければならない日付。
leased_or_owned_status	リースまたは所有	特定の CI が一定の期間リースされたか、または購入されたかを示します。
maintenance_fee	保守料金	一定の期間の保守サービスに対して支払われる金額。
maintenance_period	保守期間	保守契約が有効な期間。
media_drive_num	メディア ドライブ容量	複数のメモリ カードを 1 つの単位に統合するハードウェア デバイスの容量。
media_type	メディア タイプ	ハードウェア デバイス(ディスク、CD ROM など)のストレージメディアの種類。
mtce_contract_number	保守契約番号	保守契約を一意に識別する番号。
mtce_type	保守タイプ	この CI に提供される保守の種類(ベンダーまたは社内など)。
ci_priority	CI 優先度	この CI の回復の優先度を示すために割り当てられたサービス レベルの指定。
proj_code	プロジェクト コード	CI に割り当てられたプロジェクトの ID またはその他の一意の識別子。
purchase_amountc	購入金額	CI の購入に生じたコスト。 注: purchase_amount 属性は廃止されます。
retire_date	リタイア日	CI がアクティブでなくなった日付。
SLA	Service Level Agreement	この IT コンポーネントに対して期待される、容認可能なサービスのレベルおよびサポート オプションを規定する IT と顧客間の契約の名前または ID。
total_capacity	合計ディスク容量	ハードウェア デバイスで使用可能なストレージの合計量。
used_space	使用済みディスク総容量	CI によって使用されている使用可能なディスク ストレージ スペースの量。

Hardware.Virtual Machine の属性

Hardware.Virtual Machine ファミリには、har_virx 拡張テーブルに対応する以下の属性が含まれています。

オブジェクト名	ラベル	説明
active_date	発効日	CI がアクティブ ステータスに入れられた日付
bios_ver	BIOS バージョン	BIOS のバージョン番号。これは、パーソナル コンピュータのスタートアップ時に実行されるコードです。
contract_number	契約番号	CI または CI のグループの購入、リース、保証、保守などを網羅する法的な契約の固有の ID。
cpu_shares	CPU シェア数	この仮想マシンに付与された指定の CPU 割り当て。
disk_type	ディスク タイプ	ワークステーションまたはサーバにあるディスク ドライブのタイプ。
hard_drive_capacity	ディスク容量	ハードウェア CI で使用可能なハード ドライブの容量。
lease_cost_per_month	リース月額	毎月ベンダーに支払うリースの料金。
lease_effective_date	リース発効日	リースが有効になる日付(リース開始日とも呼ばれます)。
lease_renewal_date	リース更新日	リースを次の期限まで更新するか、または影響を受けた構成アイテムをベンダーに返さなければならない日付。
lease_termination_date	リース終了日	リースが終了して影響を受けた構成アイテムをベンダーに返さなければならない日付。
leased_or_owned_status	リースまたは所有	特定の CI が一定の期間リースされたか、または購入されたかを示します。
maintenance_fee	保守料金	一定の期間の保守サービスに対して支払われる金額。
maintenance_period	保守期間	保守契約が有効な期間。
media_type	メディア タイプ	ハードウェア デバイス(ディスク、CD ROM など)のストレージメディアの種類。
mem_capacity	メモリ容量	インストールして使用することができるメモリの合計量。
memory_shares	メモリ シェア数	この仮想マシンに付与された指定のメモリ割り当て。
mtce_contract_number	保守契約番号	保守契約を一意に識別する番号。
mtce_type	保守タイプ	この CI に提供される保守の種類(ベンダーまたは社内など)。
number_mips	MIPS	ハードウェアまたはネットワーク デバイスの処理速度と容量の指定。
phys_mem	インストール済みメモリ	ハードウェア デバイスにインストールされている物理メモリ。

オブジェクト名	ラベル	説明
ci_priority	CI 優先度	この CI の回復の優先度を示すために割り当てられたサービス レベルの指定。
proc_speed	プロセッサ スピード	コンピュータが操作を実行する速度の測定。
proc_type	プロセッサ タイプ	ハードウェア デバイスの CPU の種類。
processor_affinity	プロセッサ アフィニティ	タスクが実行される予定になっている優先プロセッサを示すインジケータ。
proj_code	プロジェクト コード	CI に割り当てられたプロジェクトの ID またはその他の一意の識別子。
purchase_amountc	購入金額	CI の購入に生じたコスト。
retire_date	リタイア日	CI がアクティブでなくなった日付。
security_patch_level	セキュリティ パッチ レベル	この CI の現在のセキュリティ パッチ バージョンの指定。
SLA	Service Level Agreement	この IT コンポーネントに対して期待される、容認可能なサービスのレベルおよびサポート オプションを規定する IT と顧客間の契約の名前または ID。
virtual_processors	仮想プロセッサ数	共有プロセッサ プールを使用する論理パーティションのオペレーティング システムに物理プロセッサを示す仮想プロセッサの数。

Hardware.Workstation の属性

Hardware.Workstation ファミリには、har_worx 拡張テーブルに対応する以下の属性が含まれています。

オブジェクト名	ラベル	説明
active_date	アクティブ日	CI がアクティブ ステータスに入れられた日付
bios_ver	BIOS バージョン	BIOS のバージョン番号。これは、パーソナル コンピュータのスタートアップ時に実行されるコードです。
cd_rom_type	CD ROM タイプ	ワークステーションまたはサーバにある CD ROM ドライブのタイプ。
contract_number	契約番号	CI または CI のグループの購入、リース、保証、保守などを網羅する法的な契約の固有の ID。
disk_type	ディスク タイプ	ワークステーションまたはサーバにあるディスク ドライブのタイプ。
graphics_card	グラフィック カード モ	拡張グラフィック機能用にデバイスの使用可能なスロットにイン

オブジェクト名	ラベル	説明
	デル	ストールされた拡張カードのモデル指定。
hard_drive_capacity	ディスク容量	ハードウェア CI で使用可能なハード ドライブの容量。
lease_cost_per_month	リース月額	毎月ベンダーに支払うリースの料金。
lease_effective_date	リース発効日	リースが有効になる日付(リース開始日とも呼ばれます)。
lease_renewal_date	リース更新日	リースを次の期限まで更新するか、または影響を受けた構成アイテムをベンダーに返さなければならない日付。
lease_termination_date	リース終了日	リースが終了して影響を受けた構成アイテムをベンダーに返さなければならない日付。
leased_or_owned_status	リースまたは所有	特定の CI が一定の期間リースされたか、または購入されたかを示します。
maintenance_fee	保守料金	一定の期間の保守サービスに対して支払われる金額。
maintenance_period	保守期間	保守契約が有効な期間。
max_memory	最大メモリ	LPAR で使用可能なメモリの最大量。
max_processors	プロセッサ最大数	LPAR で使用可能なプロセッサの最大数。
media_drive_num	メディア ドライブ容量	複数のメモリ カードを 1 つの単位に統合するハードウェア デバイスの容量。
media_type	メディア タイプ	ハードウェア デバイス(ディスク、CD ROM など)のストレージメディアの種類。
mem_cache_proc	プロセッサ キャッシュ	メモリと CPU 間で高速メモリ ストレージを処理するハードウェア デバイスの ID。
mem_capacity	メモリ容量	インストールして使用することができるメモリの合計量。
modem_card	モデム カード	ネットワークまたはインターネットへの高速接続を可能にするワークステーションまたはネットワーク デバイスのカードの ID。
modem_type	モデム タイプ	ネットワークまたはインターネットに高速接続するワークステーションによって使用されるモデムの分類/速度。
監視	モニタ モデル	ハードウェア、ネットワーク、またはテレコム デバイスに接続する表示装置のタイプ。
mtce_contract_number	保守契約番号	保守契約を一意に識別する番号。
mtce_type	保守タイプ	この CI に提供される保守の種類(ベンダーまたは社内など)。
net_card	ネットワーク カード	ネットワーク接続された別のコンポーネントに接続して通信できるように、コンピュータまたはネットワーク デバイスの使用可能なスロットにインストールされた拡張カードを指定します。
number_proc_inst	インストール済みプロ	ハードウェアまたはネットワーク デバイスにインストールされて

オブジェクト名	ラベル	説明
	セッサ数	いるプロセッサの合計数。
number_slot_proc	プロセッサ容量	ハードウェア デバイスのプロセッサ スロットの合計数。
phys_mem	インストール済みメモリ	ハードウェア デバイスにインストールされている物理メモリ。
printer	プリンタ	ハードウェアまたはネットワーク デバイスに接続しているプリンタのタイプまたはモデル。
ci_priority	CI 優先度	この CI の回復の優先度を示すために割り当てられたサービス レベルの指定。
proc_speed	プロセッサ スピード	コンピュータが操作を実行する速度の測定。
proc_type	プロセッサ タイプ	ハードウェア デバイスの CPU の種類。
proj_code	プロジェクト コード	CI に割り当てられたプロジェクトの ID またはその他の一意の識別子。
purchase_amountc	購入金額	CI の購入に生じたコスト。 注: purchase_amount 属性は廃止されます。
retire_date	リタイア日	CI がアクティブでなくなった日付。
scsi_card	SCSI カード モデル	内部および外部の周辺デバイス間でデータを転送するための標準インターフェースとコマンド セットを提供するカードのモデル ID。
security_patch_level	セキュリティ パッチ レベル	この CI の現在のセキュリティ パッチ バージョンの指定。
svclvl	Service Level Agreement	IT コンポーネントに対して期待される、容認可能なサービスのレベルおよびサポート オプションを規定する IT と顧客間の契約の名前または ID。
slot_mem_used	使用済みメモリ スロット数	ハードウェアまたはネットワーク デバイスで使用可能なメモリカードから使用されているメモリの量。
slot_total_mem	メモリ スロット数	ハードウェアまたはネットワーク デバイスのメモリ カードで使用可能な合計メモリ。

Investment(投資)ファミリ

Investment ファミリには以下のファミリが含まれています。

Investment.Idea

プロジェクト、アセット、アプリケーション、製品、サービス、その他作業などへの投資の新規機会を作成する最初の段階を指定します。 アイデアには、特定の投資の基盤となる関連情報が含まれます。

Investment.Other

アプリケーション、アセット、製品、サービス、その他作業への投資を含めるための包括的なカテゴリを指定します。

Investment.Project

特定の目的を達成するために設計された一連のアクティビティを指定します。プロジェクトは、労力、時間、予算の制約に基づいて策定されます。

ファミリ	クラス	拡張テーブル/ 論理名	拡張テーブル/物 理名	説明
Investment.Idea	ポートフォリオ アイデア	invidex	ci_investment_id ea	アイデアは、プロジェクト、アセット、アプリケーション、製品、サービス、その他作業などへの投資の新規機会を作成する最初の段階です。アイデアは、関連する情報を格納するためのコンテナとして機能し、特定のタイプの投資の基盤となります。
Investment.Other	ポートフォリオ アプリケーション	invothx	ci_investment_ot her	組織内で実行または実装されているアプリケーション固有のデータを収集します。
Investment.Other	ポートフォリオ アセット	invothx	ci_investment_ot her	組織に対するコストおよび利益を発生させる、アセットに固有のデータを収集します。
Investment.Other	ポートフォリオ製 品	invothx	ci_investment_ot her	組織によって製造または所有される製品に固有のデータを収集します。
Investment.Other	ポートフォリオ サービス	invothx	ci_investment_ot her	組織によって提供されるサービスに固有のデータを収集します。
Investment.Other	ポートフォリオ作 業	invothx	ci_investment_ot her	実行される定常作業に固有のデータを収集します。その他の作業では、管理や保守などの間接タスクを表すことができません。
Investment.Project	ポートフォリオ プログラム	invprjx	ci_investment_pr oject	プログラムは、1 つ以上の子プロジェクトを含む親プロジェクト(「傘」のような役割を果たすプロジェクト)として機能する最上位のプロジェクトです。
Investment.Project	ポートフォリオ プロジェクト	invprjx	ci_investment_pr oject	プロジェクトは、特定の目的を達成するために設計された一連のアクティビティです。プロジェクトは、労力、時間、予算の制約に基づいて策定されます。

Investment.Idea の属性

Investment.Idea ファミリには以下のクラスが含まれています。

- ポートフォリオ アイデア

Investment.Idea ファミリには、invidex 拡張テーブルに対応する以下の属性が含まれています。

オブジェクト名	ラベル
business_unit	ビジネス ユニット
依存関係	依存関係
est_finish_date	終了予定日
est_start_date	開始予定日
existing_initiative_impact	既存イニシアチブのインパクト
general_notes	一般的な注意事項
idea_priority	アイデア優先度
owner	所有者
risks	リスク
サブジェクト	件名
target_manager	ターゲット マネージャ

Investment.Other の属性

Investment.Other ファミリには以下のクラスが含まれています。

- ポートフォリオ アプリケーション
- ポートフォリオ アセット
- ポートフォリオ製品
- ポートフォリオ サービス
- ポートフォリオ作業

Investment.Other ファミリには、invotlx 拡張テーブルに対応する以下の属性が含まれています。

オブジェクト名	ラベル
active	アクティブな投資?
alignment	整列
charge_code	チャージ コード
currency	通貨
finish_date	完了日
goal	目標
investment_priority	投資優先度
investment_status	投資ステータス
manager	マネージャ
progress	中
risk	リスク
stage	ステージ
start_date	開始日
status_comment	投資ステータス コメント
status_indicator	投資ステータス インジケータ
total_cost	総コスト
total_effort	総工数
type	投資タイプ

Investment.Project の属性

Investment.Project ファミリには以下のクラスが含まれています。

- ポートフォリオ プログラム
- ポートフォリオ プロジェクト

Investment.Project ファミリには、invprjx 拡張テーブルに対応する以下の属性が含まれています。

オブジェクト名	ラベル
active	アクティブなプロジェクト?
alignment	整列
charge_code	チャージ コード
currency	通貨
finish_date	完了日
goal	目標
manager	マネージャ
progress	中
project_priority	プロジェクト優先度
project_status	プロジェクト ステータス
risk	リスク
stage	ステージ
start_date	開始日
status_comment	プロジェクト ステータス コメント
status_indicator	プロジェクト ステータス インジケータ
total_cost	総コスト
total_effort	総工数

Location(ロケーション)ファミリ

Location ファミリには以下のファミリが含まれています。

Location

物理的なロケーションまたはサイトを指定します。

ファミリ	クラス	拡張テーブル /論理名	拡張テーブル /物理名	説明
Location	Building(ビル)	locx	ci_location	単一物理構造内のサイト
Location	Campus(キャンパス)	locx	ci_location	建物群
Location	市町村	locx	ci_location	比較的大規模で人口密度の高い地域の行政指定
Location	国	locx	ci_location	複数の市町村、地域、都道府県で構成される領域。
Location	Datacenter (データセンター)	locx	ci_location	IT 運用専用サイト
Location	フロア	locx	ci_location	単一フロア上のサイトのセグメント

Location の属性

Location ファミリには以下のクラスが含まれています。

base_location

CI が示すロケーションを指定します(SREL uuid から loc)。ロケーションはロケーションファミリの 1 つの CI によってのみ示されるという排他関係を示します。

Location ファミリには、locx 拡張テーブルに対応する以下の属性が含まれています。

オブジェクト名	ラベル
address1	Address
city	市町村
country	国
description	説明

オブジェクト名	ラベル
サイト	サイト
state	都道府県
zip	郵便番号

Network(ネットワーク)ファミリ

Network ファミリには以下のファミリが含まれています。

Network.Bridge

データ リンク層に従って複数のネットワーク セグメントに接続する抽象デバイスを指定します。

Network.Controller

帯域幅利用を制限または管理するその他デバイスを指定します。

Network.Frontend

メインフレームなどのホスト コンピュータとの通信を扱うネットワーク フロントエンドデバイスを指定します。

Network.Hub

1 つのポートで受信された信号をその他のポートに伝送することにより、ネットワーク デバイスを相互に接続するネットワーク デバイスを指定します。

Network.Network Interface Card

任意のネットワーク通信プロトコルを使用するネットワーク インターフェース カードを指定します。イーサネット LAN および FDDI リングのネットワークカードは NIC です。

Network.Other

分類されていないネットワーク コンポーネントを指定します。

Network.Peripheral

プリンタ、ファックスなど独自の NIC カードを含むネットワーク周辺装置を指定します。

Network.Port

端末ステーションとしてではなく、他のハブやスイッチに接続するために使用されるネットワーク ハブまたはスイッチ上のポートを指定します。

Network.Router

コンピュータ間のメッセージ経路を決定する、ネットワーク内のデバイスを指定します。

Network.Switch

1 つのポートで受信されたパケットをその他のポートにインテリジェントに転送する、ネットワーク デバイスを指定します。

ファミリ	クラス	拡張テーブル/論理名	拡張テーブル/物理名	説明
Network.Bridge	Bridge(ブリッジ)	net_brix	ci_network_bridge	ネットワーク ブリッジ
Network.Controller	Controller(コントローラ)	net_conx	ci_network_controller	Controller(コントローラ)
Network.Frontend	3270 ターミナル	net_frox	ci_network_frontend	3270 ターミナル
Network.Frontend	Network Terminal	net_frox	ci_network_frontend	Network Terminal
Network.Frontend	X ターミナル	net_frox	ci_network_frontend	X ターミナル
Network.Hub	Network Hub(ネットワーク ハブ)	net_hubx	ci_network_hub	ネットワーク上のハブ
Network.Network	Interface Card	net_nicx	ci_network_nic	ネットワーク インターフェース カード
Network.Other	その他ネットワーク デバイス	net_othx	ci_network_other	その他ネットワーク デバイス
Network.Peripheral	ファックス	net_perx	ci_network_peripheral	ファックス
Network.Port	ポート	net_porx	ci_network_port	ネットワーク ポート
Network.Router	Router(ルータ)	net_roux	ci_network_router	イーサネット ルータ
Network.Switch	Network Switch(ネットワーク スイッチ)	net_gatx	ci_network_gateway	Network Switch(ネットワーク スイッチ)

Network.Bridge の属性

Network.Bridge ファミリには、net_brix 拡張テーブルに対応する以下の属性が含まれています。

オブジェクト名	ラベル	説明
active_date	アクティブ日	CI がアクティブ ステータスに入れられた日付
addr_class	アドレス クラス	IP アドレスの値はアドレス クラス(A、B、および C)に配列されています。アドレス クラスでは、ネットワーク上に存在できるワークステーションの数を決定します。
contract_number	契約番号	CI または CI のグループの購入、リース、保証、保守などを網羅する法的な契約の固有の ID。
gateway_id	ゲートウェイ ID	別のネットワークへの入り口(ゲートウェイ)として動作するネットワーク ポイントの固有の ID。
ip_mgmt_addr	管理 IP アドレス	マネージャまたはオペレータのいずれかのレベルのスイッチへのアクセス権限のあるステーション(PC またはワークステーション)に割り当てられた IP アドレス。
last_mtce_date	最終保守日	CI で保守が実行された最後の日付。
lease_cost_per_month	リース月額	毎月ベンダーに支払うリースの料金。
lease_effective_date	リース発効日	リースの開始日。
lease_renewal_date	リース更新日	リースを次の期限まで更新するか、または影響を受けた構成アイテムをベンダーに返さなければならない日付。
lease_termination_date	リース終了日	リースが終了して影響を受けた構成アイテムをベンダーに返さなければならない日付。
leased_or_owned_status	リースまたは所有	特定の CI が一定の期間リースされたか、または購入されたかを示します。

オブジェクト名	ラベル	説明
maintenance_fee	保守料金	一定の期間の保守サービスに対して支払われる金額。
maintenance_period	保守期間	保守契約が有効な期間。
mtce_contract_number	保守契約番号	保守契約を一意に識別する番号。
mtce_type	保守タイプ	この CI に提供される保守の種類(ベンダーまたは社内など)。
network_address	ネットワーク アドレス	この CI が常駐する IP アドレス(例: 192.168.0.4)。
network_name	ネットワーク名	複数のコンピュータとそれらの周辺機器を接続する通信システムの固有の名前または ID。
number_net_card	ネットワーク カード数	コンピュータの使用可能なスロットにインストールされている拡張カードの数。
number_net_port	ネットワーク ポート数	サーバ上で使用されているポートの合計数。
number_net_port_connection	ネットワーク ポート接続数	ネットワーク ポート接続の合計数。
number_ports	ポート数	ネットワーク デバイスにあるポートの合計数。
number_ports_used	使用済みポート数	ネットワーク デバイス上で使用されているポートの合計数。
os_version	OS バージョン	CI のオペレーティング システムのバージョン番号。
ci_priority	CI 優先度	この CI の回復の優先度を示すために割り当てられたサービス レベルの指定。
proj_code	プロジェクト コード	CI に割り当てられたプロジェクトの ID またはその他の一意の識別子。
protocol	Protocol	ネットワーク デバイスによって採用された通信メソッド。
purchase_amountc	購入金額	CI の購入に生じたコスト。 注: purchase_amount 属性は廃止されます。
retire_date	リタイア日	CI がアクティブでなくなった日付。
役割	Role	ハードウェアまたはネットワーク デバイスによってサポートされているビジネス機能(生産、テストなど)。
SLA	Service Level Agreement	この IT コンポーネントに対して期待される、容認可能なサービスのレベルおよびサポート オプションを規定する IT と顧客間の契約の名前または ID。
subnet_mask	サブネット マスク	CI が入れられているサブネットの ID。 IP アドレスと同じ形式で表示されます(例: 255.128.0.0)。
type_net_conn	ネットワーク接続のタイプ	ハードウェアまたはネットワーク デバイスによって使用されるネットワーク接続の種類を指定します。

Network.Controller の属性

Network.Controller ファミリには、net_conx 拡張テーブルに対応する以下の属性が含まれています。

オブジェクト名	ラベル	説明
active_date	アクティブ日	CI がアクティブ ステータスに入れられた日付
addr_class	アドレス クラス	IP アドレスの値はアドレス クラス(A、B、および C)に配列されています。アドレス クラスでは、ネットワーク上に存在できるワークステーションの数を決定します。
contract_number	契約番号	CI または CI のグループの購入、リース、保証、保守などを網羅する法的な契約の固有の ID。
ip_mgmt_addr	管理 IP アドレス	マネージャまたはオペレータのいずれかのレベルのスイッチへのアクセス権限のあるステーション(PC またはワークステーション)に割り当てられた IP アドレス。
last_mtce_date	最終保守日	CI で保守が実行された最後の日付。
lease_cost_per_month	リース月額	毎月ベンダーに支払うリースの料金。
lease_effective_date	リース発効日	リースの開始日。
lease_renewal_date	リース更新日	リースを次の期限まで更新するか、または影響を受けた構成アイテムをベンダーに返さなければならない日付。
lease_termination_date	リース終了日	リースが終了して影響を受けた構成アイテムをベンダーに返さなければならない日付。
leased_or_owned_status	リースまたは所有	特定の CI が一定の期間リースされたか、または購入されたかを示します。
maintenance_fee	保守料金	一定の期間の保守サービスに対して支払われる金額。
maintenance_period	保守期間	保守契約が有効な期間。
mtce_contract_number	保守契約番号	保守契約を一意に識別する番号。

オブジェクト名	ラベル	説明
mtce_level	保守レベル	この CI の現在のパッチ バージョンを示します。
mtce_type	保守タイプ	この CI に提供される保守の種類(バンダーまたは社内など)。
network_address	ネットワーク アドレス	この CI が常駐する IP アドレス(例: 192.168.0.4)。
network_name	ネットワーク名	複数のコンピュータとそれらの周辺機器を接続する通信システムの固有の名前または ID。
number_mips	MIPS	ハードウェアまたはネットワーク デバイスの処理速度と容量の指定。
number_net_card	ネットワーク カード数	コンピュータの使用可能なスロットにインストールされている拡張カードの数。
number_net_port	ネットワーク ポート数	サーバ上で使用されているポートの合計数。
number_net_port_connection	ネットワーク ポート接続数	ネットワーク ポート接続の合計数。
number_ports	ポート数	ネットワーク デバイスにあるポートの合計数。
number_ports_used	使用済みポート数	ネットワーク デバイス上で使用されているポートの合計数。
number_proc_inst	インストール済みプロセッサ数	ハードウェアまたはネットワーク デバイスにインストールされているプロセッサの合計数。
number_smips	zMips 数	SMIPS の合計数。
os_version	OS バージョン	CI のオペレーティング システムのバージョン番号。
ci_priority	CI 優先度	この CI の回復の優先度を示すために割り当てられたサービス レベルの指定。
proj_code	プロジェクト コード	CI に割り当てられたプロジェクトの ID またはその他の一意の識別子。
purchase_amountc	購入金額	CI の購入に生じたコスト。 注: purchase_amount 属性は廃止されます。
retire_date	リタイア日	CI がアクティブでなくなった日付。
役割	Role	ハードウェアまたはネットワーク デバイスによってサポートされているビジネス機能(生産、テストなど)。
SLA	Service Level Agreement	この IT コンポーネントに対して期待される、容認可能なサービスのレベルおよびサポート オプションを規定する IT と顧客間の契約の名前または ID。
subnet_mask	サブネット マスク	CI が入れられているサブネットの ID。 IP アドレスと同じ形式で表示されます(例: 255.128.0.0)。
テクノロジー	テクノロジー	ハードウェアまたはネットワーク デバイスによって採用されたテクノロジー(TCP/IP、イーサーネット、FDDI など)。

オブジェクト名	ラベル	説明
type_net_conn	ネットワーク接続のタイプ	ハードウェアまたはネットワーク デバイスによって使用されるネットワーク接続の種類を指定します。

Network.Frontend の属性

Network.Frontend ファミリには、net_frox 拡張テーブルに対応する以下の属性が含まれています。

オブジェクト名	ラベル	説明
active_date	アクティブ日	CI がアクティブ ステータスに入れられた日付
addr_class	アドレス クラス	IP アドレスの値はアドレス クラス(A、B、および C)に配列されています。アドレス クラスでは、ネットワーク上に存在できるワークステーションの数を決定します。
contract_number	契約番号	CI または CI のグループの購入、リース、保証、保守などを網羅する法的な契約の固有の ID。
ip_mgmt_addr	管理 IP アドレス	マネージャまたはオペレータのいずれかのレベルのスイッチへのアクセス権限のあるステーション(PC またはワークステーション)に割り当てられた IP アドレス。
last_mtce_date	最終保守日	CI で保守が実行された最後の日付。
lease_cost_per_month	リース月額	毎月ベンダーに支払うリースの料金。
lease_effective_date	リース発効日	リースの開始日。
lease_renewal_date	リース更新日	リースを次の期限まで更新するか、または影響を受けた構成アイテムをベンダーに返さなければならない日付。
lease_termination_date	リース終了日	リースが終了して影響を受けた構成アイテムをベンダーに返さなければならない日付。

オブジェクト名	ラベル	説明
leased_or_owned_status	リースまたは所有	特定の CI が一定の期間リースされたか、または購入されたかを示します。
maintenance_fee	保守料金	一定の期間の保守サービスに対して支払われる金額。
maintenance_period	保守期間	保守契約が有効な期間。
mtce_contract_number	保守契約番号	保守契約を一意に識別する番号。
mtce_level	保守レベル	この CI の現在のパッチ バージョンを示します。
mtce_type	保守タイプ	この CI に提供される保守の種類(ベンダーまたは社内など)。
network_address	ネットワーク アドレス	この CI が常駐する IP アドレス(例: 192.168.0.4)。
network_name	ネットワーク名	複数のコンピュータとそれらの周辺機器を接続する通信システムの固有の名前または ID。
number_mips	MIPS	ハードウェアまたはネットワーク デバイスの処理速度と容量の指定。
number_net_card	ネットワーク カード数	コンピュータの使用可能なスロットにインストールされている拡張カードの数。
number_net_port	ネットワーク ポート数	サーバ上で使用されているポートの合計数。
number_net_port_connection	ネットワーク ポート接続数	ネットワーク ポート接続の合計数。
number_ports	ポート数	ネットワーク デバイスにあるポートの合計数。
number_ports_used	使用済みポート数	ネットワーク デバイス上で使用されているポートの合計数。
number_proc_inst	インストール済みプロセッサ数	ハードウェアまたはネットワーク デバイスにインストールされているプロセッサの合計数。
number_smips	zMips 数	SMIPS の合計数。
os_version	OS バージョン	CI のオペレーティング システムのバージョン番号。
ci_priority	CI 優先度	この CI の回復の優先度を示すために割り当てられたサービス レベルの指定。
proj_code	プロジェクト コード	CI に割り当てられたプロジェクトの ID またはその他の一意の識別子。
purchase_amountc	購入金額	CI の購入に生じたコスト。 注: purchase_amount 属性は廃止されます。
retire_date	リタイア日	CI がアクティブでなくなった日付。
役割	Role	ハードウェアまたはネットワーク デバイスによってサポートされているビジネス機能(生産、テストなど)。
SLA	Service Level	この IT コンポーネントに対して期待される、容認可能なサー

オブジェクト名	ラベル	説明
	Agreement	ビスのレベルおよびサポート オプションを規定する IT と顧客間の契約の名前または ID。
subnet_mask	サブネット マスク	CI が入れられているサブネットの ID。 IP アドレスと同じ形式で表示されます(例: 255.128.0.0)。
テクノロジー	テクノロジー	ハードウェアまたはネットワーク デバイスによって採用されたテクノロジー(TCP/IP、イーサーネット、FDDI など)。
type_net_conn	ネットワーク接続のタイプ	ハードウェアまたはネットワーク デバイスによって使用されるネットワーク接続の種類を指定します。

Network.Hub の属性

Network.Hub ファミリには、net_hubx 拡張テーブルに対応する以下の属性が含まれています。

オブジェクト名	ラベル	説明
active_date	アクティブ日	CI がアクティブ ステータスに入れられた日付
addr_class	アドレス クラス	IP アドレスの値はアドレス クラス(A、B、および C)に配列されています。 アドレス クラスでは、ネットワーク上に存在できるワークステーションの数を決定します。
contract_number	契約番号	CI または CI のグループの購入、リース、保証、保守などを網羅する法的な契約の固有の ID。
gateway_id	ゲートウェイ ID	別のネットワークへの入り口(ゲートウェイ)として動作するネットワーク ポイントの固有の ID。
ip_mgmt_addr	管理 IP アドレス	マネージャまたはオペレータのいずれかのレベルのスイッチへのアクセス権限のあるステーション(PC またはワークステーション)に割り当てられた IP アドレス。
last_mtce_date	最終保守日	CI で保守が実行された最後の日付。
lease_cost_per_month	リース月額	毎月ベンダーに支払うリースの料金。

オブジェクト名	ラベル	説明
lease_effective_date	リース発効日	リースの開始日。
lease_renewal_date	リース更新日	リースを次の期限まで更新するか、または影響を受けた構成アイテムをベンダーに返さなければならない日付。
lease_termination_date	リース終了日	リースが終了して影響を受けた構成アイテムをベンダーに返さなければならない日付。
leased_or_owned_status	リースまたは所有	特定の CI が一定の期間リースされたか、または購入されたかを示します。
maintenance_fee	保守料金	一定の期間の保守サービスに対して支払われる金額。
maintenance_period	保守期間	保守契約が有効な期間。
mtce_contract_number	保守契約番号	保守契約を一意に識別する番号。
mtce_level	保守レベル	この CI の現在のバッチ バージョンを示します。
mtce_type	保守タイプ	この CI に提供される保守の種類(ベンダーまたは社内など)。
net_card	ネットワーク カード	ネットワーク接続された別のコンポーネントに接続して通信できるように、コンピュータまたはネットワーク デバイスの使用可能なスロットにインストールされた拡張カードを指定します。
network_address	ネットワーク アドレス	この CI が常駐する IP アドレス(例: 192.168.0.4)。
network_name	ネットワーク名	複数のコンピュータとそれらの周辺機器を接続する通信システムの固有の名前または ID。
number_net_card	ネットワーク カード数	コンピュータの使用可能なスロットにインストールされている拡張カードの数。
number_net_port	ネットワーク ポート数	サーバ上で使用されているポートの合計数。
number_net_port_connection	ネットワーク ポート接続数	ネットワーク ポート接続の合計数。
number_ports	ポート数	ネットワーク デバイスにあるポートの合計数。
number_ports_used	使用済みポート数	ネットワーク デバイス上で使用されているポートの合計数。
os_version	OS バージョン	CI のオペレーティング システムのバージョン番号。
ci_priority	CI 優先度	この CI の回復の優先度を示すために割り当てられたサービス レベルの指定。
proj_code	プロジェクト コード	CI に割り当てられたプロジェクトの ID またはその他の一意の識別子。

オブジェクト名	ラベル	説明
purchase_amountc	購入金額	CI の購入に生じたコスト。 注: purchase_amount 属性は廃止されます。
retire_date	リタイア日	CI がアクティブでなくなった日付。
役割	Role	ハードウェアまたはネットワーク デバイスによってサポートされているビジネス機能(生産、テストなど)。
SLA	Service Level Agreement	この IT コンポーネントに対して期待される、容認可能なサービスのレベルおよびサポート オプションを規定する IT と顧客間の契約の名前または ID。
subnet_mask	サブネット マスク	CI が入れられているサブネットの ID。 IP アドレスと同じ形式で表示されます(例: 255.128.0.0)。
テクノロジー	テクノロジー	ハードウェアまたはネットワーク デバイスによって採用されたテクノロジー(TCP/IP、イーサネット、FDDI など)。
type_net_conn	ネットワーク接続のタイプ	ハードウェアまたはネットワーク デバイスによって使用されるネットワーク接続の種類を指定します。

Network.Network Interface Card の属性

Network.Network Interface Card ファミリには、net_nicx 拡張テーブルに対応する以下の属性が含まれています。

オブジェクト名	ラベル	説明
active_date	アクティブ日	CI がアクティブ ステータスに入れられた日付
addr_class	アドレス クラス	IP アドレスの値はアドレス クラス(A、B、および C)に配列されています。 アドレス クラスでは、ネットワーク上に存在できるワークステーションの数を決定します。
gateway_id	ゲートウェイ ID	別のネットワークへの入り口(ゲートウェイ)として動作するネットワーク ポイントの固有の ID。
ip_mgmt_addr	管理 IP アドレス	マネージャまたはオペレータのいずれかのレベルのスイッチへのアクセス権限のあるステーション(PC またはワークステーション)に割り当てられた IP アドレス。
last_mtce_date	最終保守日	CI で保守が実行された最後の日付。

オブジェクト名	ラベル	説明
line_speed	回線速度	情報がネットワーク接続に送信される速度。
mtce_level	保守レベル	この CI の現在のパッチ バージョンを示します。
network_address	ネットワーク アドレス	この CI が常駐する IP アドレス(例: 192.168.0.4)。
network_name	ネットワーク名	複数のコンピュータとそれらの周辺機器を接続する通信システムの固有の名前または ID。
number_net_card	ネットワーク カード数	コンピュータの使用可能なスロットにインストールされている拡張カードの数。
number_net_port	ネットワーク ポート数	サーバ上で使用されているポートの合計数。
number_net_port_connection	ネットワーク ポート接続数	ネットワーク ポート接続の合計数。
number_ports	ポート数	ネットワーク デバイスにあるポートの合計数。
number_ports_used	使用済みポート数	ネットワーク デバイス上で使用されているポートの合計数。
os_version	OS バージョン	CI のオペレーティング システムのバージョン番号。
protocol	Protocol	ネットワーク デバイスによって採用された通信メソッド。

オブジェクト名	ラベル	説明
retire_date	リタイア日	CI がアクティブでなくなった日付。
役割	Role	ハードウェアまたはネットワーク デバイスによってサポートされているビジネス機能(生産、テストなど)。
subnet_mask	サブネット マスク	CI が入れられているサブネットの ID。IP アドレスと同じ形式で表示されます(例: 255.128.0.0)。
テクノロジー	テクノロジー	ハードウェアまたはネットワーク デバイスによって採用されたテクノロジー(TCP/IP、イーサネット、FDDI など)。
type_net_conn	ネットワーク接続のタイプ	ハードウェアまたはネットワーク デバイスによって使用されるネットワーク接続の種類を指定します。

Network.Other の属性

Network.Other ファミリには、net_othx 拡張テーブルに対応する以下の属性が含まれています。

オブジェクト名	ラベル	説明
active_date	アクティブ日	CI がアクティブ ステータスに入れられた日付
bios_ver	BIOS バージョン	BIOS のバージョン番号。これは、パーソナル コンピュータのスタートアップ時に実行されるコードです。
contract_number	契約番号	CI または CI のグループの購入、リース、保証、保守などを網羅する法的な契約の固有の ID。
gateway_id	ゲートウェイ ID	別のネットワークへの入り口(ゲートウェイ)として動作するネットワーク ポイントの固有の ID。
last_mtce_date	最終保守日	CI で保守が実行された最後の日付。
lease_cost_per_month	リース月額	毎月ベンダーに支払うリースの料金。
lease_effective_date	リース発効日	リースの開始日。
lease_renewal_date	リース更新日	リースを次の期限まで更新するか、または影響を受けた構成ア

オブジェクト名	ラベル	説明
		アイテムをベンダーに返さなければならない日付。
lease_termination_date	リース終了日	リースが終了して影響を受けた構成アイテムをベンダーに返さなければならない日付。
leased_or_owned_status	リースまたは所有	特定の CI が一定の期間リースされたか、または購入されたかを示します。
maintenance_fee	保守料金	一定の期間の保守サービスに対して支払われる金額。
maintenance_period	保守期間	保守契約が有効な期間。
mtce_contract_number	保守契約番号	保守契約を一意に識別する番号。
mtce_level	保守レベル	この CI の現在のパッチ バージョンを示します。
mtce_type	保守タイプ	この CI に提供される保守の種類(ベンダーまたは社内など)。
network_address	ネットワーク アドレス	この CI が常駐する IP アドレス(例: 192.168.0.4)。
network_name	ネットワーク名	複数のコンピュータとそれらの周辺機器を接続する通信システムの固有の名前または ID。
os_version	OS バージョン	CI のオペレーティング システムのバージョン番号。
ci_priority	CI 優先度	この CI の回復の優先度を示すために割り当てられたサービス レベルの指定。
proj_code	プロジェクト コード	CI に割り当てられたプロジェクトの ID またはその他の一意の識別子。
purchase_amountc	購入金額	CI の購入に生じたコスト。 注: purchase_amount 属性は廃止されます。
retire_date	リタイア日	CI がアクティブでなくなった日付。
SLA	Service Level Agreement	この IT コンポーネントに対して期待される、容認可能なサービスのレベルおよびサポート オプションを規定する IT と顧客間の契約の名前または ID。
subnet_mask	サブネット マスク	CI が入れられているサブネットの ID。 IP アドレスと同じ形式で表示されます(例: 255.128.0.0)。

Network.Peripheral の属性

Network.Peripheral ファミリには、net_perx 拡張テーブルに対応する以下の属性が含まれています。

オブジェクト名	ラベル	説明
active_date	アクティブ日	CI がアクティブ ステータスに入れられた日付
addr_class	アドレス クラス	IP アドレスの値はアドレス クラス(A、B、および C)に配列されています。アドレス クラスでは、ネットワーク上に存在できるワークステーションの数を決定します。
contract_number	契約番号	CI または CI のグループの購入、リース、保証、保守などを網羅する法的な契約の固有の ID。
gateway_id	ゲートウェイ ID	別のネットワークへの入り口(ゲートウェイ)として動作するネットワーク ポイントの固有の ID。
ip_mgmt_addr	管理 IP アドレス	マネージャまたはオペレータのいずれかのレベルのスイッチへのアクセス権限のあるステーション(PC またはワークステーション)に割り当てられた IP アドレス。
last_mtce_date	最終保守日	CI で保守が実行された最後の日付。
lease_cost_per_month	リース月額	毎月ベンダーに支払うリースの料金。
lease_effective_date	リース発効日	リースの開始日。
lease_renewal_date	リース更新日	リースを次の期限まで更新するか、または影響を受けた構成アイテムをベンダーに返さなければならない日付。
lease_termination_date	リース終了日	リースが終了して影響を受けた構成アイテムをベンダーに返さなければならない日付。
leased_or_owned_status	リースまたは所有	特定の CI が一定の期間リースされたか、または購入されたかを示します。

オブジェクト名	ラベル	説明
maintenance_fee	保守料金	一定の期間の保守サービスに対して支払われる金額。
maintenance_period	保守期間	保守契約が有効な期間。
mtce_contract_number	保守契約番号	保守契約を一意に識別する番号。
mtce_level	保守レベル	この CI の現在のパッチ バージョンを示します。
mtce_type	保守タイプ	この CI に提供される保守の種類(ベンダーまたは社内など)。
network_address	ネットワーク アドレス	この CI が常駐する IP アドレス(例: 192.168.0.4)。
network_name	ネットワーク名	複数のコンピュータとそれらの周辺機器を接続する通信システムの固有の名前または ID。
number_net_card	ネットワーク カード数	コンピュータの使用可能なスロットにインストールされている拡張カードの数。
number_net_port	ネットワーク ポート数	サーバ上で使用されているポートの合計数。
number_net_port_connection	ネットワーク ポート接続数	ネットワーク ポート接続の合計数。
number_ports	ポート数	ネットワーク デバイスにあるポートの合計数。
number_ports_used	使用済みポート数	ネットワーク デバイス上で使用されているポートの合計数。
os_version	OS バージョン	CI のオペレーティング システムのバージョン番号。
ci_priority	CI 優先度	この CI の回復の優先度を示すために割り当てられたサービス レベルの指定。
proj_code	プロジェクト コード	CI に割り当てられたプロジェクトの ID またはその他の一意の識別子。
purchase_amountc	購入金額	CI の購入に生じたコスト。 注: purchase_amount 属性は廃止されます。
retire_date	リタイア日	CI がアクティブでなくなった日付。
役割	Role	ハードウェアまたはネットワーク デバイスによってサポートされているビジネス機能(生産、テストなど)。
SLA	Service Level Agreement	この IT コンポーネントに対して期待される、容認可能なサービスのレベルおよびサポート オプションを規定する IT と顧客間の契約の名前または ID。
subnet_mask	サブネット マスク	CI が入れられているサブネットの ID。 IP アドレスと同じ形式で表示されます(例: 255.128.0.0)。
テクノロジ	テクノロジ	ハードウェアまたはネットワーク デバイスによって採用されたテクノロジ(TCP/IP、イーサーネット、FDDI など)。
type_net_conn	ネットワーク接続のタイ	ハードウェアまたはネットワーク デバイスによって使用される

オブジェクト名	ラベル	説明
	プ	ネットワーク接続の種類を指定します。

Network.Port の属性

Network.Port ファミリには、net_porx 拡張テーブルに対応する以下の属性が含まれています。

オブジェクト名	ラベル	説明
active_date	アクティブ日	CI がアクティブ ステータスに入れられた日付
addr_class	アドレス クラス	IP アドレスの値はアドレス クラス(A、B、および C)に配列されています。アドレス クラスでは、ネットワーク上に存在できるワークステーションの数を決定します。
channel_address	チャンネル アドレス	ポート上のチャンネルを識別するために使用されるタグ。
contract_number	契約番号	CI または CI のグループの購入、リース、保証、保守などを網羅する法的な契約の固有の ID。
domain	Domain	ネットワークまたはテレコム デバイスが割り当てられている論理グループ(ドメイン)の ID。
gateway_id	ゲートウェイ ID	別のネットワークへの入り口(ゲートウェイ)として動作するネットワーク ポイントの固有の ID。
ip_mgmt_addr	管理 IP アドレス	マネージャまたはオペレータのいずれかのレベルのスイッチへのアクセス権限のあるステーション(PC またはワークステーション)に割り当てられた IP アドレス。
last_mtce_date	最終保守日	CI で保守が実行された最後の日付。
lease_cost_per_month	リース月額	毎月ベンダーに支払うリースの料金。

オブジェクト名	ラベル	説明
lease_effective_date	リース発効日	リースの開始日。
lease_renewal_date	リース更新日	リースを次の期限まで更新するか、または影響を受けた構成アイテムをベンダーに返さなければならない日付。
lease_termination_date	リース終了日	リースが終了して影響を受けた構成アイテムをベンダーに返さなければならない日付。
leased_or_owned_status	リースまたは所有	特定の CI が一定の期間リースされたか、または購入されたかを示します。
line_speed	回線速度	情報がネットワーク接続に送信される速度。
line_type	回線タイプ	ネットワーク通信回線 (ISDN など) の分類。
maintenance_fee	保守料金	一定の期間の保守サービスに対して支払われる金額。
maintenance_period	保守期間	保守契約が有効な期間。
mtce_contract_number	保守契約番号	保守契約を一意に識別する番号。
mtce_level	保守レベル	この CI の現在のパッチ バージョンを示します。
mtce_type	保守タイプ	この CI に提供される保守の種類 (ベンダーまたは社内など)。
network_address	ネットワーク アドレス	この CI が常駐する IP アドレス (例: 192.168.0.4)。
network_name	ネットワーク名	複数のコンピュータとそれらの周辺機器を接続する通信システムの固有の名前または ID。
number_net_card	ネットワーク カード数	コンピュータの使用可能なスロットにインストールされている拡張カードの数。
number_net_port	ネットワーク ポート数	サーバ上で使用されているポートの合計数。
number_net_port_connection	ネットワーク ポート接続数	ネットワーク ポート接続の合計数。
number_ports	ポート数	ネットワーク デバイスにあるポートの合計数。
number_ports_used	使用済みポート数	ネットワーク デバイス上で使用されているポートの合計数。
os_version	OS バージョン	CI のオペレーティング システムのバージョン番号。
ci_priority	CI 優先度	この CI の回復の優先度を示すために割り当てられたサービス レベルの指定。
proj_code	プロジェクト コード	CI に割り当てられたプロジェクトの ID またはその他の一意の識別子。

オブジェクト名	ラベル	説明
protocol	Protocol	ネットワーク デバイスによって採用された通信メソッド。
purchase_amountc	購入金額	CI の購入に生じたコスト。 注: purchase_amount 属性は廃止されます。
retire_date	リタイア日	CI がアクティブでなくなった日付。
役割	Role	ハードウェアまたはネットワーク デバイスによってサポートされているビジネス機能(生産、テストなど)。
SLA	Service Level Agreement	この IT コンポーネントに対して期待される、容認可能なサービスのレベルおよびサポート オプションを規定する IT と顧客間の契約の名前または ID。
subnet_mask	サブネット マスク	CI が入れられているサブネットの ID。 IP アドレスと同じ形式で表示されます(例: 255.128.0.0)。
テクノロジー	テクノロジー	ハードウェアまたはネットワーク デバイスによって採用されたテクノロジー(TCP/IP、イーサネット、FDDI など)。
type_net_conn	ネットワーク接続のタイプ	ハードウェアまたはネットワーク デバイスによって使用されるネットワーク接続の種類を指定します。

Network.Router の属性

Network.Router ファミリには、net_roux 拡張テーブルに対応する以下の属性が含まれています。

オブジェクト名	ラベル	説明
active_date	アクティブ日	CI がアクティブ ステータスに入れられた日付
addr_class	アドレス クラス	IP アドレスの値はアドレス クラス(A、B、および C)に配列されています。 アドレス クラスでは、ネットワーク上に存在できるワークステーションの数を決定します。
contract_number	契約番号	CI または CI のグループの購入、リース、保証、保守などを網羅する法的な契約の固有の ID。
flow	フロー	ルータによって処理されるネットワーク トラフィックの量。

オブジェクト名	ラベル	説明
ip_mgmt_addr	管理 IP アドレス	マネージャまたはオペレータのいずれかのレベルのスイッチへのアクセス権限のあるステーション(PC またはワークステーション)に割り当てられた IP アドレス。
last_mtce_date	最終保守日	CI で保守が実行された最後の日付。
lease_cost_per_month	リース月額	毎月ベンダーに支払うリースの料金。
lease_effective_date	リース発効日	リースの開始日。
lease_renewal_date	リース更新日	リースを次の期限まで更新するか、または影響を受けた構成アイテムをベンダーに返さなければならない日付。
lease_termination_date	リース終了日	リースが終了して影響を受けた構成アイテムをベンダーに返さなければならない日付。
leased_or_owned_status	リースまたは所有	特定の CI が一定の期間リースされたか、または購入されたかを示します。
maintenance_fee	保守料金	一定の期間の保守サービスに対して支払われる金額。
maintenance_period	保守期間	保守契約が有効な期間。
mem_cache_proc	プロセッサ メモリ キャッシュ	メモリと CPU 間で高速メモリ ストレージを処理するハードウェア デバイスの ID。
mtce_contract_number	保守契約番号	保守契約を一意に識別する番号。
mtce_level	保守レベル	この CI の現在のパッチ バージョンを示します。
mtce_type	保守タイプ	この CI に提供される保守の種類(ベンダーまたは社内など)。
network_address	ネットワーク アドレス	この CI が常駐する IP アドレス(例: 192.168.0.4)。
network_name	ネットワーク名	複数のコンピュータとそれらの周辺機器を接続する通信システムの固有の名前または ID。
number_net_card	ネットワーク カード数	コンピュータの使用可能なスロットにインストールされている拡張カードの数。
number_net_port	ネットワーク ポート数	サーバ上で使用されているポートの合計数。
number_net_port_connected	ネットワーク ポート接続	ネットワーク ポート接続の合計数。

オブジェクト名	ラベル	説明
n	続数	
number_ports	ポート数	ネットワーク デバイスにあるポートの合計数。
number_ports_used	使用済みポート数	ネットワーク デバイス上で使用されているポートの合計数。
number_proc_inst	インストール済みポート数	ハードウェアまたはネットワーク デバイスにインストールされているプロセッサの合計数。
os_version	OS バージョン	CI のオペレーティング システムのバージョン番号。
ci_priority	CI 優先度	この CI の回復の優先度を示すために割り当てられたサービス レベルの指定。
proj_code	プロジェクト コード	CI に割り当てられたプロジェクトの ID またはその他の一意の識別子。
protocol	Protocol	ネットワーク デバイスによって採用された通信メソッド。
purchase_amountc	購入金額	CI の購入に生じたコスト。 注: purchase_amount 属性は廃止されます。
retire_date	リタイア日	CI がアクティブでなくなった日付。
役割	Role	ハードウェアまたはネットワーク デバイスによってサポートされているビジネス機能(生産、テストなど)。
rout_prot	ルータ プロトコル	ネットワーク ルータによって採用された通信メソッド。
SLA	Service Level Agreement	この IT コンポーネントに対して期待される、容認可能なサービスのレベルおよびサポート オプションを規定する IT と顧客間の契約の名前または ID。
slot_mem_used	使用済みメモリ スロット数	ハードウェアまたはネットワーク デバイスで使用可能なメモリカードから使用されているメモリの量。
slot_total_mem	メモリ スロット数	ハードウェアまたはネットワーク デバイスのメモリ カードで使用可能な合計メモリ。
subnet_mask	サブネット マスク	CI が入れられているサブネットの ID。 IP アドレスと同じ形式で表示されます(例: 255.128.0.0)。
テクノロジー	テクノロジー	ハードウェアまたはネットワーク デバイスによって採用されたテクノロジー(TCP/IP、イーサネット、FDDI など)。
type_net_conn	ネットワーク接続のタイプ	ハードウェアまたはネットワーク デバイスによって使用されるネットワーク接続の種類を指定します。

Network.Switch の属性

Network.Switch ファミリには、net_gatx 拡張テーブルに対応する以下の属性が含まれています。

オブジェクト名	ラベル	説明
active_date	アクティブ日	CI がアクティブ ステータスに入れられた日付
addr_class	アドレス クラス	IP アドレスの値はアドレス クラス(A、B、および C)に配列されています。アドレス クラスでは、ネットワーク上に存在できるワークステーションの数を決定します。
contract_number	契約番号	CI または CI のグループの購入、リース、保証、保守などを網羅する法的な契約の固有の ID。
gateway_id	ゲートウェイ ID	別のネットワークへの入り口(ゲートウェイ)として動作するネットワーク ポイントの固有の ID。
graphics_card	グラフィック カード モデル	拡張グラフィック機能用にデバイスの使用可能なスロットにインストールされた拡張カードのモデル指定。
ip_mgmt_addr	管理 IP アドレス	マネージャまたはオペレータのいずれかのレベルのスイッチへのアクセス権限のあるステーション(PC またはワークステーション)に割り当てられた IP アドレス。
last_mtce_date	最終保守日	CI で保守が実行された最後の日付。
lease_cost_per_month	リース月額	毎月ベンダーに支払うリースの料金。
lease_effective_date	リース発効日	リースの開始日。
lease_renewal_date	リース更新日	リースを次の期限まで更新するか、または影響を受けた構成アイテムをベンダーに返さなければならない日付。
lease_termination_date	リース終了日	リースが終了して影響を受けた構成アイテムをベンダーに返さ

オブジェクト名	ラベル	説明
		なければならぬ日付。
leased_or_owned_status	リースまたは所有	特定の CI が一定の期間リースされたか、または購入されたかを示します。
maintenance_fee	保守料金	一定の期間の保守サービスに対して支払われる金額。
maintenance_period	保守期間	保守契約が有効な期間。
mtce_contract_number	保守契約番号	保守契約を一意に識別する番号。
mtce_level	保守レベル	この CI の現在のパッチ バージョンを示します。
mtce_type	保守タイプ	この CI に提供される保守の種類(ベンダーまたは社内など)。
network_address	ネットワーク アドレス	この CI が常駐する IP アドレス(例: 192.168.0.4)。
network_name	ネットワーク名	複数のコンピュータとそれらの周辺機器を接続する通信システムの固有の名前または ID。
number_net_card	ネットワーク カード数	コンピュータの使用可能なスロットにインストールされている拡張カードの数。
number_net_port	ネットワーク ポート数	サーバ上で使用されているポートの合計数。
number_net_port_connection	ネットワーク ポート接続数	ネットワーク ポート接続の合計数。
number_ports	ポート数	ネットワーク デバイスにあるポートの合計数。
number_ports_used	使用済みポート数	ネットワーク デバイス上で使用されているポートの合計数。
os_version	OS バージョン	CI のオペレーティング システムのバージョン番号。
ci_priority	CI 優先度	この CI の回復の優先度を示すために割り当てられたサービス レベルの指定。
proj_code	プロジェクト コード	CI に割り当てられたプロジェクトの ID またはその他の一意の識別子。
purchase_amount	購入金額	CI の購入に生じたコスト。 注: purchase_amount 属性は廃止されます。
retire_date	リタイア日	CI がアクティブでなくなった日付。
役割	Role	ハードウェアまたはネットワーク デバイスによってサポートされているビジネス機能(生産、テストなど)。
SLA	Service Level Agreement	この IT コンポーネントに対して期待される、容認可能なサービスのレベルおよびサポート オプションを規定する IT と顧客間の契約の名前または ID。
subnet_mask	サブネット マスク	CI が入れられているサブネットの ID。 IP アドレスと同じ形式で表示されます(例: 255.128.0.0)。

オブジェクト名	ラベル	説明
テクノロジー	テクノロジー	ハードウェアまたはネットワーク デバイスによって採用されたテクノロジー (TCP/IP、イーサーネット、FDDI など)。
type_net_conn	ネットワーク接続のタイプ	ハードウェアまたはネットワーク デバイスによって使用されるネットワーク接続の種類を指定します。

Organization (組織) ファミリ

Organization ファミリには以下のファミリが含まれています。

Organization

構成された担当者グループを示すエンティティを指定します。

ファミリ	クラス	拡張テーブル / 論理名	拡張テーブル / 物理名	説明
Organization	外部	orgx	ci_organizational	社外の組織
Organization	Internal	orgx	ci_organizational	会社の組織上セグメント

組織属性

組織ファミリには以下のクラスが含まれています。

base_organization

CI が示す組織を指定します (SREL uuid から org)。組織は組織ファミリの 1 つの CI によってのみ示されるという排他関係を示します。

Organization ファミリには、net_orgx 拡張テーブルに対応する以下の属性が含まれています。

オブジェクト名	ラベル
alt_phone	別の電話番号
billing_code	請求コード
contact	組織連絡先
description	説明
email_addr	電子メール アドレス

オブジェクト名	ラベル
fax_phone	FAX 番号
ロケーション	Location
org_num	組織コード
owning_contract	サービス契約
pemail_addr	ポケットベルの電子メール アドレス
phone_number	主要電話番号
service_type	サービス タイプ
status	設定済みステータス

Security(セキュリティ)ファミリ

Security ファミリには以下の属性が含まれています。

セキュリティ

不正なアクセスまたは操作からデータ、ソフトウェア、およびハードウェアを保護するセキュリティ システムを指定します。これらのシステムには、デジタル証明書、ディレクトリ サービス、および生体力学的またはキー ベースのシステムが含まれます。

ファミリ	クラス	拡張テーブル /論理名	拡張テーブル /物理名	説明
セキュリティ	Application Security (アプリケーション セキュリティ)	secx	ci_security	Application Security (アプリケーション セキュリティ)
セキュリティ	Building Security (ビルのセキュリティ)	secx	ci_security	Building Security (ビルのセキュリティ)
セキュリティ	Data Security (データ セキュリティ)	secx	ci_security	Data Security (データ セキュリティ)
セキュリティ	Other Security (その他のセキュリティ)	secx	ci_security	その他のセキュリティ

Security の属性

Security ファミリには、secx 拡張テーブルに対応する以下の属性が含まれています。

オブジェクト名	ラベル	説明
appl	適用先	このセキュリティ CI のドメインを示します。
avail	可用性	セキュリティ関連 CI へのアクセスが提供されたことを示します。
ci_priority	CI 優先度	この CI の回復の優先度を示すために割り当てられたサービス レベルの指定。
confidentiality_level	機密性レベル	セキュリティ関連 CI の機密性のレベル(view-only、高、中、低など)。
integrity_level	完全性レベル	特定のセキュリティ関連 CI の完全性のレベル(高、中、低など)
優先度	プライオリティ	この CI の回復の優先度を示すために割り当てられたサービス レベルの指定。
security_id	セキュリティ ID	セキュリティ関連 CI の番号またはその他の ID。
SLA	Service Level Agreement	この IT コンポーネントに対して期待される、容認可能なサービスのレベルおよびサポート オプションを規定する IT と顧客間の契約の名前または ID。

Service(サービス)ファミリ

重要: Service ファミリは CA CMDB r12.5 では廃止されました。Enterprise Service ファミリを代わりに使用します。

Service ファミリは、以下のファミリから構成されています。

サービス

ユーザに対して一貫したタスク セットを提供または実行するエンティティを指定します。サービスは高レベルのビジネス サービスの場合、または低レベルの IT 技術 サービスの場合があります。一般的にサポート、電子メール、アカウントなどがサービスとして提供されます。

ファミリ	クラス	拡張テーブル/論理名	拡張テーブル/物理名	説明
サービス	コンポーネント	serx	ci_service	CA NSM BPV (Business Process View)コンポーネント
サービス	Document	serx	ci_service	CA NSM BPV ドキュメント

ファミリー	クラス	拡張テーブル/論理名	拡張テーブル/物理名	説明
サービス	Person	serx	ci_service	CA NSM BPV 担当者
サービス	手順	serx	ci_service	CA NSM BPV 手順
サービス	プロセス	serx	ci_service	CA NSM BPV プロセス
サービス	Role	serx	ci_service	CA NSM BPV の役割
サービス	サービス	serx	ci_service	CA NSM BPV サービス

サービス属性

Service ファミリーには、serx 拡張テーブルに対応する以下の属性が含まれています。

オブジェクト名	ラベル	説明
ci_priority	CI 優先度	この CI の回復の優先度を示すために割り当てられたサービス レベルの指定。
end_date	End Date	サービスの有効期限が切れるかまたは無効になる日付。
portfolio	Service Portfolio	関連サービスのグループの名前または ID。
優先度	プライオリティ	この CI の回復の優先度を示すために割り当てられたサービス レベルの指定。
service_id	サービス ID	サービス CI の名前またはその他の一意の ID。
サイト	サイト	CI のロケーションを説明する指定。
SLA	Service Level Agreement	この IT コンポーネントに対して期待される、容認可能なサービスのレベルおよびサポート オプションを規定する IT と顧客間の契約の名前または ID。
start_date	開始日	契約、ドキュメント、サービス、または SLA がアクティブになった日付。
type	型	アプリケーション、契約、ドキュメント、サービス、または SLA CI の種類の説明。
バージョン	Version	アプリケーション、ドキュメント、サービス、または SLA CI の現在のレベル(バージョン)を指定する番号またはその他の ID。

SLA(サービス レベル アグリーメント)ファミリ

SLA ファミリにはサービス プロバイダと消費者の間の契約を指定する以下のファミリが含まれています。

- Operational Level Agreement (オペレーショナル レベル アグリーメント)
- Other Service Level Agreement (その他のサービス レベル アグリーメント)
- Service Level Agreement
- Underpinning Contract (請負契約)

ファミリ	クラス	拡張テーブル/論理名	拡張テーブル/物理名
Service Level Agreement	Operational Level Agreement (オペレーショナル レベル アグリーメント)	slax	ci_sla
Service Level Agreement	Other Service Level Agreement (その他のサービス レベル アグリーメント)	slax	ci_sla
Service Level Agreement	Service Level Agreement	slax	ci_sla
Service Level Agreement	Underpinning Contract (請負契約)	slax	ci_sla

SLA の属性

Service Level Agreement ファミリには、slax 拡張テーブルに対応する以下の属性が含まれています。

オブジェクト名	ラベル	説明
sla_category	サービス レベル アグリーメント カテゴリ	アプリケーション、サービス、SLA、またはドキュメントの上位レベル タグの指定。
sla_date_active	サービス レベル アグリーメント 発効日	構成アイテムをユーザが利用できるようになった日付。
sla_end_date	サービス レベル アグリーメント 終了日	SLA が期限切れまたは無効になった日付。
sla_id	サービス レベル アグリーメント ID	サービスレベル アグリーメント CI の一意の名前またはその他の ID。

オブジェクト名	ラベル	説明
sla_start_date	サービス レベル ア グリーメント開始日	契約、ドキュメント、サービス、または SLA がアクティブになった日付。
sla_status	Service Level Agreement Status	アプリケーション、契約、ドキュメント、サービス、または SLA CI のステータス(開発、レビュー、アクティブ、リタイア済みなど)の指定。
sla_type	サービス レベル ア グリーメント タイプ	アプリケーション、契約、ドキュメント、サービス、または SLA CI の種類の説明。
sla_version	サービス レベル ア グリーメント バー ジョン	アプリケーション、ドキュメント、サービス、または SLA CI の現在のレベル(バージョン)を指定する番号またはその他の ID。

Software(ソフトウェア)ファミリ

Software ファミリには以下のファミリが含まれています。

Software.Application

IT インフラストラクチャのプログラム コンポーネントを指定します。

Software.Application Server

クライアント コンピュータに、通常はインターネットを介し HTTP (Hypertext Transfer Protocol、ハイパーテキスト転送プロトコル)を使用してクライアント アプリケーションを提供するソフトウェア エンジン指定します。

Software.Bespoke

注文に応じてカスタマイズまたは作成されたソフトウェアを指定します。

Software.COTS

購入またはリースされたソフトウェアで、所有会社以外で製造されたソフトウェアを指定します。

Software.Database

Ingres、Oracle、DB2、MS SQL などのデータベース管理システム(DBMS)を指定します。

Software.In-House

アプリケーションを使用して社内で開発されたソフトウェア アプリケーションを指定します。

Software.Operating System

コンピュータまたは同様のデバイスにインストールされ、基本サービスを提供しその他のソフトウェアを実行可能にするソフトウェアを指定します。

ファミリ	クラス	拡張テーブル/論理名	拡張テーブル/物理名
Software.Application	アプリケーション	app_extx	ci_app_ext
Software.Application	Application Instance	app_extx	ci_app_ext
Software.Application Server	アプリケーション サーバ	app_extx	ci_app_ext
Software.Application Server	Application Server Instance	app_extx	ci_app_ext
Software.Bespoke	Bespoke(注文品)	app_extx	ci_app_ext
Software.COTS	Batch	app_extx	ci_app_ext
Software.COTS	CICS	app_extx	ci_app_ext
Software.COTS	COTS	app_extx	ci_app_ext
Software.COTS	Network Software	app_extx	ci_app_ext
Software.COTS	セキュリティ	app_extx	ci_app_ext
Software.COTS	STC	app_extx	ci_app_ext
Software.COTS	TSO	app_extx	ci_app_ext
Software.COTS	WebSphere MQ	app_extx	ci_app_ext
Software.Database	CA-Datcom	dat_basx	ci_database
Software.Database	CA-IDMS	dat_basx	ci_database
Software.Database	DB2	dat_basx	ci_database
Software.Database	IMS	dat_basx	ci_database
Software.Database	Ingres	dat_basx	ci_database
Software.Database	Oracle	dat_basx	ci_database
Software.Database	Other Software Database (その他のソフトウェア)	dat_basx	ci_database

ファミリ	クラス (データベース)	拡張テーブル/論理名	拡張テーブル/物理名
Software.Database	SQL	dat_basx	ci_database
Software.Database	Sybase	dat_basx	ci_database
Software.In-House	In-House (社内)	app_inhx	ci_app_inhouse
Software.Operating System	AIX OS	opsysx	ci_operating_system
Software.Operating System	HP UX OS	opsysx	ci_operating_system
Software.Operating System	Linux OS	opsysx	ci_operating_system
Software.Operating System	MVS OS	opsysx	ci_operating_system
Software.Operating System	OS/390 OS	opsysx	ci_operating_system
Software.Operating System	Other Software	opsysx	ci_operating_system
Software.Operating System	Sun OS	opsysx	ci_operating_system
Software.Operating System	Tandem OS	opsysx	ci_operating_system
Software.Operating System	Unisys OS	opsysx	ci_operating_system
Software.Operating System	Unix OS	opsysx	ci_operating_system
Software.Operating System	Vax OS	opsysx	ci_operating_system
Software.Operating System	VM OS	opsysx	ci_operating_system
Software.Operating System	Windows OS	opsysx	ci_operating_system
Software.Operating System	z/OS OS	opsysx	ci_operating_system

Software の属性

以下の属性は app_extx 拡張テーブルに対応し、以下のファミリに適用されます。

- Software.Application
- Software.Application Server
- Software.Bespoke
- Software.COTS

オブジェクト名	ラベル	説明
app_id	アプリケーション ID	アプリケーション名またはその他の一意の ID。
カテゴリ	カテゴリ	アプリケーションの上位レベル タイプの指定。
ci_priority	CI 優先度	この CI の回復の優先度を示すために割り当てられたサービ

オブジェクト名	ラベル	説明
		ス レベルの指定。
contract_number	契約番号	CI または CI のグループの購入、リース、保証、保守などを網羅する法的な契約の固有の ID。
date_installed	インストール日	構成アイテムの物理インストールが完了した日付。
環境	環境	アプリケーション環境(開発、テスト、生産など)またはプロジェクト環境(メインフレーム、分散など)。
highavail_appl_resources	高可用性リソース	アプリケーション CI に高可用性機能を提供するリソースの名前。
highly_avail	高可用性状態	アプリケーション CI が高可用性生産シナリオで実行されること(はい/いいえ)を示します。
inhouse_or_vendor	外部ベンダー	このソフトウェアの開発/保守に責任を持つ社内部門。
INSTALL_DIR	インストール ディレクトリ	アプリケーションのプログラム ファイルが格納されているディレクトリ。
lease_cost_per_month	リース月額	毎月ベンダーに支払うリースの料金。
lease_end_date	リース終了日	リースが終了して影響を受けた構成アイテムをベンダーに返さなければならない日付。
lease_renewal_date	リース更新日	リースを次の期限まで更新するか、または影響を受けた構成アイテムをベンダーに返さなければならない日付。
lease_start_date	リース発効日	リースの開始日。
leased_or_owned_status	リースまたは所有	特定の CI が一定の時間枠でリースされたかまたは購入されたかを示します。
main_process	メイン プロセス	アプリケーション プロセスのメイン スレッドを指定します。
maintenance_fee	保守料金	一定の期間の保守サービスに対して支払われる金額。
maintenance_period	保守期間	保守契約がアクティブになっている期間。
mtce_contract_number	保守契約番号	保守契約を一意に識別する番号。
mtce_type	保守タイプ	この CI に提供される保守の種類(ベンダーまたは社内など)。
portfolio	ポートフォリオ	管理および追跡を目的としてプロジェクトを 1 つの単位にグループ化すること。
proj_code	プロジェクト コード	CI に割り当てられたプロジェクトの ID またはその他の一意の識別子。
purchase_amountc	購入金額	CI の購入に生じたコスト。 注: purchase_amount 属性は廃止されます。

オブジェクト名	ラベル	説明
response_time	応答時間	トランザクションが入力された時間とアプリケーションが応答を返すまでの目標時間の測定。
server	サーバ	アプリケーションが実行するサーバの名前。
SLA	Service Level Agreement	この IT コンポーネントに対して期待される、容認可能なサービスのレベルおよびサポート オプションを規定する IT と顧客間の契約の名前または ID。
storage_used	使用済みストレージ	使用中のストレージの使用可能な量。
support_end_date	サポート終了日	アプリケーションのサポートの提供が停止される日付。
support_start_date	サポート開始日	アプリケーションのサポートの提供が開始される日付。
support_type	サポート タイプ	この CI に提供されるサポートの種類(gold/silver/bronze など)。
type	型	アプリケーション、契約、ドキュメント、サービス、または SLA CI の種類の説明。
uptime	稼動時間	コンポーネントが完全に機能している状態にある時間の比率を示す、望ましい「可用性」。
version	Version	アプリケーション、ドキュメント、サービス、または SLA CI の現在のレベル(バージョン)を指定する番号またはその他の ID。

Software.Database の属性

Software.Database ファミリには、dat_basx 拡張テーブルに対応する以下の属性が含まれています。

オブジェクト名	ラベル	説明
ci_priority	CI 優先度	この CI の回復の優先度を示すために割り当てられたサービス レベルの指定。
contract_number	契約番号	CI または CI のグループについて購買、リース、保証、保守などを規定する法的拘束力のある契約の固有 ID。
db_id	データベース ID	データベースを一意に識別する名前。
環境	環境	アプリケーション環境(開発、テスト、生産など)またはプロジェクト環境(メインフレーム、分散など)。
leased_or_owned_status	リースまたは所有	特定の CI が一定の時間枠でリースされたかまたは購入されたかを示します。
portfolio	ポートフォリオ	管理および追跡を目的としてプロジェクトを 1 つの単位にグ

オブジェクト名	ラベル	説明
		ループ化すること。
優先度	プライオリティ	この CI の回復の優先度を示すために割り当てられたサービス レベルの指定。
proj_code	プロジェクト コード	CI に割り当てられたプロジェクトの ID またはその他の一意の識別子。
server	サーバ	アプリケーションが実行するサーバの名前。
SLA	Service Level Agreement	この IT コンポーネントに対して期待される、容認可能なサービスのレベルおよびサポート オプションを規定する IT と顧客間の契約の名前または ID。
support_end_date	サポート終了日	アプリケーションのサポートの提供が停止される日付。
support_start_date	サポート開始日	アプリケーションのサポートの提供が開始される日付。
support_type	サポート タイプ	この CI に提供されるサポートの種類(gold/silver/bronze など)。
type	型	アプリケーション、契約、ドキュメント、サービス、または SLA CI の種類の説明。
version	Version	アプリケーション、ドキュメント、サービス、または SLA CI の現在のレベル(バージョン)を指定する番号またはその他の ID。

Software.In-House の属性

Software.In-House ファミリには、app_inhx 拡張テーブルに対応する以下の属性が含まれています。

オブジェクト名	ラベル	説明
app_id	アプリケーション ID	アプリケーション名またはその他の一意の ID。
カテゴリ	カテゴリ	アプリケーション、サービス、SLA、またはドキュメントの上位レベル タイプの指定。
ci_priority	CI 優先度	この CI の回復の優先度を示すために割り当てられたサービス レベルの指定。
date_installed	インストール日	構成アイテムの物理インストールが完了した日付。
環境	環境	アプリケーション環境(開発、テスト、生産など)またはプロジェクト環境(メインフレーム、分散など)。
highavail_appl_resources	高可用性リソース	アプリケーション CI に高可用性機能を提供するリソースの名前。

オブジェクト名	ラベル	説明
highly_avail	高可用状態	アプリケーション CI が高可用性生産シナリオで実行されること(はい/いいえ)を示します。
inhouse_or_vendor	Inhouse Department	このソフトウェアの開発/保守に責任を持つ社内部門。
INSTALL_DIR	インストール ディレクトリ	アプリケーションのプログラム ファイルが格納されているディレクトリ。
leased_or_owned_status	リースまたは所有	特定の CI が一定の時間枠でリースされたかまたは購入されたかを示します。
main_process	メイン プロセス	アプリケーション プロセスのメイン スレッドを指定します。
portfolio	ポートフォリオ	管理および追跡を目的としてプロジェクトを 1 つの単位にグループ化すること。
優先度	プライオリティ	この CI の回復の優先度を示すために割り当てられたサービス レベルの指定。
proj_code	プロジェクト コード	CI に割り当てられたプロジェクトの ID またはその他の一意の識別子。
purchase_amountc	購入金額	CI のコスト。 注: purchase_amount 属性は廃止されます。
response_time	応答時間	トランザクションが入力された時間とアプリケーションが応答を返すまでの目標時間の測定。
server	サーバ	アプリケーションが実行するサーバの名前。
SLA	Service Level Agreement	この IT コンポーネントに対して期待される、容認可能なサービスのレベルおよびサポート オプションを規定する IT と顧客間の契約の名前または ID。
storage_used	使用済みストレージ	使用中のストレージの使用可能な量。
support_end_date	サポート終了日	アプリケーションのサポートの提供が停止される日付。
support_start_date	サポート開始日	アプリケーションのサポートの提供が開始される日付。
support_type	サポート タイプ	この CI に提供されるサポートの種類(gold/silver/bronze など)。
type	型	アプリケーション、契約、ドキュメント、サービス、または SLA CI の種類の説明。
uptime	稼動時間	コンポーネントが完全に機能している状態にある時間の比率を示す、望ましい「使用可能性」。
version	Version	アプリケーション、ドキュメント、サービス、または SLA CI の現在のレベル(バージョン)を指定する番号またはその他の ID。

Software.Operating System の属性

Software.Operating System ファミリには、opsysx 拡張テーブルに対応する以下の属性が含まれています。

オブジェクト名	ラベル	説明
os_id	Operating System ID	オペレーティング システム名またはその他の一意の ID。
contract_number	契約番号	CI または CI のグループについて購買、リース、保証、保守などを規定する法的拘束力のある契約の固有 ID。
date_installed	インストール日	構成アイテムの物理インストールが完了した日付。
環境	環境	アプリケーション環境 (開発、テスト、生産など) またはプロジェクト環境 (メインフレーム、分散など)。
lease_cost_per_month	リース月額	毎月ベンダーに支払うリースの料金。
lease_end_date	リース終了日	リースが終了して影響を受けた構成アイテムをベンダーに返さなければならない日付。
lease_renewal_date	リース更新日	リースを次の期限まで更新するか、または影響を受けた構成アイテムをベンダーに返さなければならない日付。
lease_start_date	リース発効日	リースの開始日。
leased_or_owned_status	リースまたは所有	特定の CI が一定の時間枠でリースされたかまたは購入されたかを示します。
maintenance_fee	保守料金	一定の期間の保守サービスに対して支払われる金額。
maintenance_period	保守期間	保守契約がアクティブになっている期間。
mtce_contract_number	保守契約番号	保守契約を一意に識別する番号。
mtce_type	保守タイプ	この CI に提供される保守の種類 (ベンダーまたは社内など)。
ci_priority	CI 優先度	この CI の回復の優先度を示すために割り当てられたサービス レベルの指定。
proj_code	プロジェクト コード	CI に割り当てられたプロジェクトの ID またはその他の一意の識別子。
purchase_amountc	購入金額	CI の購入に生じたコスト。 注: purchase_amount 属性は廃止されます。
server	サーバ	アプリケーションが実行するサーバの名前。
SLA	Service Level Agreement	この IT コンポーネントに対して期待される、容認可能なサービスのレベルおよびサポート オプションを規定する IT と顧客間の契約の名前または ID。

オブジェクト名	ラベル	説明
support_end_date	サポート終了日	アプリケーションのサポートの提供が停止される日付。
support_start_date	サポート開始日	アプリケーションのサポートの提供が開始される日付。
support_type	サポート タイプ	この CI に提供されるサポートの種類 (gold/silver/bronze など)。
type	OS タイプ	アプリケーション、契約、ドキュメント、サービス、または SLA CI の種類の説明。
version	Version	アプリケーション、ドキュメント、サービス、または SLA CI の現在のレベル (バージョン) を指定する番号またはその他の ID。

J2EE 規格

CA CMDB には以下のソフトウェア CI のファミリーが含まれています。

- Software.COTS 拡張: ci_app_ext
- Software.Application 拡張: ci_app_ext
- Software.Application Server 拡張: ci_app_ext
- Software.Bespoke 拡張: ci_app_ext
- Software.In-House 拡張: ci_app_inhouse
- Software.Database 拡張: ci_database
- Software.Operating System 拡張: ci_operating_system

既存の CA CMDB/CA Cohesion ACM インテグレーションでは、J2EE アプリケーション サーバおよび J2EE アプリケーション サーバの両方を含むすべてのソフトウェア CI に Software.COTS ファミリーを使用します。ソフトウェア CI は、以下の形式で構成されている system_name 属性によって調整されます。

HostName|AppName|Version|Qualifier

さらに、これらの CI の名前にも同じ形式が使用されます。

AppName|Version|Qualifier

J2EE 対応のファミリ、クラス、および調整

J2EE アプリケーションまたは J2EE アプリケーション サーバ CI を使用する場合は、以下の調整を考慮に入れます。

- J2EE アプリケーションおよびアプリケーション サーバ CI があり、J2EE CI 対応の CA Wily 製品またはその他の MDR ソースがない場合は、既存の調整戦略を使用することができます。CA Cohesion ACM では、カスタマイズできるエクスポート機能を提供し、元のモードで動作できるようにします。
- CA Wily 製品を使用する予定で、CA Cohesion ACM によって検出された CI がすでにある場合は、既存の J2EE CI を非アクティブとしてマーキングさせるスクリプトを記述できます。これにより、新しい CA CMDB インテグレーションを使用して CI を再検出することができます。

今後 CA CMDB と統合する場合は、以下のファミリ、クラス、および調整キーを J2EE アプリケーション CI に使用します。

オブジェクト	値
ファミリ	Software.Application
拡張子	ci_app_ext
クラス	アプリケーション
属性	カテゴリとタイプ 注：これらの属性は、J2EE アプリケーションとその他のアプリケーションとを区別します。
調整属性/キー	名前: AppName Port system_name: HostName AppName Port

今後 CA CMDB と統合する場合は、以下のファミリ、クラス、および調整キーを J2EE アプリケーション サーバ CI に使用します。

オブジェクト	値
ファミリ	Software.Application Server
拡張子	ci_app_ext
クラス	アプリケーション サーバ
属性	カテゴリとタイプ 注：これらの属性は、J2EE アプリケーションとその他のアプリケーションとを区別します。

オブジェクト	値
調整属性/キー	Name: HostName Port system_name: HostName Port

ストレージ エリア ネットワーク(SAN)ファミリ

ストレージ エリア ネットワーク(SAN)ファミリには以下が含まれます。

SAN.Interface

SAN の構成で使用される、ネットワーク インタフェース カードに類似したファイバ チャンネル インタフェースを指定します。

SAN.Switch

SAN の構成で使用される、ネットワーク スイッチに類似したファイバ チャンネル スイッチを指定します。

ファミリ	クラス	拡張テーブル /論理名	拡張テーブル /物理名	説明
SAN.Interface	インターフェース	net_nicx	ci_network_nic	SAN のインターフェース
SAN.Switch	Hub(ハブ)	net_hubx	ci_network_hub	SAN 上のハブ
SAN.Switch	Switch(スイッチ)	net_hubx	ci_network_hub	SAN 上のスイッチ

SAN.Interface の属性

SAN.Interface ファミリには、net_nicx 拡張テーブルに対応する以下の属性が含まれています。

オブジェクト名	ラベル	説明
active_date	アクティブ日	CI がアクティブ ステータスに入れられた日付
addr_class	アドレス クラス	IP アドレスの値はアドレス クラス(A、B、および C)に配列されています。アドレス クラスでは、ネットワーク上に存在できるワークステーションの数を決定します。
gateway_id	ゲートウェイ ID	別のネットワークへの入り口(ゲートウェイ)として動作するネットワーク ポイントの固有の ID。

オブジェクト名	ラベル	説明
ip_mgmt_addr	管理 IP アドレス	マネージャまたはオペレータのいずれかのレベルのスイッチへのアクセス権限のあるステーション(PC またはワークステーション)に割り当てられた IP アドレス。
last_mtce_date	最終保守日	CI で保守が実行された最後の日付。
line_speed	回線速度	情報がネットワーク接続に送信される速度。
mtce_level	保守レベル	この CI の現在のパッチ バージョンを示します。
mtce_type	保守タイプ	この CI に提供される保守の種類(ベンダーまたは社内など)。
network_address	ネットワーク アドレス	この CI が常駐する IP アドレス(例: 192.168.0.4)。
network_name	ネットワーク名	複数のコンピュータとそれらの周辺機器を接続する通信システムの固有の名前または ID。
number_net_card	ネットワーク カード数	コンピュータの使用可能なスロットにインストールされている拡張カードの数。
number_net_port	ネットワーク ポート数	サーバ上で使用されているポートの合計数。
number_net_port_con n	ネットワーク ポート接続 数	サーバにあるポートの合計数。
number_ports	ポート数	ネットワーク デバイスにあるポートの合計数。
number_ports_used	使用済みポート数	ネットワーク デバイス上で使用されているポートの合計数。
os_version	OS バージョン	CI のオペレーティング システムのバージョン番号。
protocol	Protocol	ネットワーク デバイスによって採用された通信メソッド。
purchase_amountc	購入金額	CI の購入に生じたコスト。 注: purchase_amount 属性は廃止されます。
retire_date	リタイア日	CI がアクティブでなくなった日付。
役割	Role	ハードウェアまたはネットワーク デバイスによってサポートされているビジネス機能(生産、テストなど)。
subnet_mask	サブネット マスク	CI が入れられているサブネットの ID。 IP アドレスと同じ形式で表示されます(例: 255.128.0.0)。
テクノロジー	テクノロジー	ハードウェアまたはネットワーク デバイスによって採用されたテクノロジー(TCP/IP、イーサネット、FDDI など)。
type_net_conn	ネットワーク接続のタイ プ	ハードウェアまたはネットワーク デバイスによって使用されるネットワーク接続の種類を指定します。

SAN.Switch の属性

SAN.Switch ファミリには、net_hubx 拡張テーブルに対応する以下の属性が含まれています。

オブジェクト名	ラベル	説明
active_date	アクティブ日	CI がアクティブ ステータスに入れられた日付
addr_class	アドレス クラス	IP アドレスの値はアドレス クラス(A、B、および C)に配列されています。アドレス クラスでは、ネットワーク上に存在できるワークステーションの数を決定します。
contract_number	契約番号	CI または CI のグループの購入、リース、保証、保守などを網羅する法的な契約の固有の ID。
gateway_id	ゲートウェイ ID	別のネットワークへの入り口(ゲートウェイ)として動作するネットワーク ポイントの固有の ID。
ip_mgmt_addr	管理 IP アドレス	マネージャまたはオペレータのいずれかのレベルのスイッチへのアクセス権限のあるステーション(PC またはワークステーション)に割り当てられた IP アドレス。
last_mtce_date	最終保守日	CI で保守が実行された最後の日付。
lease_cost_per_month	リース月額	毎月ベンダーに支払うリースの料金。
lease_termination_date	リース終了日	リースが終了して影響を受けた構成アイテムをベンダーに返さなければならない日付。
lease_renewal_date	リース更新日	リースを次の期限まで更新するか、または影響を受けた構成アイテムをベンダーに返さなければならない日付。
lease_effective_date	リース発効日	リースの開始日。
leased_or_owned_status	リースまたは所有	特定の CI が一定の期間リースされたか、または購入されたかを示します。
maintenance_fee	保守料金	一定の期間の保守サービスに対して支払われる金額。
maintenance_period	保守期間	保守契約が有効な期間。
mtce_contract_number	保守契約番号	保守契約を一意に識別する番号。
mtce_level	保守レベル	この CI の現在のパッチ バージョンを示します。
mtce_type	保守タイプ	この CI に提供される保守の種類(ベンダーまたは社内など)。
network_address	ネットワーク アドレス	この CI が常駐する IP アドレス(例: 192.168.0.4)。
network_name	ネットワーク名	複数のコンピュータとそれらの周辺機器を接続する通信システムの固有の名前または ID。

オブジェクト名	ラベル	説明
number_net_card	ネットワーク カード数	コンピュータの使用可能なスロットにインストールされている拡張カードの数。
number_net_port	ネットワーク ポート数	サーバ上で使用されているポートの合計数。
number_net_port_connection	ネットワーク ポート接続数	サーバにあるポートの合計数。
number_ports	ポート数	ネットワーク デバイスにあるポートの合計数。
number_ports_used	使用済みポート数	ネットワーク デバイス上で使用されているポートの合計数。
os_version	OS バージョン	CI のオペレーティング システムのバージョン番号。
優先度	プライオリティ	この CI の回復の優先度を示すために割り当てられたサービス レベルの指定。
project code	プロジェクト コード	
protocol	Protocol	ネットワーク デバイスによって採用された通信メソッド。
purchase_amountc	購入金額	CI の購入に生じたコスト。 注: purchase_amount 属性は廃止されます。
retire_date	リタイア日	CI がアクティブでなくなった日付。
役割	Role	ハードウェアまたはネットワーク デバイスによってサポートされているビジネス機能(生産、テストなど)。
SLA	Service Level Agreement	この IT コンポーネントに対して期待される、容認可能なサービスのレベルおよびサポート オプションを規定する IT と顧客間の契約の名前または ID。
subnet_mask	サブネット マスク	CI が入れられているサブネットの ID。 IP アドレスと同じ形式で表示されます(例: 255.128.0.0)。
テクノロジー	テクノロジー	ハードウェアまたはネットワーク デバイスによって採用されたテクノロジー(TCP/IP、イーサネット、FDDI など)。
type_net_conn	ネットワーク接続のタイプ	ハードウェアまたはネットワーク デバイスによって使用されるネットワーク接続の種類を指定します。

Telecom(テレコム)ファミリー

Telecom ファミリーには以下のファミリーが含まれています。

Telecom.Circuit

電気通信ネットワークの 2 つのノード間の専用接続を指定します。

Telecom.Other

その他の電気通信コンポーネントを指定します。

Telecom.Radio

RF 受信機または送信機を指定します。

Telecom.Voice

同じ回路で複数の音声回線をサポートする多重接続を指定します。

Telecom.Wireless

携帯電話、またはワイヤレスのハンドセットやヘッドセットなど、地上通信線に依存しない電気通信デバイスを指定します。

ファミリー	クラス	拡張テーブル/論理名	拡張テーブル/物理名
Telecom.Circuit	Communication Circuit (通信回路)	tel_cirx	ci_telcom_circuit
Telecom.Circuit	Other Telecom Circuit(そ の他の電気通信回路)	tel_cirx	ci_telcom_circuit
Telecom.Circuit	Satellite Link(サテライト リンク)	tel_cirx	ci_telcom_circuit
Telecom.Other	ACD	tel_othx	ci_telcom_other
Telecom.Other	IVR	tel_othx	ci_telcom_other
Telecom.Other	Other Telecom(その他の 電気通信)	tel_othx	ci_telcom_other
Telecom.Other	PDA	tel_othx	ci_telcom_other
Telecom.Other	Video Conferencing Unit (ビデオ会議装置)	tel_othx	ci_telcom_other
Telecom.Radio	Other Telecom Radio(そ の他のラジオ電気通信)	tel_radx	ci_telcom_radio
Telecom.Radio	Radio Data Modem(無線 データ モデム)	tel_radx	ci_telcom_radio
Telecom.Radio	Radio Handsets(無線ハ ンドセット)	tel_radx	ci_telcom_radio

ファミリ	クラス (エンドセット)	拡張テーブル/論理名	拡張テーブル/物理名
Telecom.Voice	Centrex (セントレックス)	tel_voix	ci_telcom_voice
Telecom.Voice	Conference Bridge Line (カンファレンス ブリッジ 回線)	tel_voix	ci_telcom_voice
Telecom.Voice	Desk Phone (卓上電話)	tel_voix	ci_telcom_voice
Telecom.Voice	Other Telecom Voice (そ の他の音声電気通信)	tel_voix	ci_telcom_voice
Telecom.Voice	PBX	tel_voix	ci_telcom_voice
Telecom.Voice	Phone Card (テレホン カード)	tel_voix	ci_telcom_voice
Telecom.Wireless	Mobile Phone (携帯電 話)	tel_wirx	ci_telcom_wireless
Telecom.Wireless	Other Telecom Wireless (その他のワイヤレス電気 通信)	tel_wirx	ci_telcom_wireless
Telecom.Wireless	ポケットベル	tel_wirx	ci_telcom_wireless

Telecom.Circuit の属性

Telecom.Circuit ファミリには、tel_cirx 拡張テーブルに対応する以下の属性が含まれています。

オブジェクト名	ラベル	説明
active_date	アクティブ日	CI がアクティブ ステータスに入れられた日付
帯域幅	帯域幅	有線またはワイヤレスの通信リンクを経由して送受信できる時間当たりのデータの量。一般的に、ビット/秒、KB/秒、MB/秒などで指定されます。
carrier	キャリア	電気通信サービスを提供する会社(AT&T、Cingular、Sprint、Verizon など)。
circuit_number	回路番号	電話会社から発行された、回線を一意に識別する番号。
circuit_type	回路タイプ	電気通信回線の上位レベルのタイプを示します。
contract_number	契約番号	CI または CI のグループの購入、リース、保証、保守などを網羅する法的な契約の固有の ID。

オブジェクト名	ラベル	説明
last_mtce_date	最終保守日	CI で保守が実行された最後の日付。
lease_cost_per_month	リース月額	毎月ベンダーに支払うリースの料金。
lease_effective_date	リース発効日	リースの開始日。
lease_renewal_date	リース更新日	リースを次の期限まで更新するか、または影響を受けた構成アイテムをベンダーに返さなければならない日付。
lease_termination_date	リース終了日	リースが終了して影響を受けた構成アイテムをベンダーに返さなければならない日付。
leased_or_owned_status	Leased or Owned	特定の CI が一定の期間リースされたか、または購入されたかを示します。
maintenance_fee	保守料金	一定の期間の保守サービスに対して支払われる金額。
maintenance_period	保守期間	保守契約が有効な期間。
mtce_contract_number	保守契約番号	保守契約を一意に識別する番号。
mtce_level	保守レベル	この CI の現在のパッチ バージョンを示します。
mtce_type	保守タイプ	この CI に提供される保守の種類(ベンダーまたは社内など)。
network_address	ネットワーク アドレス	この CI が常駐する IP アドレス(例: 192.168.0.4)。
network_name	ネットワーク名	複数のコンピュータとそれらの周辺機器を接続する通信システムの固有の名前または ID。
ci_priority	CI 優先度	この CI の回復の優先度を示すために割り当てられたサービス レベルの指定。
proj_code	プロジェクト コード	CI に割り当てられたプロジェクトの ID またはその他の一意の識別子。

オブジェクト名	ラベル	説明
purchase_amountc	購入金額	CI の購入に生じたコスト。 注: purchase_amount 属性は廃止されます。
retire_date	リタイア日	CI がアクティブでなくなった日付。
server_id	サーバ ID	サーバの名前またはその他の一意の ID。
SLA	Service Level Agreement	この IT コンポーネントに対して期待される、容認可能なサービスのレベルおよびサポート オプションを規定する IT と顧客間の契約の名前または ID。

Telecom.Other の属性

Telecom.Other ファミリには、tel_othx 拡張テーブルに対応する以下の属性が含まれています。

オブジェクト名	ラベル	説明
active_date	アクティブ日	CI がアクティブ ステータスに入れられた日付
帯域幅	帯域幅	有線またはワイヤレスの通信リンクを経由して送受信できる時間当たりのデータの量。 一般的に、ビット/秒、KB/秒、MB/秒などで指定されます。
bios_ver	BIOS バージョン	BIOS のバージョン番号。これは、パーソナル コンピュータのスタートアップ時に実行されるコードです。
carrier	キャリア	電気通信サービスを提供する会社(AT&T、Cingular、Sprint、Verizon など)。
circuit_number	回路番号	電話会社から発行された、回線を一意に識別する番号。
contract_number	契約番号	CI または CI のグループの購入、リース、保証、保守などを網羅する法的な契約の固有の ID。
cpu_type	CPU タイプ	テレコム デバイスの中央処理装置のタイプ(および速度)。
domain	Domain	ネットワークまたはテレコム デバイスが割り当てられている論理グループ(ドメイン)の ID。

オブジェクト名	ラベル	説明
frequency	Frequency	テレコム信号がワイヤレスまたは無線デバイスに送信されるときの波長。
gateway_id	ゲートウェイ ID	別のネットワークへの入り口(ゲートウェイ)として動作するネットワーク ポイントの固有の ID。
harddrive_capacity	ハード ドライブ容量	テレコム CI で使用可能なハード ドライブの容量。
harddrive_used	使用済みハード ドライブ領域	使用されたハード ドライブの量。
last_mtce_date	最終保守日	CI で保守が実行された最後の日付。
lease_cost_per_month	リース月額	毎月ベンダーに支払うリースの料金。
lease_effective_date	リース発効日	リースの開始日。
lease_renewal_date	リース更新日	リースを次の期限まで更新するか、または影響を受けた構成アイテムをベンダーに返さなければならない日付。
lease_termination_date	リース終了日	リースが終了して影響を受けた構成アイテムをベンダーに返さなければならない日付。
leased_or_owned_status	Leased or Owned	特定の CI が一定の期間リースされたか、または購入されたかを示します。
license_expiration_date	ライセンス有効期限	ハードウェアまたはソフトウェアのライセンスが失効する日付
ci_license_number	CI ライセンス番号	ハードウェアまたはソフトウェア CI の有効なライセンス番号。
line_id	回線 ID	電気通信回線を一意に識別する名称。
main_extension	メイン エクステンション	ビジネスの主要電話番号。
maintenance_fee	保守料金	一定の期間の保守サービスに対して支払われる金額。

オブジェクト名	ラベル	説明
maintenance_period	保守期間	保守契約が有効な期間。
memory_available	空きメモリ	使用可能なメモリの量。
memory_used	使用済みメモリ	使用中のメモリの使用可能な量。
監視	モニタ モデル	ハードウェア、ネットワーク、またはテレコム デバイスに接続する表示装置のタイプ。
mtce_contract_number	保守契約番号	保守契約を一意に識別する番号。
mtce_level	保守レベル	この CI の現在のパッチ バージョンを示します。
mtce_type	保守タイプ	この CI に提供される保守の種類(ベンダーまたは社内など)。
network_address	ネットワーク アドレス	この CI が常駐する IP アドレス(例: 192.168.0.4)。
network_name	ネットワーク名	複数のコンピュータとそれらの周辺機器を接続する通信システムの固有の名前または ID。
nic_card	NIC カード	ネットワーク上の各デバイス(ノード)にはネットワーク インターフェース カード(NIC)があります。NIC は、イーサネット、トークン リング、RF などにすることができます。NIC はデバイス内にインストールされていて、リアルタイムでネットワーク専用の接続を提供します。
phone_number	電話番号	電話会社によって発行された、固定電話または携帯電話の接続を一意に識別する番号。
ci_priority	CI 優先度	この CI の回復の優先度を示すために割り当てられたサービス レベルの指定。
proj_code	プロジェクト コード	CI に割り当てられたプロジェクトの ID またはその他の一意の識別子。
purchase_amountc	購入金額	CI の購入に生じたコスト。 注: purchase_amount 属性は廃止されます。

オブジェクト名	ラベル	説明
retire_date	リタイア日	CI がアクティブでなくなった日付。
server_id	サーバ ID	サーバの名前またはその他の一意の ID。
SLA	Service Level Agreement	この IT コンポーネントに対して期待される、容認可能なサービスのレベルおよびサポート オプションを規定する IT と顧客間の契約の名前または ID。
subnet_mask	サブネット マスク	CI が入れられているサブネットの ID。IP アドレスと同じ形式で表示されます(例: 255.128.0.0)。

Telecom.Wireless の属性

Telecom.Wireless ファミリには、tel_wirx 拡張テーブルに対応する以下の属性が含まれています。

オブジェクト名	ラベル	説明
active_date	発効日	CI がアクティブ ステータスに入れられた日付
帯域幅	帯域幅	有線またはワイヤレスの通信リンクを経由して送受信できる時間当たりのデータの量。一般的に、ビット/秒、KB/秒、MB/秒などで指定されます。
bios_ver	BIOS バージョン	BIOS のバージョン番号。これは、パーソナル コンピュータのスタートアップ時に実行されるコードです。
carrier	キャリア	電気通信サービスを提供する会社(AT&T、Cingular、Sprint、Verizon など)。
contract_number	契約番号	CI または CI のグループの購入、リース、保証、保守などを網羅する法的な契約の固有の ID。
cpu_type	CPU タイプ	テレコム デバイスの中央処理装置のタイプ(および速度)。
domain	Domain	ネットワークまたはテレコム デバイスが割り当てられている論理グループ(ドメイン)の ID。
frequency	Frequency	テレコム信号がワイヤレスまたは無線デバイスに送信されるときの波長。

オブジェクト名	ラベル	説明
gateway_id	ゲートウェイ ID	別のネットワークへの入り口(ゲートウェイ)として動作するネットワーク ポイントの固有の ID。
harddrive_capacity	ハード ドライブ容量	テレコム CI で使用可能なハード ドライブの容量。
harddrive_used	使用済みハード ドライブ領域	使用されたハード ドライブの量。
last_mtce_date	最終保守日	CI で保守が実行された最後の日付。
lease_cost_per_month	リース月額	毎月ベンダーに支払うリースの料金。
lease_effective_date	リース発効日	リースの開始日。
lease_renewal_date	リース更新日	リースを次の期限まで更新するか、または影響を受けた構成アイテムをベンダーに返さなければならない日付。
lease_termination_date	リース終了日	リースが終了して影響を受けた構成アイテムをベンダーに返さなければならない日付。
leased_or_owned_status	Leased or Owned	特定の CI が一定の期間リースされたか、または購入されたかを示します。
license_expiration_date	ライセンス有効期限	ハードウェアまたはソフトウェアのライセンスが失効する日付
ci_license_number	CI ライセンス番号	ハードウェアまたはソフトウェア CI の有効なライセンス番号。
line_id	回線 ID	電気通信回線を一意に識別する名称。
main_extension	メイン エクステンション	ビジネスの主要電話番号。
maintenance_fee	保守料金	一定の期間の保守サービスに対して支払われる金額。
maintenance_period	保守期間	保守契約が有効な期間。

オブジェクト名	ラベル	説明
memory_available	空きメモリ	使用可能なメモリの量。
memory_used	使用済みメモリ	使用中のメモリの使用可能な量。
監視	モニタ モデル	ハードウェア、ネットワーク、またはテレコム デバイスに接続する表示装置のタイプ。
mtce_contract_number	保守契約番号	保守契約を一意に識別する番号。
mtce_level	保守レベル	この CI の現在のパッチ バージョンを示します。
mtce_type	保守タイプ	この CI に提供される保守の種類(ベンダーまたは社内など)。
network_address	ネットワーク アドレス	この CI が常駐する IP アドレス(例: 192.168.0.4)。
network_name	ネットワーク名	複数のコンピュータとそれらの周辺機器を接続する通信システムの固有の名前または ID。
nic_card	NIC カード	ネットワーク上の各デバイス(ノード)にはネットワーク インターフェース カード(NIC)があります。NIC は、イーサネット、トークン リング、RF などに行うことができます。NIC はデバイス内にインストールされていて、リアルタイムでネットワーク専用の接続を提供します。
phone_number	電話番号	電話会社によって発行された、固定電話または携帯電話の接続を一意に識別する番号。
ci_priority	CI 優先度	この CI の回復の優先度を示すために割り当てられたサービス レベルの指定。
proj_code	プロジェクト コード	CI に割り当てられたプロジェクトの ID またはその他の一意の識別子。
purchase_amountc	購入金額	CI の購入に生じたコスト。 注: purchase_amount 属性は廃止されます。
retire_date	リタイア日	CI がアクティブでなくなった日付。

オブジェクト名	ラベル	説明
SLA	Service Level Agreement	この IT コンポーネントに対して期待される、容認可能なサービスのレベルおよびサポート オプションを規定する IT と顧客間の契約の名前または ID。
subnet_mask	サブネット マスク	CI が入れられているサブネットの ID。IP アドレスと同じ形式で表示されます(例: 255.128.0.0)。

Telecom.Radio の属性

Telecom.Radio ファミリには、tel_radx 拡張テーブルに対応する以下の属性が含まれています。

オブジェクト名	ラベル	説明
active_date	アクティブ日	CI がアクティブ ステータスに入れられた日付
帯域幅	帯域幅	有線またはワイヤレスの通信リンクを経由して送受信できる時間当たりのデータの量。一般的に、ビット/秒、KB/秒、MB/秒などで指定されます。
bios_ver	BIOS バージョン	BIOS のバージョン番号。これは、パーソナル コンピュータのスタートアップ時に実行されるコードです。
contract_number	契約番号	CI または CI のグループの購入、リース、保証、保守などを網羅する法的な契約の固有の ID。
cpu_type	CPU タイプ	テレコム デバイスの中央処理装置のタイプ(および速度)。
domain	Domain	ネットワークまたはテレコム デバイスが割り当てられている論理グループ(ドメイン)の ID。
frequency	Frequency	テレコム信号がワイヤレスまたは無線デバイスに送信されるときの波長。
gateway_id	ゲートウェイ ID	別のネットワークへの入り口(ゲートウェイ)として動作するネットワーク ポイントの固有の ID。
harddrive_capacity	ハード ドライブ容量	テレコム CI で使用可能なハード ドライブの容量。
harddrive_used	使用済みハード ドライブ領域	使用されたハード ドライブの量。

オブジェクト名	ラベル	説明
last_mtce_date	最終保守日	CI で保守が実行された最後の日付。
lease_cost_per_month	リース月額	毎月ベンダーに支払うリースの料金。
lease_effective_date	リース発効日	リースの開始日。
lease_renewal_date	リース更新日	リースを次の期限まで更新するか、または影響を受けた構成アイテムをベンダーに返さなければならない日付。
lease_termination_date	リース終了日	リースが終了して影響を受けた構成アイテムをベンダーに返さなければならない日付。
leased_or_owned_status	Leased or Owned	特定の CI が一定の期間リースされたか、または購入されたかを示します。
license_expiration_date	ライセンス有効期限	ハードウェアまたはソフトウェアのライセンスが失効する日付
ci_license_number	CI ライセンス番号	ハードウェアまたはソフトウェア CI の有効なライセンス番号。
maintenance_fee	保守料金	一定の期間の保守サービスに対して支払われる金額。
maintenance_period	保守期間	保守契約が有効な期間。
memory_available	空きメモリ	使用可能なメモリの量。
memory_used	使用済みメモリ	使用中のメモリの使用可能な量。
監視	モニタ モデル	ハードウェア、ネットワーク、またはテレコム デバイスに接続する表示装置のタイプ。
mtce_contract_number	保守契約番号	保守契約を一意に識別する番号。
mtce_level	保守レベル	この CI の現在のパッチ バージョンを示します。

オブジェクト名	ラベル	説明
mtce_type	保守タイプ	この CI に提供される保守の種類(ベンダーまたは社内など)。
network_address	ネットワーク アドレス	この CI が常駐する IP アドレス(例: 192.168.0.4)。
network_name	ネットワーク名	複数のコンピュータとそれらの周辺機器を接続する通信システムの固有の名前または ID。
nic_card	NIC カード	ネットワーク上の各デバイス(ノード)にはネットワーク インターフェース カード(NIC)があります。NIC は、イーサネット、トークン リング、RF などにすることができます。NIC はデバイス内にインストールされていて、リアルタイムでネットワーク専用の接続を提供します。
ci_priority	CI 優先度	この CI の回復の優先度を示すために割り当てられたサービス レベルの指定。
proj_code	プロジェクト コード	CI に割り当てられたプロジェクトの ID またはその他の一意の識別子。
purchase_amountc	購入金額	CI の購入に生じたコスト。 注: purchase_amount 属性は廃止されます。
retire_date	リタイア日	CI がアクティブでなくなった日付。
SLA	Service Level Agreement	この IT コンポーネントに対して期待される、容認可能なサービスのレベルおよびサポート オプションを規定する IT と顧客間の契約の名前または ID。
subnet_mask	サブネット マスク	CI が入れられているサブネットの ID。IP アドレスと同じ形式で表示されます(例: 255.128.0.0)。

Telecom.Voice の属性

Telecom.Voice ファミリには、tel_voix 拡張テーブルに対応する以下の属性が含まれています。

オブジェクト名	ラベル	説明
active_date	アクティブ日	CI がアクティブ ステータスに入れられた日付

オブジェクト名	ラベル	説明
carrier	キャリア	電気通信サービスを提供する会社(AT&T、Cingular、Sprint、Verizon など)。
circuit_number	回路番号	電話会社から発行された、回線を一意に識別する番号。
contract_number	契約番号	CI または CI のグループの購入、リース、保証、保守などを網羅する法的な契約の固有の ID。
cpu_type	CPU タイプ	テレコム デバイスの中央処理装置のタイプ(および速度)。
harddrive_capacity	ハード ドライブ容量	テレコム CI で使用可能なハード ドライブの容量。
harddrive_used	使用済みハード ドライブ領域	使用されたハード ドライブの量。
last_mtce_date	最終保守日	CI で保守が実行された最後の日付。
lease_cost_per_month	リース月額	毎月ベンダーに支払うリースの料金。
lease_effective_date	リース発効日	リースの開始日。
lease_renewal_date	リース更新日	リースを次の期限まで更新するか、または影響を受けた構成アイテムをベンダーに返さなければならない日付。
lease_termination_date	リース終了日	リースが終了して影響を受けた構成アイテムをベンダーに返さなければならない日付。
leased_or_owned_status	Leased or Owned	特定の CI が一定の期間リースされたか、または購入されたかを示します。
main_extension	メイン エクステンション	ビジネスの主要電話番号。
maintenance_fee	保守料金	一定の期間の保守サービスに対して支払われる金額。
maintenance_period	保守期間	保守契約が有効な期間。

オブジェクト名	ラベル	説明
memory_available	空きメモリ	使用可能なメモリの量。
memory_used	使用済みメモリ	使用中のメモリの使用可能な量。
監視	モニタ モデル	ハードウェア、ネットワーク、またはテレコム デバイスに接続する表示装置のタイプ。
mtce_contract_number	保守契約番号	保守契約を一意に識別する番号。
mtce_level	保守レベル	この CI の現在のパッチ バージョンを示します。
mtce_type	保守タイプ	この CI に提供される保守の種類(ベンダーまたは社内など)。
network_address	ネットワーク アドレス	この CI が常駐する IP アドレス(例: 192.168.0.4)。
network_name	ネットワーク名	複数のコンピュータとそれらの周辺機器を接続する通信システムの固有の名前または ID。
nic_card	NIC カード	ネットワーク上の各デバイス(ノード)にはネットワーク インターフェース カード(NIC)があります。NIC は、イーサネット、トークン リング、RF などに行うことができます。NIC はデバイス内にインストールされていて、リアルタイムでネットワーク専用の接続を提供します。
phone_number	電話番号	電話会社によって発行された、固定電話または携帯電話の接続を一意に識別する番号。
ci_priority	CI 優先度	この CI の回復の優先度を示すために割り当てられたサービス レベルの指定。
proj_code	プロジェクト コード	CI に割り当てられたプロジェクトの ID またはその他の一意の識別子。
purchase_amountc	購入金額	CI の購入に生じたコスト。 注: purchase_amount 属性は廃止されます。
retire_date	リタイア日	CI がアクティブでなくなった日付。

オブジェクト名	ラベル	説明
SLA	Service Level Agreement	この IT コンポーネントに対して期待される、容認可能なサービスのレベルおよびサポート オプションを規定する IT と顧客間の契約の名前または ID。

第 3 章: General Resource Loader (GRLoader)

このセクションには、以下のトピックが含まれています。

[GRLoader に関する考慮事項](#) (123 ページ)

[GRLoader コマンド](#) (124 ページ)

[XML 入力](#) (129 ページ)

[エラー処理](#) (132 ページ)

[GRLoader 構成ファイル](#) (132 ページ)

[GRLoader XML](#) (135 ページ)

[データ変換](#) (146 ページ)

[リモート MDR からの GRLoader の実行](#) (161 ページ)

[GRLoader およびマルチテナンシー](#) (162 ページ)

GRLoader に関する考慮事項

GRLoader を使用する前に、以下の考慮事項を確認してください。

- GRLoader r12.5 は以前のリリースの CA CMDB と互換性がありますが、以前のリリースの GRLoader は CA CMDB r12.5 と互換性がありません。たとえば、サイトに既存の CA CMDB r11.2 インストールがあり、後で CA CMDB r12.5 をインストールして、サイトに 2 つのインストールがあるとします。GRLoader r12.5 はインストールされた両方のシステムで動作しますが、GRLoader r11.2 は r11.2 インストールでのみ動作します。-s パラメータを使用すると、複数あるインストールのうちどれを GRLoader で使用するかを指定することができます。
- 最新バージョンの GRLoader を使用するには、すべての MDR スクリプトをマイグレートすることをお勧めします。新規 CI を挿入する場合は、マイグレーション時に既存のスクリプトを変更して、-n を指定する必要があります。
- -n または -a を指定しない場合、GRLoader では CI および関係は挿入または更新されません。
- 構成ファイルに GRLoader オプションを指定することができます。
- -a オプションを使用することにより CI が更新される場合には常に、属性が変更されない場合にも、構成アイテム リストに表示される最終変更日付およびユーザが更新されます。この更新は、CI がユーザ インターフェイスで編集された(そして変更なしで保存された)か、または GRLoader を使用して更新された場合に、行われます。

- GRLoader で警告、エラー、またはスキップが発生した場合には、常にエラー ログに CI 情報が記録されます。たとえば、GRLoader が CI をロードしようとしたとき、更新を許可する `-a` が指定されていない場合、該当するメッセージを含む情報がエラー ログに表示されます。

GRLoader コマンド

GRLoader は CI 情報を CMDB にインポートします。GRLoader は、入力として XML ドキュメントを使用します。これにより、さまざまなデータ ソースに由来するデータをインポートすることができます。GRLoader は、コマンド プロンプトから実行するか、`.bat` または `.cmd` ファイルを使用することによって実行できます。GRLoader は、どのディレクトリからでも実行できるように、インストール中にパスに追加されます。

インポートからの結果には、読み取られた数、スキップされた数、挿入された数、更新された数、エラー数、および警告数を含め、処理されたすべての CI および関係のカウンタ数が表示されます。処理された詳細およびエラーはすべて `nx_root/log/grloader.log` ファイルに記録されます。ここで、`nx_root` は CA CMDB サーバのインストール ディレクトリを示します。

構文

```
C:\WINDOWS>GRLoader -?
```

GRLoader のコマンドは、以下のパラメータを使用します。

`-u userid`

(必須) GRLoader プロセスを実行するユーザ ID を指定します。

`-p password`

(必須) ユーザ ID のパスワードを指定します。GRLoader は、`-p` パラメータなしに実行された場合、コンソールにパスワードを要求します。

`-s http[s]://cmdb_servername:port`

(必須) Web サービスを実行するポート番号を含むサーバ URL を指定します。デフォルト インストールのプライマリ サーバ上で GRLoader を実行する場合は、以下のコマンドを使用できます。

```
-s http://localhost:8080
```

注：オプションの `-C` パラメータが指定された場合、このパラメータは無視されます。

-i XML_input_file

(必須)完全パス名または相対パス名を指定します。

注: ADT は、初期設定により、以下のディレクトリに GRLoader への入力を作成します。

```
nx_root/CMDB/cmdb/data/userdata
```

nx_root は、CA CMDB サーバのインストール ディレクトリを示します。

-n

(オプション)CMDB への新規 CI の挿入を許可します。-n がいない場合、CI は、XML エラー ファイルに書き込まれます(-e パラメータを参照してください)。関係は、-n または -a が指定された場合のみ、追加されます。両方とも指定されない場合、更新は実行されません。CI を更新するには -a パラメータも必要です。

-a

(オプション)構成アイテムの更新を許可します(デフォルトでは、CI が CMDB に存在する場合、更新は許可されません)。新規 CI を追加するには -n フラグも必要です。

-D

(オプション)関係名のプレフィックスを指定します(デフォルトでは「GRLoader」に設定されます)。プレフィックスは、新しい関係のシンボル フィールドに使用されます。シンボル ファイルは、固有である必要があります。したがって、それを固有にするために、datetime フィールドおよび番号がこのプレフィックスに付加されます。デフォルトのプレフィックスは「GRLoader」です。

-e XML_err_file

(オプション)エラーまたは警告が検出された場合に XML エラー ファイルを出力します。初期設定により、エラー ファイル名は、XML 入力ファイルの名前およびそれに付加された「_err.xml」です。たとえば、入力ファイルが abc.xml である場合、エラー ファイルは abc_err.xml です。-e パラメータを使用してこの初期設定の名前を上書きします。

-E

(オプション)XML エラー ファイルの上書きを許可します。初期設定により、エラー ファイルは上書きできません。

-l

(オプション)大文字小文字を無視します。このパラメータを使用した場合、GRLoader は、ルックアップ フィールドの入力値をデータベースに保存されている実際の値と比較するときに、大文字と小文字を区別しません。初期設定により、ルックアップは大文字小文字を区別します。

-lftwa [-chg nnnn]

(オプション)TWA トランザクションを CMDB にロードします。-chg を使用した場合、ロードでは、変更要求 nnnn に関連付けられているトランザクションのみが選択されます。

注: CMDB へのロード時に、変更要求の文字列は検証されません。

-lftwai [-chg nnnn]

(オプション)TWA トランザクションを実行して CMDB を更新します。正常に実行されたトランザクションは非アクティブに設定されるため、リストには表示されません。-chg を使用した場合、ロードでは、変更要求 nnnn に関連付けられているトランザクションのみが選択されます。

-lftwa

(オプション)XML を、直接 CMDB にロードするのではなく、トランザクションワーク エリア(TWA)にロードします。TWA にデータがロードされた後、データの編集、変更および検証を実行できます。データ変更プロセスの完了後、個々のトランザクションを CMDB にロードできます(-lftwa を参照してください)。

-lftwar

(オプション)XML を、直接 CMDB にロードするのではなく、トランザクションワーク エリア(TWA)に初期状態でロードします。TWA 内のトランザクションデータは、編集、変更、および確認することができます(-simci および -simrel を参照してください)。データ変更プロセスの完了後、個々のトランザクションを CMDB にロードできます(-lftwai を参照してください)。

-nosspinner(-spinner)

(オプション)CI および関係の進捗状況を表示するスピナーを無効にします。-spinner を指定すると、スピナーが再度有効になります。

-P

(オプション)大規模処理時のパフォーマンスを向上するために、プリロード データを指定します。大規模入力ファイルの場合、-P パラメータを指定すると、いくつかのテーブルがメモリにプリロードされ、これらの処理が速くなります。小規模入力(50 エントリ未満)の場合、プリロードは不要です。

-rs

(オプション)XML 入力ファイルに含まれているシンボル値を置換します。このパラメータが有効である場合は、以下のシンボル値が、対応する値に置換されます。

now は、一意性を保証するためのシーケンス番号が付加された、一意の日付/時刻文字列に置換されます。

userid は、**-u** パラメータで指定されたユーザ ID です。

inputfile は、**-I** パラメータで指定されたファイル名です。

relationcount は、今回の GRLoader 実行で現在までに処理された関係の数です。

lastciuuid は、最後に処理された CI の uuid です。

cicount は、今回の GRLoader 実行で現在までに処理された CI の数です。

例: -rs パラメータの使用

「-rs」が有効である場合、以下の例では、名前が **ci1**、**ci2** から **ci100** までの 100 個の CI が作成されます。

```
<GRLoader>
<ci><name>ci*cicount*</name><class>Server</class></ci>
[...repeated 100 times...]
</GRLoader>
```

-rs が有効である場合、以下の例では、CI の説明が最新の更新についての情報で更新されます。

```
<GRLoader>
<ci>
<name>server1</name>
<description>updated by *userid* on *now* using input file *inputfile*</description>
</ci>
</GRLoader>
```

-simci

(オプション)CI の操作をシミュレートして、一連のトランザクションによって CI が作成されるかどうかを事前に判別します。したがって、その他の CI についてはあいまいである可能性があります。

-simrel

(オプション)関係の操作をシミュレートして、関係トランザクションによって関係が作成されるか、関係が更新されるかを事前に判別します。

-T trace_level

(オプション)トレース レベルを指定します。既知のトレース レベルは、0(オフ、デフォルト)、1(低)、5(中)、および 10(詳細)です。大量に出力が行われることがあるため、必要な場合にのみこの設定を使用することをお勧めします。

-tf filename

(オプション)変換ルールを使用して GRLoader を実行します。filename は、変換ルール セットを含むファイルの名前です。

-slump

(オプション)slump.jar ファイルを指定します。このパラメータを使用すると、パフォーマンスを Web サービスよりも向上させることができます。**重要:** -slump のみを -s パラメータと組み合わせて使用すると、プライマリ サーバをターゲットにすることができます。

注: 他の CA 製品 (CA Cohesion ACM など) がインストールされているか、または CA CMDB サービス パックがインストールされている場合は、slump.jar ファイルが、ターゲットの CA CMDB システムにインストールされている slump.jar ファイルと同じであることを確認してください。

-C

(オプション)XML 入力ファイルの検証のみを行い、その他の処理は行いません。フィールドの値は検証されません。XML タグのみ検証されます。

-h(または -?)

(オプション)オンライン ヘルプを表示します。

-v

(オプション)GRLoader の製品バージョンおよびビルド日付を表示します。

-maxerror number

(オプション)いくつかのエラーが発生するとその後の CI や関係をスキップするかを示す、エラーの最大数を指定します。

-maxwarn number

(オプション)いくつかの警告が発生するとその後の CI や関係をスキップするかを示す、警告の最大数を指定します。

-chg nnnn

-lftwa および -lftwar と組み合わせて使用します。ロードでは、変更要求 nnnn に関連付けられているトランザクションのみが選択されます。

注: CMDB へのロード時に、変更要求の文字列は検証されません。

-cfg myconfigfile.cfg

(オプション)入力構成ファイルの名前を指定します。

-dt tenant

(オプション)CI関係のテナント割り当てを指定します。このパラメータを使用する場合は、マルチテナンシーが有効である必要があります。PUBLIC を使用して、オブジェクトがパブリックであることを示すことができます。ユーザのテナント アクセスにパブリック オブジェクトを作成するための権限がない場合、オブジェクトはデフォルトのテナントを使用して作成されます。

注: テナント アクセスの詳細については、「管理ガイド」を参照してください。

例: CI および関係のデータのロード

以下の例では、ファイル hardware_servers.xml (現在のディレクトリ内)に含まれている CI および関係のデータを、ローカル コンピュータのポート 8080 にあるサーバ上の CMDB にロードします。

```
grloader -u CMDDBAdmin -p password -s http://localhost:8080 -i hardware_servers.xml  
-n
```

XML 入力

CI データのソースがデータベースまたは XML ドキュメントにある場合、ADT を使用して ODBC データベース内のカラムを XML にマップします。次に、これを GRLoader によって処理することができます。他のソースから XML データを作成する場合 (ADT を経由せずに)、CI および関係のデータの作成のためのテンプレートとして使用できる一連のサンプル XML エントリを用意すると便利です。

以下のディレクトリには、XML タグのみを含み、データを含まない一連の XML ファイルが含まれています。これを使用してユーザ自身の入力データを作成できます。

```
nx_root\cmdb\data\federationAdapters\templates\
```

ここで nxroot のデフォルト値は、標準インストールの場合は c:\program files\ca\CA CMDB、統合インストールの場合は c:\program files\ca\servicedesk です。

XML ドキュメントが ADT によって作成されたかどうかにかかわらず、以下の注釈付きの例に従ってフォーマットされる必要があります。

XML ドキュメント	注意事項
<pre><?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="yes" ?> <GRLoader></pre>	これらのヘッダは、必須です。
<pre><ci></pre>	ゼロまたは複数の <ci> ノードを追加して CI を定義します。
<pre><name>value</name> <mac_address>value</mac_address> <dns_name>value</dns_name> <asset_num>value</asset_num> <serial_number>value</serial_number> <system_name>value</system_name></pre>	これらの 6 つの特性は、CI 内の CI または関連定義を一意に識別します。少なくとも 1 つ指定する必要があります。
<pre><class>value</class> <family>value</family> <manufacturer>value</manufacturer> <model>value</model></pre>	これらの 4 つの値は、CI のクラスおよびファミリーを決定します。(クラス)または(製造者/モデル)を指定する必要があります。
<pre><mem_capacity>value</mem_capacity> <number_net_card>value </number_net_card> <phys_mem>value</phys_mem_update> <proc_speed>value</proc_speed> <proc_type>value</proc_type> <server_type>value</server_type> </ci></pre>	ファミリー固有の値 有効なノード名の説明については、ADT テンプレートを参照してください。CI を定義するとき、ゼロまたは複数のファミリー固有の値を設定できます。
<pre><relation> <type>relation_type</type></pre>	ゼロまたは複数の <relation> ノードを追加して関係を定義します。関係タイプを指定します。
<pre><provider> <name>value</name> <mac_address>value</mac_address> <dns_name>value</dns_name> <asset_num>value</asset_num> <serial_number>value</serial_number> </provider></pre>	少なくとも 1 つの属性でプロバイダ CI を識別します。
<pre><dependent> <name>value</name> <mac_address>value</mac_address> <dns_name>value</dns_name> <asset_num>value</asset_num> <serial_number>value</serial_number> </dependent> </relation></pre>	少なくとも 1 つの属性で従属 CI を識別します。
<pre></GRLoader></pre>	

例: XML 入力

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="yes" ?>
<GRLoader>
  <ci>
    <name>Host1</name>
    <class>Server</class>
  </ci>
  <ci>
    <name>Host2</name>
    <class>Server</class>
  </ci>
  <relation>
    <type>connects to</type>
    <provider>
      <name>host1</name>
    </provider>
    <dependent>
      <name>host2</name>
    </dependent>
  </relation>
</GRLoader>
```

MAC アドレスの正規化

以前のリリースの GRLoader では、CI の MAC アドレスは、MAC アドレスの区切り文字「:」および「-」を削除することによって正規化されていました。このため、aa:bb:cc:dd:ee という MAC アドレスは、CA CMDB には aabbccddeee と保存されていました。

MAC アドレスについての以下の動作を考慮してください。

- デフォルトでは、MAC アドレスは正規化されません。
- CA CMDB で正規化なしで作成された CI は、CA CMDB r11.x で正規化なしで作成された CI と一致します。
- 無効な MAC アドレスは、単なる文字列として扱われ、変更されずにそのまま保存されます。

以下の GRLoader パラメータを使用して、MAC アドレスの正規化を有効または無効にできます。

-mn

MAC アドレスから区切り文字「:」および「-」を削除します (MAC アドレスの正規化)。

-nomn

MAC アドレスから区切り文字「:」および「-」を削除しません。

重要: 以前のバージョンの **CA CMDB** がインストールされている場合は、**MAC** アドレスの正規化が自動的に有効になります。 **-nomn** パラメータを使用すると、この設定を上書きして正規化を無効にできます。

コマンド ラインではオプションが順番に処理されるため、構文内のオプションの順序が重要になります。

エラー処理

GRLoader プロセスでエラーが発見された場合、失敗した **CI** または関連ノードがエラー ファイルに書き込まれます。 **XML** ファイルを編集して問題を解決し、編集したファイルに対して **GRLoader** を実行することをお勧めします。

-e パラメータは、エラー ファイルに対する命名を許可します。 **-maxerror** パラメータおよび **-maxwarn** パラメータには、エラーまたは警告がそれぞれ最大何回発生するとその後の **CI** や関係をスキップするかを示す数を指定できます。

GRLoader 構成ファイル

構成ファイルに **GRLoader** オプションを指定することができます。この方法には、以下の利点があります。

- パスワードをコマンド ラインで入力する必要がありません。
- コマンド プロンプト ウィンドウ (Windows) や、**ps** コマンド (UNIX) の結果にパスワードが表示されません。
- 標準化されたコマンドはエラーを減らします。

構成ファイル パラメータの形式を以下に示します。

-cfg myconfigfile.cfg

入力構成ファイルの名前を指定します。 **-cfg** パラメータは、**GRLoader** パラメータ文字列の任意の場所に指定できます。

コマンド ラインの指定と構成ファイルの指定が競合する場合には、最後に入力された値が使用されます。

例：構成ファイルの指定

構成ファイル コマンドは以下の構文と共に使用されます：

```
GRLoader -cfg myconfigfile.cfg -i myinputfile.xml
```

このコマンド構文は、以下のようなより複雑なコマンドを指定する代わりとして使用できません。

```
GRLoader -u servicedesk -p password -i myinputfile.xml -a -n -E -maxerror 10 -maxwarn 10 -dt IBM -nomn
```

例：最後のパスワードの値の使用

構成ファイル `GRLoader.cfg` で、以下のパスワードが指定されています。

```
GRLoader.password=password1
GRLoader.password=password2
```

コマンド ラインでは、以下のパスワードが指定されています。

```
GRLoader -p password3 -cfg GRLoader.cfg
```

この場合は、パスワードとして `password2` が使用されます。

コマンドラインを以下のように変更します。

```
GRLoader -cfg GRLoader.cfg -p password3
```

最後に指定されたパスワードが使用されるため、この場合はパスワードとして `password3` が使用されます。

構成ファイルのオプション

以下の表に、構成ファイルで使用可能な `GRLoader` オプション、および対応するコマンド ライン オプションを示します。

ブール値

1/0、YES/NO、または TRUE/FALSE のいずれかのペアの値を指定します。

GRLoader オプション	コマンド ライン オプション
<code>grloader.userid=userid</code>	<code>-u</code>
<code>grloader.password=password</code>	<code>-p</code>
<code>grloader.server=server</code>	<code>-s</code>
<code>grloader.inputfile=name</code>	<code>-i</code>

GRLoader オプション	コマンドライン オプション
grloader.errorfile=name	-e
grloader.nxroot=name	-N
grloader.casesensitive=ブール値	-I
grloader.loadfromtwa=yes	-lftwa [-chg nnnn]
grloader.loadfromtwa.inactivatesuccessful=yes	-lftwai [-chg nnnn]
grloader.loadtotwa=yes	-lftwa
grloader.loadtotwa.ready=yes	-lftwar
grloader.simulateloadci= ブール値	-simci
grloader.simulateloadrelation= ブール値	-simrel
grloader.emptyvalue=EMPTY	
grloader.workarea.delimiters={ }	
grloader.workarea.ignore_transaction_dates=yes	
grloader.normalizemac=ブール値	-nm/nonm
grloader.maxerror=number	-maxerror
grloader.maxwarn=number	-maxwarn
grloader.defaulttenant= tenant PUBLIC	-dt tenant PUBLIC
	注：これらのオプションを使用する場合は、マルチテナンシー オプションが[オン]または[セットアップ]に設定されている必要があります。
grloader.allowupdate=ブール値	-a
grloader.allowinsert=ブール値	-n
grloader.overrideerrorxml=ブール値	-E
grloader.slump= ブール値	-slump (プライマリ サーバのみ)
grloader.preload=ブール値	-P
grloader.replacesymbols=ブール値	-rs
grloader.translationfile=filename	-tf
grloader.tracelevel=number	-T
grloader.spinner=ブール値	-spinner/-no (-nospinner と同じ)
grloader.cmdbversion=11.0	(対応するオプションなし)*

*CA CMDB r11.0 でのみ必要です。 GRLoader は、これ以降のすべてのリリースと互換性があります。

GRLoader XML

GRLoader には XML ドキュメント入力が必要です。これにはドキュメント ヘッダの後に 1 つまたは複数の <ci> タグ(CI 定義用)または <relation> タグ(関係用)で囲まれた <GRLoader> XML 要素タグが続きます。

以下のように XML ドキュメント ヘッダを指定します：

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="yes" ?>
```

必要に応じてエンコード属性を更新し、適切な文字エンコード要求を処理します。たとえば、「ISO-8859-1」を指定して特殊なノルウェー語を処理します。

例：GRLoader XML ファイルのフォーマット

以下のテンプレートでは GRLoader XML ファイルの形式を示します。

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="yes" ?>
<GRLoader>
```

```
<ci>
```

[CI を定義します： 共通属性およびファミリ固有属性、バージョン指定、調整、MDR]

```
</ci>
```

[各 CI に必要に応じて繰り返します]

```
<relation>
```

```
  <type>relationship_type</type>
```

```
  <delete_flag>active_state</delete_flag>
```

```
  <provider>
```

```
    <name>resource name</name>
```

```
    <serial_number>serial number</serial_number>
```

```
    <system_name>host name</system_name>
```

```
    <asset_num>resource tag</asset_num>
```

```
    <mac_address>mac address</mac_address>
```

```
    <dns_name>dns name</dns_name>
```

```
    <id>ci_uuid</id>
```

```
  </provider>
```

```
</dependent>
```

```
<name>resource name</name>
<serial_number>serial number</serial_number>
<system_name>host name</system_name>
<asset_num>resource tag</asset_num>
<mac_address>mac address</mac_address>
<dns_name>dns name</dns_name>
<id>ci_uuid</id>
</dependent>
</relation>
[各関係に必要な応じて繰り返します]
</GRLoader>
```

XML コンテンツ: CI タグ

GRLoader は CI XML 定義を使用して CI の属性値および関係をロードします。CI 定義には <ci> XML 要素タグを使用して作成または更新される必要な最低限の属性セットを含める必要があります。

以下の属性の値を指定して、CI の XML を定義します。

- クラス識別 (必須)
- 調整属性 (必須)
- 共通属性
- ファミリー固有の属性
- MDR 識別属性
- バージョン指定属性

CI タグ: ファミリーおよびクラス識別

クラス識別は、適切なファミリーおよびクラスを CI に関連付けるために、各 CI に指定する必要があります。

以下の XML タグを使用してファミリー属性およびクラス属性を指定します。

<family>

(オプション) 同じ属性を持つ CI の集合体を指定します。

<class>

(必須) ファミリー内の CI のサブセットを指定します。

注: GRLoader によってファミリーまたはクラスを検出できない場合は、CI は作成も更新もされません。

例：ファミリーおよびクラスによる CI の特定

以下に、ファミリー `Hardware.Server` およびクラス `Windows` で識別される `ServerCI` という名前の CI の例を示します。

```
<ci>
  <name>ServerCI</name>
  <family>Hardware.Server</family>
  <class>Windows</class>
  ...
</ci>
```

CI タグ：調整属性(必須)

CI を作成、更新、または参照する場合は 1 つまたは複数の調整属性が必要です。GRLoader はこれらの属性を使用して作成または更新する CI を一意に識別します。調整属性は、2 つの CI 間でプロバイダ/従属関係を識別する場合にも使用されます。

以下の XML 要素タグを使用して調整属性を指定します。

- `<name>` - CI またはリソースの名前(最初に CI を作成するときに必要)
- `<serial_number>` - 製造者固有の ID
- `<asset_num>` - 代替リソース ID(例: コンピュータ上のシールに記載されている ID)
- `<system_name>` - コンピュータ名(ハードウェアの場合のみ)
- `<dns_name>` - ドメイン ネーム サーバでこのデバイスを識別する名前
- `<mac_address>` - MAC アドレス (ハードウェアの場合のみ)
- `<id>` - CI の UUID(ID が明らかである場合の直接更新に使用)

名前属性は、CI を最初に作成するときに必要です。GRLoader が指定された調整属性を解決できない場合は、既存の CI は更新されません。調整属性は、識別目的に使用される特殊用途の共通属性です。

例：作成時または更新時の CI の識別

以下の例では、CI 定義は `name`、`serial_number`、`dns_name`、`mac_address` および `system_name` を使用して、CI を作成または更新する場合に一意に識別します。

```
<ci>
  <name>ServerCI</name>
  <serial_number>HMVV081</serial_number>
  <dns_name>serverci.myco.com</dns_name>
  <mac_address>00:12:3F:48:F0:95</mac_address>
  <system_name>ServerCI</system_name>
  ...
</ci>
```

関連項目：

[CI 調整属性 \(165 ページ\)](#)

CI タグ：共通属性

一般的に、共通属性はすべての CA CMDB ファミリまたはクラスで使用できる属性です。属性に使用される XML 要素タグは属性オブジェクト名と同じです。属性値はタイプによって異なります。これは、別のテーブルを参照する外部キーを示す定数または SREL 値にすることができます。

例：共通属性の指定

以下の例では、`ServerCI` という名前の CI 定義は、`manufacturer`、`model`、および `alarm_id` (IP Address) という共通属性を指定します。`ServerCI` という名前も共通属性です。

```
<ci>
  <name>ServerCI</name>
  ...
  <manufacturer>Dell Inc.</manufacturer>
  <model>OptiPlex GX280</model>
  <alarm_id>130.200.19.220</alarm_id>
  ...
</ci>
```

関連項目：

[共通属性 \(11 ページ\)](#)

[連絡先およびその他のルックアップ フィールド \(144 ページ\)](#)

[既存のテーブルのデータに対して検証されたフィールド \(SREL\) \(145 ページ\)](#)

CI タグ: ファミリ固有属性

クラス属性は特定の CI ファミリまたはクラスに固有です。クラス属性に使用される XML 要素タグは、ファミリ/クラス固有のテーブルで検出された属性オブジェクト名と同じです。

例: ファミリ固有属性の指定

以下の例では、ServerCI という名前の CI 定義で、bios_ver、cd_rom_type、hard_drive_capacity などが含まれた Hardware.Server ファミリに固有の属性が指定されています。

```
<ci>
  <name>ServerCI</name>
  ...
  <bios_ver>A04</bios_ver>
  <cd_rom_type>DVD+RW DVD8701</cd_rom_type>
  <hard_drive_capacity>90 MB</hard_drive_capacity>
  <number_net_card>3</number_net_card>
  <number_proc_inst>1</number_proc_inst>
  <phys_mem>2048 MB</phys_mem>
  <proc_speed>2793 MHz</proc_speed>
  <swap_size>4959 MB</swap_size>
  ...
</ci>
```

CI タグ: MDR 識別

管理データ リポジトリ(MDR)は、CI のデータ プロバイダおよび対応する MDR にマッピングで戻される方法を識別します。

CA CMDB では、以下の場合に MDR 情報が使用されます。

- CI ログから直接 MDR データ プロバイダにコンテキスト起動する。
- ソース MDR までさかのぼって CI 属性変更を追跡する。
- CI 属性が複数の MDR で更新されたときを検出する。この状況は、複数の MDR が CI 定義にデータを個別に提供した場合に発生します。
- 信頼できるソースとして動作している MDR を特定します。

注: MDR の詳細については、「実装ガイド」および「管理ガイド」を参照してください。

MDR 属性を指定するには、以下の XML 要素タグを使用します。

```
<mdr_class>
```

CA CMDB によって同様に処理される MDR をグループ化するための MDR クラスを指定します。

<mdr_name>

MDR が自分自身を参照する場合に使用する MDR 名を指定します。
mdr_name と mdr_class の値の組み合わせが社内で一意であることを確認します。

<federated_asset_id>

CI に対する MDR の固有の ID である統一アセット ID を指定します。

GRLoader が、指定された mdr_class および mdr_name を既存の MDR に解決できない場合は、CI はインポートされません。関連付けられた federated_asset_id マッピングのない CI は、統一されていません。

注： GRLoader を使用した統一の詳細については、「実装ガイド」を参照してください。

例：MDR 内の CI の識別

以下の例では、ServerCI という名前の CI 定義で mdr_class および mdr_name が指定されており、MDR および統一アセット ID が一意に識別されます。したがって、MDR 内で CI を識別できます。

注： mdr_class 文字列の値「Cohesion」は、CA Cohesion ACM 製品からのデータを統一するときに使用されます。

```
<ci>
  <name>ServerCI</name>
  ...
  <federated_asset_id>1001118</federated_asset_id>
  <mdr_class>Cohesion</mdr_class>
  <mdr_name>CohesionServer</mdr_name>
  ...
</ci>
```

CI タグ：バージョン指定属性

GRLoader を使用して、CI のバージョン指定属性を設定できます。

注： バージョン指定の詳細については、「管理ガイド」を参照してください。

以下の XML 要素タグを使用してバージョン指定属性を指定します。

<milestone>

CMDB の[バージョン指定]タブに表示されるマイルストーンに関連付けられたラベルを指定します。

<standard_ci>

CMDB の[バージョン指定]タブでベースラインの比較に使用する標準 CI の名前を指定します。

standard_ci 属性に指定された CI が、CMDB にすでに存在しているか、または XML ファイルの CI 定義が指定される前に指定されている必要があります。生成されたマイルストーンには、GRLoader が実行された時点の CI の状態が記録されます。

例：ベースライン比較の指定

以下の例では、ServerCI という名前の CI 定義で、ServerCI(フォーカス CI)とベースラインの比較用の standard server config という名前の標準 CI が指定されています。この例では、標準 CI がすでに CA CMDB に存在していると仮定します。これに加えて、GRLoader を使用して XML ファイルがインポートされたときの CI の状態を保存するために、Fiscal year end 2008 という名前のマイルストーンも作成されます。

```
<ci>
  <name>ServerCI</name>
  <class>Server</class>
  <standard_ci>standard server config</standard_ci>
  <milestone>Fiscal year end 2008</milestone>
  ...
</ci>
```

XML コンテンツ：関係タグ

GRLoader は、<relation> XML 要素タグを使用することによって、構成アイテムとの関係を作成または更新することができます。関係は多対多で、関係タイプは 2 つのプロバイダ/従属構成アイテムが CA CMDB で相互に関係する方法を指定します。

以下の XML 要素タグを使用して関係属性を指定します。

<type>

(オプション)関係タイプの名前を指定します。

<delete_flag>

関係を非アクティブまたはアクティブとして指定します。関係を非アクティブにするには、1 (one)、はい、または true を指定します。関係を再度アクティブにするには、0 (ゼロ)、いいえ、または false を指定します。delete_flag を true に設定すると、既存の関係はそのまま残りますが、非アクティブとしてマークが付けられます。

注： GRLoader を使用して関係を削除する方法の詳細については、「管理ガイド」を参照してください。

<provider>

(必須) 関係のプロバイダ CI を指定します。これには、1 つ以上の CI 調整属性が含まれています。

<dependent>

(必須) 関係の従属 CI を指定します。これには、1 つ以上の CI 調整属性が含まれています。

注： 指定されたタイプ、プロバイダ CI、または従属 CI が GRLoader によって検出できない場合、関係は作成も更新もされません。

例：CI 間の関係の定義

以下の例では、ServerCI (プロバイダ) という名前の CI と ServerCI|NetworkAdaptor-0 (従属) という名前の CI の関係を定義します。関係タイプは contains です。この例では、両方の CI はすでに CA CMDB で定義されているか、または XML ファイルで関係が定義される前に指定されていると仮定します。さらに、関係を作成するには、プロバイダ CI と従属 CI の両方がすべての調整属性に一致する必要があります。

```
<relation>
  <type>contains</type>

  <provider>
    <name>ServerCI</name>
    <serial_number>HMVV081</serial_number>
    <dns_name>serverci.myco.com</dns_name>
    <mac_address>00:12:3F:48:F0:95</mac_address>
    <system_name>ServerCi</system_name>
  </provider>
  <dependent>
    <name>ServerCI|NetworkAdaptor-0</name>
  </dependent>
</relation>
```

関連項目：

[関係タイプ](#) (15 ページ)

[CI 調整属性](#) (165 ページ)

XML コンテンツ: 特殊な値

特殊用途の XML 属性を使用すると、GRLoader によってインポートされたときに CI 値が設定または更新される方法を変更できます。これらの属性は、値を設定するとき、日付の値をフォーマットしたり、ルックアップの結果を使用したりするなどの特別な処理またはフォーマットを実行する場合に使用できます。

特殊な XML 値の例を以下に示します。

lookup

combo_name(姓、名、ミドル ネーム)以外の属性によって CI を指定します。たとえば userid で指定します。

update_if_null

GRLoader で空の値と XML で指定されていない値とを区別するために、update_if_null オプションを指定します。初期設定では、update_if_null は "" に設定されています。これは、空白または指定されていない値は GRLoader によって無視されることを意味します。

以下のシリアル番号の属性の説明は同等です。

```
<serial_number></serial_number>
<serial_number/>
<serial_number update_if_null="">
```

シリアル番号を持つ CI からシリアル番号を削除する場合、上記の XML を使用しても機能しません。これは、GRLoader では空または指定されていない値が無視されるためです。代わりに、以下のようにシリアル番号の xml をコード化します。

```
<serial_number update_if_null="true"></serial_number>
```

この構文では、値が空または設定されていない場合でも常に属性が更新されます。

dateformat=[utc | localtime]

日付フィールドの属性 dateformat を「UTC」または「現地時間」のいずれかに設定します。日付の形式が UNIX Time Code (UTC)形式の場合に必要です。

dateformat が設定されていない場合、初期設定は「現地時間」です。

日付形式

CA CMDB では、以下の現地時間の日付形式がサポートされています。

- yyyy.mm.dd
- yyyy.mm.dd hh:mm:ss

値がこれらのフォーマットのいずれにも一致しない場合は、パーサは UTC 時間として解決するように試みます。日付表示形式が UTC でない場合、CA CMDB はシステム ロケール設定を使用します。米国の英語の場合は、「mm/dd/yyyy」の 12 時間形式、あるいは「mm/dd/yyyy hh: mm: ss a」(a は AM か PM のいずれかを指定します)。

連絡先およびその他のルックアップ フィールド

連絡先オブジェクトは、名、ミドルネームのイニシャル、姓の組み合わせです。オブジェクトの形式を以下に示します。

```
<resource_contact>姓、名、ミドルネームのイニシャル</resource_contact>
```

ルックアップ フィールドに異なるフィールドを使用する場合は、lookup 属性を指定することができます。たとえば、「John Q. Doe」を userid で検索する場合は、以下のエントリを使用します。

```
<resource_contact lookup="userid">doejo04</resource_contact>
```

既存のテーブルのデータに対して検証されたフィールド(SREL)

共通属性は、CA CMDB の関連するテーブルに定義されている特定の値のセットのみを受け入れます。これらの属性には、割り当てが実施されるために満たす必要のある追加の制限事項や例外がある場合があります。たとえば、XML で指定されたクラス属性は、(CA CMDB のデフォルトまたはユーザ定義の) 既存のクラス名のいずれか 1 つに一致する必要があります。一致しない場合、CI は作成または更新されません。さらに、値は NULL に設定することができません。また、割り当てが実施されるためにはクラスをアクティブにする必要があります。

以下のフィールドでは、データを既存のテーブルのデータに対して検証します。

audit_userid

bm_rep

bm_status

class

company_bought_for_uid

contact_1

contact_2

contact_3

delete_flag

department

expense_code

family

ロケーション

製造者

モデル

operating_system

org_bought_for_uuid

優先度

repair_org

resource_contact

resource_owner_uuid

service_org

service_type

status

supplier

vendor_repair

vendor_restore

関連項目 :

[共通属性](#) (11 ページ)

データ変換

MDR によって提供されるデータの値は、以下の理由から CA CMDB の要件を満たしていない可能性があります。

- MDR の国または言語が、CA CMDB サーバ インストールで選択された国または言語と異なる可能性があります。たとえば、アメリカ英語を使用する CA Cohesion MDR からフランスの CMDB にデータが転送された場合などです。この場合、CA Cohesion でサーバ CI が作成されるときに、CI ファミリが「Server」と指定されます。しかしフランスでは、CI ファミリは「Serveur」と指定される必要があります。アメリカの MDR からフランスの CA CMDB への通信を行う場合は、常に、受信した「Server」という値を「Serveur」という値に変換する必要があります。

- ルックアップ (SREL) フィールドでデータの不整合が発生する可能性があります。たとえば、MDR に、製造者として「Dell Inc」、「Dell Corporation」、または単に「Dell」と指定された CI が含まれているとします。CA CMDB 製造者テーブルで「Dell Inc」を要求すると、他の値は警告メッセージが表示されて拒否されます。受信した無効な「Dell Corporation」および「Dell」という値は、製造者属性の標準である「Dell Inc」という値に変換される必要があります。
- 非 SREL フィールドでデータの不整合が発生する可能性があります。たとえば、一部の MDR ではデータがユニット単位で報告され、他の MDR ではデータがバイト単位またはギガバイト単位で報告される可能性があります。このような場合に、CMDB に保存されるデータの形式を標準化することができます。

これらの要件を満たすために、GRLoader では、GRLoader の実行時に XML ベースのルックアップ ファイルを使用することによって、受信した任意の値を他の値に変換できます。

重要: CI および関係の XML が読み取られると、通常の GRLoader 処理の開始前 (update_if_null, lookup, dateformat など)、かつデータが CA CMDB サーバに送信される前に、編集前の変換および検証ステップが実行されます。

各 MDR にはそれぞれ固有の変換要件がある可能性があるため、GRLoader の各呼び出しに対してデータ変換ファイルが指定されます。標準化のために、共通ファイルシステムにこのファイルを配置して、CA CMDB データ プロバイダ間で共有することをお勧めします。

変換ルールの作成

GRLoader データ変換および検証機能を使用するには、変換対象のデータを指定する一連のルールを作成します。変換対象の各属性および値に対してルールが必要です。データ変換ルールは、`-tf filename` パラメータを使用して、GRLoader 入力 XML に適用されます。filename 内のルールは、`-i` パラメータを使用して、GRLoader に送信されたすべての入りに適用されます。

変換ルールを作成するには、テキスト エディタを使用して、以下のように GRLoader 入力 XML にルールを作成および保存します。

```
1. <ruleset>
2.   <rule>
3.     <attribute>class</attribute>
4.     <from>Server</from>
5.     <to>Serveur</to>
6.   </rule>
7.   <rule>
8.     <attribute>manufacturer</attribute>
9.     <from>Dell Corporation</from>
10.    <to>Dell Inc</to>
11.  </rule>
12.  <rule>
13.    <attribute>manufacturer</attribute>
14.    <from>Dell</from>
15.    <to>Dell Inc</to>
16.  </rule>
17. </ruleset>
```

変換ルールが作成されます。

注

2 行目から 6 行目では、GRLoader で `<class>Server</class>` という行が検出された場合には、データを CA CMDB に送信する前に必ず `Server` を `Serveur` (フランス語) に置き換えるように指定されています。

7 行目から 11 行目では、`Dell Corporation` という製造者を `Dell Inc` に置き換えるように指定されています。XML ルールの単一のセットを使用して複数の異なる属性を再定義できます。

12 行目から 16 行目では、すべての `Dell` と指定された入力を標準の `Dell Inc` に置き換えています。XML ルールの単一のセット内に、複数のルールが含まれています。これらのルールによって、複数の変換前/変換後の値が指定されています。

データ変換の例

この例では、異なる言語を使用する MDR 間でデータを共有するために必要なルールのサブセットのサンプルを示します。GRLoader 入力 XML の例では、3 つのクラスが英語から対応するフランス語に変換されます。

```
1. <?XML version="1.0" encoding="UTF-8"?>
2. <ruleset>
3.   <rule>
4.     <attribute>class</attribute>
5.     <from>Server</from>
6.     <to>Serveur</to>
7.   </rule>
8.   <rule>
9.     <attribute>class</attribute>
10.    <from>Printer</from>
11.    <to>Imprimante</to>
12.  </rule>
13.  <rule>
14.    <attribute>class</attribute>
15.    <from>Contract</from>
16.    <to>Contrat</to>
17.  </rule>
18. </ruleset>
```

データ検証

多くの場合、CI が保存される前に、属性に受け入れる値を許容可能な値のリストに照らして検証する必要があります。属性と許容可能な値のセット(別のテーブルに保存されます)との関係は、SREL(Single Relationship、単一関連付け)と呼ばれます。

SREL が作成されていない場合にデータを検証する必要がある場合は、データ変換ルールを使用して、データの値を強制的に標準化することができます。

例: データ保存の単位の変換

以下の GRLoader 入力 XML では、MDR のデータは GB (ギガバイト) 単位で指定されていますが、CMDB には合計バイト数を保存します。

```
1. <ruleset>
2.   <rule>
3.     <attribute>phys_mem</attribute>
4.     <from>1 GB</from>
5.     <to>1,073,741,824</to>
6.   </rule>
7.   <rule>
8.     <attribute>phys_mem</attribute>
9.     <from>2 GB</from>
10.    <to>2,147,483,648</to>
11.  </rule>
12. ...
13. </ruleset>
```

一致しない入力値または非標準の入力値

データの検証時に、許容できない値を拒否して、新しい値に置き換えることができます。入力データがルールに一致しない場合は、値が変更されないまま次の GRLoader フェーズに進みます。

例: 主な色の検証

以下の例では、GRLoader の入力に `<color>hot pink</color>` が指定された場合、色データは変換されません。

```
1. <ruleset>
2.   <rule>
3.     <attribute>color</attribute>
4.     <from>red</from>
5.     <to>red</to>
6.   </rule>
7.   <rule>
8.     <attribute>color</attribute>
9.     <from>blue</from>
10.    <to>blue</to>
11.  </rule>
12.  <rule>
13.    <attribute>color</attribute>
14.    <from>yellow</from>
15.    <to>yellow</to>
16.  </rule>
17. </ruleset>
```

前の例では、「from」および「to」は同じ値でした。以下の例では、「to」の値を含まない、省略形のルール定義を示します。

1. <ruleset>
2. <rule>
3. <attribute>color</attribute>
4. <from>red</from>
5. </rule>
6. <rule>
7. <attribute>color</attribute>
8. <from>blue</from>
9. </rule>
10. <rule>
11. <attribute>color</attribute>
12. <from>yellow</from>
13. </rule>
14. </ruleset>

省略形のルール定義を使用すると、16 行目の機能がよりわかりやすくなります。16 行目では、属性の「from」値に一致する値がない場合には、指定されている値にかかわらず「to」の値に置き換えられます。

```
1. <ruleset>
2.   <rule>
3.     <attribute>color</attribute>
4.     <from>red</from>
5.   </rule>
6.   <rule>
7.     <attribute>color</attribute>
8.     <from>blue</from>
9.   </rule>
10.  <rule>
11.   <attribute>color</attribute>
12.   <from>yellow</from>
13. </rule>
14. <rule>
15.   <attribute>color</attribute>
16.   <to>unknown color</to>
17.   <unmatched>yes</unmatched>
18. </rule>
19. </ruleset>
```

GRLoader の入力に、「hot pink」(16 行目の「unmatched」ルール)に一致するルールが含まれています。色に red、blue、または yellow(それぞれ 4、8、12 行目)以外の属性が指定されている場合、色は「to」値に変更されます。たとえば、<color>hot pink</color> は <color>unknown color</color> に変換されます。

ルール セットに 14 行目から 18 行目のみが含まれている場合(つまり色が一致することがない場合)、GRLoader 入力 XML ファイル内のすべての色は「unknown color」に設定されます。この方法を使用すると、特定の属性のすべての値が単一の値に変換されます。

重要: 編集プロセスでは、対応する情報がない場合に新しい XML を作成することはできません。たとえば、入力 XML に <widgets> についての情報が含まれていない場合は、<widgets> についてのすべてのルールが無視されます。

例: すべての一致しない「owner」属性を「Pete」に変更

以下の GRLoader 入力 XML では、一致しない「owner」の値が「Pete」に設定されます。

```
1. <ruleset>
2.   <rule>
3.     <attribute>owner</attribute>
4.     <unmatched>yes</unmatched>
5.     <to>Pete</to>
6.   </rule>
7. </ruleset>
```

以下の GRLoader 入力 XML では、上記のルール セットはどのように使用されるでしょうか。

```
1. <GRLoader>
2. <ci>
3.   <name>server1</name>
4.   <owner>John</owner>
5. </ci>
6. </GRLoader>
```

属性「owner」にルールがある場合は、値「John」に一致するルールがあるかどうか調べられます。値「John」のルールは存在しないため、GRLoader では、属性「owner」の一致しない場合のルールが検索されます。一致しない場合のルールが存在するため、変換された入力は以下のようになります。

```
1. <GRLoader>
2. <ci>
3.   <name>server1</name>
4.   <owner>Pete</owner>
5. </ci>
6. </GRLoader>
```

次に、以下の GRLoader 入力 XML ファイルについて考えてみてください。

1. <GRLoader>
2. <ci>
3. <name>server2</name>
4. </ci>
5. </GRLoader>

このルール セットが適用された結果は以下のようになります。

1. <GRLoader>
2. <ci>
3. <name>server2</name>
4. </ci>
5. </GRLoader>

元の XML には owner タグが存在しないため、CI「server2」の owner は Pete には設定されません。

空文字列の指定

「from」または「to」の値として空の文字列を指定する必要がある場合には、必ずルールセットに <from> または <to> の値を含めます。

重要: XML で <to></to> を指定する場合と <to> を指定しない場合では、意味がまったく異なります。

1. <ruleset>
2. <rule>
3. <attribute>size</attribute>
4. <from>XXL</from>
5. </rule>
6. <rule>
7. <attribute>manufacturer</attribute>
8. <from>General Motors</from>
9. <to></to>
10. </rule>
11. </ruleset>

2 行目から 5 行目には、サイズ **XXL** が設定可能であることが指定されています。<to> が指定されていないため、size=XXL は変換されません。この種類のルールは、同じ属性に対してルール セット内で一致しない場合のルールが指定されている場合のみ役立ちます。

6 行目から 10 行目では、manufacturer="General Motors" のすべての入力データが調べられます。このルールに一致するデータが検出されると、9 行目で「<to></to>」が指定されているため、「General Motors」という値は「」(空文字列)に置き換えられます。

製造者の属性を削除する場合は、GRLoader 入力 XML に update_if_null="YES" キーワードを指定します。

注: 「update_if_null」オプションを使用してデータベース内の値を削除する方法の詳細については、CA CMDB の「テクニカル リファレンス ガイド」を参照してください。

他の比較方法

デフォルトの比較方法では「equals」が使用されます。つまり、<from> の値が GRLoader の入力の値と比較される場合、これらの値が等しい場合に一致したと見なされます。<comparetype> タグには、他の比較形式を指定できます。

comparetype タグは、以下のいずれかの値を受け入れます。

- startswith (前方一致)
- endswith (後方一致)
- contains (含む)
- 等しい
- equalsignorecase (大文字小文字を無視して一致)

例: 会社名の標準化

以下の例では、「Dell」で始まるすべての製造者名（「Dell Corp」、「Dell Inc」、「Dell Corporation」など）が「Dell」に変換されます。

```
1. <ruleset>
2.   <rule>
3.     <attribute>manufacturer</attribute>
4.     <from>Dell Corp</from>
5.     <to>Dell</to>
6.   </rule>
7.   <rule>
8.     <attribute>manufacturer</attribute>
9.     <from>Dell Inc</from>
10.    <to>Dell</to>
11.  </rule>
12.  <rule>
13.    <attribute>manufacturer</attribute>
14.    <from>Dell Corporation</from>
15.    <to>Dell</to>
16.  </rule>
17. </ruleset>
```

または、以下のルールでも同じ結果になります。

1. <ruleset>
2. <rule>
3. <attribute>manufacturer</attribute>
4. <from>Dell</from>
5. <comparetype>startswith</comparetype>
6. <to>Dell</to>
7. </rule>
8. </ruleset>

入力拒否

CMDB にデータをロードする前に MDR からの入力を拒否するには、<reject> タグを使用します。

例:入力データの拒否

<reject> タグは、以下の例のように <comparetype> タグと共に使用することができます。

1. <ruleset>
2. <rule>
3. <attribute>name</attribute>
4. <from>test</from>
5. <comparetype>startswith</comparetype>
6. <reject>yes</reject>
7. </rule>
8. </ruleset>

拒否ルールに一致した場合は、対応する CI または関係は拒否されて、そのオブジェクト全体が CMDB において更新または作成されません。トランザクションはスキップされて、拒否されたことを示すエラー メッセージと共に XML が _err ファイルに書き込まれます。

ルールの構文

以下の表は、データ変換ルール セットで 사용되는 XML タグの説明です。

タグ	説明
<?XML version="1.0" encoding="codepage"?>	GRLoader に対してさまざまなコード ページを指定します。
<ruleset>	ルール セットを開始します。ルール セットには、数多くのルールを含めることができます。
<rule>	ルールを開始します。
<attribute>attr_name</attribute>	このルールが適用される属性を指定します。 attribute は、有効な CA CMDB 属性名である必要があります。
<from>value</from>	変更する値を指定します。<from> タグは、<comparetype> タグによって修飾されます。
<to>value</to>	置き換える値を指定します。
<comparetype>value</comparetype>	(オプション)以下の値のうち 1 つを指定します。 <ul style="list-style-type: none"> ■ 等しい ■ startswith (前方一致) ■ endswith (後方一致) ■ contains (含む) ■ equalsignorecase (大文字小文字を無視して一致) 指定されていない場合のデフォルトは「equals」です。
<reject>yes</reject>	GRLoader が CI または関係を拒否することを指定します。 拒否する場合は「yes」または「1」を指定します。 拒否しない場合は「no」または「0」を指定します。 ルール内に指定されていない場合のデフォルトは「no」(拒否しない)です。
<rulename>rule_name</rulename>	(オプション)このルールに割り当てる識別用の名前です。この名前は、デバッグ メッセージに表示されます。
</rule>	ルールを終了します。
</ruleset>	ルール セットを終了します。

変換を有効にした GRLoader の実行

変換を使用して GRLoader を実行するには、**-tf filename** オプションを付けて GRLoader を実行します。filename には、変換ルール セットが含まれているファイルを指定します。

注: または、構成ファイルに `grloader.translationfile=filename` を指定します。

ログ記録

入力の変更は、`stdlog.n` および GRLoader ログ メッセージに記録されます。これらには、変換ルールが実行された後のデータの値が反映されます。

`-T` オプションを 5 以上に設定して GRLoader を実行すると、追加のデバッグ情報を表示できます。

ローカライズされた CA CMDB に関する考慮事項

ローカライズされた CA CMDB を実装する場合は、クラス名およびファミリ名を異なる言語に変換できます。変換ルールは、`$nxroot/java/lib/GRLoader` ディレクトリに提供されています。これらのルールは、`xlate_xx_to_yy.RUL` という名前です。xx および yy は、言語コードを表しています(en、fr、es、dm など)。

これらのルールを拡張して、追加の SREL フィールドを設定できます。

XML ヘッダ

XML コーディング標準に従うと、ルール セット内の XML コンテンツに UTF-8 以外の文字が含まれている場合には、XML 変換ファイルの先頭に以下のような行を記述する必要があります。

```
<?XML version="1.0" encoding="codepage"?>
```

codepage では、コード ページが定義されます。

注: GRLoader XML の詳細については、CA CMDB の「テクニカル リファレンス ガイド」を参照してください。

ルールのテスト

XML 入力ファイルを GRLoader で実行する前に、ルールをテストして、変換の結果を確認します。

変換ルールをテストするには、「-a」オプションまたは「-n」オプションを指定しないで GRLoader を実行します。

挿入や更新を行わないで実行すると、変換および検証された XML が効率的に `_err.XML` ファイルに書き込まれ、このファイルでルール変換の結果を確認することができます。

リモート MDR からの GRLoader の実行

GRLoader を使用すると、以下の 2 つのいずれかの方法でリモート MDR から CMDB にデータをコピーできます。

- MDR を実行するリモート システムから CA CMDB を実行するシステムに XML データをコピーして、CA CMDB システムで GRLoader を実行する。
- リモート MDR システム自体で GRLoader を実行する。

CA CMDB がインストールされていないリモート システムから GRLoader を実行するように準備するには、以下の手順に従います。

1. JRE (Java Runtime Environment) バージョン 6.0 以上のバージョンがインストールされており、利用可能であることを確認します。
2. `%NX_ROOT%¥java¥lib` ディレクトリの内容を、CA CMDB システムから GRLoader を実行するリモート システムのディレクトリにコピーします。このリモート ディレクトリを `%ROOT%` と呼びます。
3. `NX.ENV` という名前のファイルを `%ROOT%` ディレクトリに作成します。
`@NX_LOG=path_which_will_contain_log_files`
4. ディレクトリ `%ROOT%¥site¥cfg` を作成します。
5. ディレクトリ `%ROOT%¥log` を作成します。

リモート システムから GRLoader を実行するには、以下のコマンドを実行します。

```
java -Xmx512M -cp %ROOT% -jar %ROOT%/GRLoader.jar -N %ROOT% -u [userid] -s [server] -i [他の GRLoader オプション]
```

ここで `%ROOT%` は、ステップ 2 でコピーされたファイルが含まれている完全修飾パスです。

GRLoader およびマルチテナンシー

マルチテナンシーでは、CA CMDB の単一の実装において、ハードウェアおよびソフトウェアのサポート リソースを複数の独立したテナントで共有できます。XML でテナント属性(<tenant>)を使用することにより、CA CMDB 内でマルチテナンシーとして使用されるテナントが GRLoader によって割り当てられるようにすることができます。テナント属性に対して行うすべての変更は、CA CMDB の[バージョン指定]タブに反映されます。

テナント属性を以下に示します。

<tenant>

CI または関係のテナント割り当てを指定します。PUBLIC を使用して、オブジェクトがパブリックであることを指定することができます。オブジェクトでテナントが設定されるかどうかは、デフォルトの役割のテナント アクセスに応じて決まります。

注: テナント アクセスの詳細については、「管理ガイド」を参照してください。

GRLoader を使用してマルチテナンシーを実装する前に、テナント割り当てについての以下の動作を考慮してください。

- テナントは、CI または関係の作成時にのみ割り当てることができます。
- GRLoader によってロードされるすべての CI には、XML ファイル内のデフォルトテナントまたは特定のテナントが割り当てられます。
- GRLoader XML を使用すると、CI または関係の <tenant> 属性またはデフォルトテナントを指定することができます。
- <tenant> もデフォルト テナントも指定しない場合、テナントは空であると見なされ、ログオン ユーザのデフォルトの役割に基づいてテナントが割り当てられます。このデフォルトの役割に基づいた割り当ては、CI の作成時にテナントが指定されない CA Cohesion やその他の MDR で主に使用されます。
- GRLoader では、以下のソースからの入力に基づいて、CI または関係のテナントが設定されます。デフォルトの役割で、作成されたオブジェクトのテナントの選択が可能である場合には、オブジェクトのテナントを具体的に設定することができます。<tenant> を使用する場合は、マルチテナンシー オプションが[セットアップ]または[オン]に設定されている必要があります。
 - XML に <tenant> を含める
 - GRLoader 起動時に -dt コマンド ライン オプションを使用する
 - 構成ファイルで grloader.defaulttenant オプションを使用する
 - 連絡先に関連付けられているデフォルト テナント

例：オブジェクトのテナントの設定

デフォルト アクセスでは、特定のテナントの CI およびパブリックに使用される CI を作成できます。いくつかのパブリック CI を作成します。

PUBLIC のデフォルト テナントのを指定して GRLoader を実行し、新しいオブジェクトのテナントを具体的に指定します。

注： テナント アクセスおよびテナント割り当てルールの詳細については、「[管理ガイド](#)」を参照してください。

関連項目：

[マルチテナンシーが CI に影響する仕組み](#) (181 ページ)

第 4 章: CI 調整

このセクションには、以下のトピックが含まれています。

[CI 調整属性](#) (165 ページ)

[トランザクション ワーク エリア属性](#) (167 ページ)

CI 調整属性

調整は、インポートされた CI データと CMDB の CI を関連付けます。

調整では、CI を特定する下記の属性が使用されます。

- 名前
- シリアル番号
- 資産番号
- システム名
- DNS 名
- MAC アドレス

既存の CI を作成または参照する場合は、これらの値を少なくとも 1 つ指定する必要があります。

以下のテーブルには調整処理の結果が表示されます。

名前	シリアル番号	資産番号	システム名	DNS 名	MAC アドレス	Result
固有	Null	Null	Null	Null	Null	CI が作成されました
Null	固有	Null	Null	Null	Null	CI が作成されました
Null	Null	固有	Null	Null	Null	CI が作成されました
Null	Null	Null	固有	Null	Null	CI が作成されました
Null	Null	Null	Null	固有	Null	CI が作成されました
Null	Null	Null	Null	Null	固有	CI が作成さ

名前	シリアル番号	資産番号	システム名	DNS 名	MAC アドレス	Result
						れました
重複	重複	重複	固有	重複	重複	CI が作成されました
固有	重複	重複	重複	重複	重複	重複 CI として認識されました
Null	Null	Null	Null	固有	固有	CI が作成されました
Null	Null	Null	Null	重複	固有	重複 CI として認識されました
Null	Null	Null	Null	固有	重複	重複 CI として認識されました
重複	重複	固有	重複	重複	重複	CI が作成されました
重複	固有	重複	重複	重複	重複	CI が作成されました
重複	重複	重複	重複	重複	固有	重複 CI として認識されました
重複	重複	重複	重複	固有	重複	重複 CI として認識されました
重複	重複	重複	重複	固有	固有	重複 CI として認識されました

関連項目：

[J2EE 対応のファミリー、クラス、および調整\(102 ページ\)](#)

トランザクション ワーク エリア属性

トランザクション ワーク エリア (twa) テーブルは次のとおりです:

ci_twa_ci

すべての CA CMDB ファミリーにわたってすべての属性を含む単一のテーブル。顧客とサービスがコンテンツをより容易に理解し操作できるように、テーブル データは非正規化された形式で保存されます。

ci_twa_relation

ci_twa_ci table を補足します。関係情報を含んでいます。

ci_twa_statusnames

行ステータス用の記述ラベル。

外部プロセスはこれらのテーブルを更新します。また、GRLoader はトランザクション処理中にそれらを読み取ります。処理が完了すると、GRLoader は、トランザクションが正常に完了したかどうかを示すために row_status と tran_message の列を更新します。

注: 複数のエラーまたは警告が発生すると、メッセージが連結されます。

関連項目:

[ci_twa_ci 属性](#) (167 ページ)

[ci_twa_relation 属性](#) (168 ページ)

ci_twa_ci 属性

ci_twa_ci テーブルは、CI トランザクション用の属性を含んでいます。

列名	注意事項
ID	トランザクション ID
last_mod_dt	行が追加または更新されると、現在の日付を設定します。
tran_dt	行が追加される場合、値が提供されなければ、現在の日付と時間を設定します。
creation_date	行が追加されると、現在の日付と時間を設定します。
delete_flag	行が追加される場合、他の値が提供されなければ、ゼロ (0) を設定します。

列名	注意事項
tran_status	行が追加される場合、他の値が提供されなければ、ゼロ (0)を設定します。

ci_twa_relation 属性

ci_twa_relation テーブルは、関係トランザクション用の属性を含んでいます。

列名	注意事項
ID	トランザクション ID
last_mod_dt	行が追加または更新されると、現在の日付を設定します。
tran_dt	行が追加される場合、値が提供されなければ、現在の日付と時間を設定します。
creation_date	行が追加されると、現在の日付と時間を設定します。
delete_flag	行が追加される場合、他の値が提供されなければ、ゼロ (0)を設定します。
tran_status	行が追加される場合、他の値が提供されなければ、ゼロ (0)を設定します。

第 5 章: CA CMDB Web サービス

このセクションには、以下のトピックが含まれています。

[CA CMDB Web サービス \(169 ページ\)](#)

[Web サービスの展開 \(169 ページ\)](#)

[Web サービス コンポーネント \(170 ページ\)](#)

[ログイン \(172 ページ\)](#)

[CA CMDB Web サービス アクセス \(172 ページ\)](#)

[WSDL ドキュメント \(174 ページ\)](#)

[セキュリティに関する考慮事項 \(174 ページ\)](#)

[CMDBf 実装: CA CMDB の制限 \(175 ページ\)](#)

CA CMDB Web サービス

CA CMDB では、CMDBf Web サービス標準バージョン 1.0 をサポートする高レベルの Web サービスのセットが提供されます。これらのサービスによって、CMDBf/DMTF 標準に準拠した統一 MDR などの外部 CMDBf 連携アプリケーションや登録された MDR (Management Data Repository、管理データ リポジトリ) が、CA CMDB と対話することが可能になります。

CMDBf 仕様は、以下のドキュメントに記載されています。

<http://cmdbf.org/schema/1-0-0/CMDBf%20v1.0.pdf>

Web サービスの展開

CA CMDB インストールは自動的に CA CMDB Web サービスを展開します。必要に応じて、Web サービスを再展開することもできます。

CA CMDB Web サービスを再展開するには、以下の手順に従います。

1. 以下のコマンドを実行します。
: install-dir %sdk%\websvc\cmdbf
2. 以下のファイルを展開します。
 - deploy.wsdd
 - cmdbf.jar

3. 以下のファイルを実行します。

deploy_cmdbws.bat

CA CMDB Web サービスが展開されます。

Web サービス コンポーネント

CA CMDB CMDB Web サービスは、2 つの定義済みサービスで構成されています。

登録サービス

クライアントは CI および関係を作成/更新できます。エンドポイントは以下のアドレスに配置することができます。

http://<servename>:<port >/axis/services/RegistrationPort

クエリ サービス

クライアントは CI および関係についてクエリを実行することができます。エンドポイントは以下のアドレスに配置することができます。

http://<servename>:<port >/axis/services/QueryPort

登録サービス

登録サービスでは、プッシュ モード フェデレーションが使用されます。プッシュ モード フェデレーションの基本は以下のとおりです。

- クライアントは、登録する構成アイテムまたは関係のための登録操作を呼び出します。各アイテムまたは関係は、登録サービスによってサポートされている少なくとも 1 つのレコード タイプに関連付けられている必要があります。

注: CMDBf 登録 Web サービスは新しい CI を作成するか、あるいは CI がすでに存在する場合はそれを更新します。CI がすでに存在し、非アクティブである場合、CI はアクティブにセットされます。また、それに渡された属性がすべて更新されます。非アクティブ CI への更新を防ぐためには、属性のうち 1 つとして非アクティブを送信します。

- 登録サービスは、登録操作で名前が付けられた各アイテムまたは関係の登録ステータスで応答します。ステータスは[承認済み]または[declined]のいずれかです。

管理データ リポジトリ(MDR)でも登録操作を使用して登録されたデータを更新します。更新には以下のいずれかを組み合わせることができます。

- プロパティ値の変更など、既存のデータへの変更
- この構成アイテムまたは関係に対して以前に登録されたレコード タイプの登録の取り消し

MDR 登録

MDR を登録するには、以下の手順に従います。

1. CMDBf Web サービスを使用して CI を登録する前に、有効な MDR を手作業で作成します。
2. MdrName をユーザの MDR 名に設定します。
3. MdrClass を「cmdbf」(静的値)に設定します。

クエリ サービス

クエリ サービスには単純なインスタンス クエリからより複雑なトポロジ クエリにまで使用できる **GraphQL** 操作が含まれています。GraphQL 要求では、対象のアイテムと関連付けをグラフの形式で説明します。制約をそのグラフのノード(アイテム)およびエッジ(関連付け)に適用すると、それらを精密化することができます。

GraphQL 応答にはアイテムおよび関係が含まれており、それらを組み合わせてクエリにグラフの制約を満たすグラフを作成します。グラフ クエリのレベル深度は 1 のみです。

関連項目：

[CMDBf 実装: CA CMDB の制限\(175 ページ\)](#)

ログイン

クレデンシャル情報を Java または SOAP メッセージのいずれかを介して渡すことによってログインします。以下に、ログイン方法の例を示します。

例: Java

```
QueryBindingStub binding;

binding = (QueryBindingStub) new QueryServiceLocator().getQueryPort(new URL(Endpoint));

SOAPHeaderElement Header = new SOAPHeaderElement("http://schemas.xmlsoap.org/soap/envelope/" securityHeader");

Header.setPrefix("sec");

javax.xml.soap.SOAPElement Element = null;

Element = Header.addChildElement("username");
Element.addTextNode("CMDBAdmin");
Element = Header.addChildElement("password");
Element.addTextNode("password");
binding.setHeader(Header);
```

例: SOAP メッセージ

```
<soapenv:Header>
  <sec:securityHeader xmlns:sec="http://schemas.xmlsoap.org/soap/envelope/">
    <sec:username>CMDBAdmin</sec:username>
    <sec:password>password</sec:password>
  </sec:securityHeader>
</soapenv:Header>
```

CA CMDB Web サービス アクセス

以下のいずれかの方法を使用して CA CMDB Web サービスにアクセスできます。

- SOAP インターフェースに独自のメッセージを作成して、エンドポイントを呼び出す
- 独自の Java プログラムを記述して CA CMDB エンドポイントにアクセスする

CA CMDB のすべてのファミリーからすべての CI を返すコード

以下のコードを使用すると、CA CMDB 内のすべてのファミリーからすべての CI を返すことができます。

```
<soapenv:Envelope xmlns:soapenv="http://schemas.xmlsoap.org/soap/envelope/"
xmlns:dat="http://cmdbf.org/schema/1-0-0/datamodel">
  <soapenv:Header>
    <sec:securityHeader xmlns:sec="http://schemas.xmlsoap.org/soap/envelope">
      <sec:username>cmdbadmin</sec:username>
      <sec:password>miramar</sec:password>
    </sec:securityHeader>
  </soapenv:Header>
  <soapenv:Body>
    <dat:query>
      <itemTemplate suppressFromResult="false" id="All">
        [制約はここに移動]
      </itemTemplate>
    </dat:query>
  </soapenv:Body>
</soapenv:Envelope>
//*****//
```

サンプル Java プログラム

CA CMDB では、Web サービス クライアント アプリケーションの開発に役立つ以下のサンプル Java プログラムが用意されています。

- RegistrationServiceTestCase.java では、2 つの CI および関連付けを作成する方法を表示します。
- QueryServiceTestCase.java では、すべての CI に CMDB を問い合わせる方法を表示します。

サンプル プログラムは、以下の場所にあります。

```
%NX_ROOT%\sdk\websvc\cmdbf\
```

WSDL ドキュメント

必要な WSDL (Web Services Description Language、Web サービス記述言語)ドキュメントの場所は、使用する CA CMDB の機能によって異なります。場所を以下に示します。

- 登録用の CMDBf Web サービスの WSDL の初期設定のロケーションの URL を以下に示します。

```
http://<servname>:<port>/axis/services/RegistrationPort?wsdl
```

- graphQuery 用の CMDBf Web サービスの WSDL の初期設定のロケーションの URL を以下に示します。

```
http://<servname>:<port>/axis/services/QueryPort?wsdl
```

注: 多くのサーブレット コンテナでは 80 とは異なるポート番号を使用します。たとえば、Tomcat の初期設定はポート 8080 です。これは、インストール中に確立されます。

セキュリティに関する考慮事項

Web サービスを展開するときに考慮すべき重要なセキュリティ事項があります。HTTP を使用する場合、その初期設定にはセキュリティ上の脆弱性があります。つまり、Web サービス コール内の全情報は、HTTP プロトコルを使用してネットワーク上のクライアントとサーバ間を平文で送信されてしまいます。この構成には、アプリケーション データおよびログイン方法が含まれており、パスワードが含まれている場合もあります。Web サービスを展開する管理者は、セキュリティについて慎重に検討し、アプリケーションおよびネットワークの両方のレベルで追加の構成手順を実行して、Web サービス環境を確実に保護するように努めてください。

重要: HTTP で使用されるデフォルトの Web サービス構成にはセキュリティ上の脆弱性があるため、パスワードの漏洩、セッションの固定、データの盗み見などのセキュリティの脅威に曝されています。

CMDBf 実装: CA CMDB の制限

CA CMDB では CMDBf の実装に制限があります。以下の CMDBf 疑似スキーマは、いくつかの制限を示しています。

```

<query>
  <itemTemplate id="xs:ID" suppressFromResult="xs:boolean">
    (<contentSelector ...>...</contentSelector> ?
    <instanceIdConstraint>...</instanceIdConstraint> ?
    <recordConstraint>
      <recordType .../> *
      <propertyValue ...>...</propertyValue> *
    </recordConstraint> *)
    |
    (<xpathExpression...>...</xpathExpression> *)
    xs:any
  </itemTemplate> *
  <relationshipTemplate id="xs:ID" suppressFromResult="xs:boolean">
    (<contentSelector ...>...</contentSelector> ?
    <instanceIdConstraint>...</instanceIdConstraint> ?
    <recordConstraint>
      <recordType>...</recordType> *
      <propertyValue>...</propertyValue> *
    </recordConstraint> *)
    |
    (<xpathExpression ...>...</xpathExpression> *)
    <sourceTemplate ref="xs:IDREF" minimum="xs:int"?
    maximum="xs:int"?>
    <targetTemplate ref="xs:IDREF" minimum="xs:int"?
    maximum="xs:int"?>
    <depthLimit ... /> ?
    xs:any
  </relationshipTemplate> *
</query>

```

項目テンプレートの制限

CA CMDB の実装は、CMDBf 仕様に従っており、以下の項目テンプレートの制限があります。

- 1 つの `ItemTemplate` の下の複数の `RecordConstraints` は、論理 AND ではなく、論理 OR として処理されます。

- `suppressFromResult="xs:boolean"` はサポートされていません。

CA CMDB は常に結果を表示します。

- `<contentSelector matchedRecords="xs:boolean">: matchedRecords="true"` はサポートされていますが、`matchedRecords="false"` はサポートされていません。

CA CMDB では、1 つの `contentSelector` あたり 1 つの `selectedRecordType` のみがサポートされています。

- `<recordConstraint>` は 1 つの `<recordType ... />` 表現のみをサポートします。たとえば、`<recordType namespace="http://cmdb.ca.com/Hardware" localName="Hardware.Server"/>`

`localName` 表現では、有効な CA CMDB ファミリーを指定する必要があります。

スペースを含むファミリー名内の各スペースをダッシュ(-)に置き換えます。たとえば、`Software.Application Server` を `Software.Application-Server` に置き換えます。

- `<propertyValue namespace="xs:anyURI" localName="xs:NCName" recordMetadata="xs:boolean" matchAny="xs:boolean">`

`recordMetadata` はサポートされていません。

`matchAny` はデフォルト値である `false` に設定されます。この値は、すべてのプロパティ値に対して「論理 AND」および「論理 OR」CMDBf クエリを許可します。「論理 AND」クエリはサポートされていません。

「like」演算子はサポートされていません。

「equals」は大文字小文字の区別、または否定をサポートしていません。

- `<xpathExpression...>...</xpathExpression>`: は実装されていません。

登録の制限

登録には以下の制限があります。

- 1 つの項目要素の下にある複数のレコード要素または関係要素はサポートされていません。
- 追加のレコード タイプ

関係テンプレートのサポートと制限

CA CMDB では、以下の `relationshipTemplate` 機能がサポートされています。

- `contentSelector`
- `relationshipTemplate ID`
- `recordConstraint - propertySelectors` を使用可能
- `sourceTemplate`
- `targetTemplate`

CA CMDB では、以下の `relationshipTemplate` 機能はサポートされていません。

- ソース/ターゲット テンプレート `@minimum`
- ソース/ターゲット テンプレート `@maximum`
- `@MaxIntermediateItems` を使用した深さ制限
- `@intermediateItem` テンプレートを使用した深さ制限
- `instanceIdConstraint`
- `xpathExpression`
- 関係テンプレートの `suppressFromResult`

例: `contentSelector` および `propertySelectors` を使用して、`recordConstraint` の下で要求 `relationshipTemplate` を登録

```
<relationshipTemplate id="rels">
  <contentSelector>
    <selectedRecordType namespace="http://cmdb.ca.com/r1" localName="is-deployed-by">
      <selectedProperty namespace="http://cmdb.ca.com/r1" localName="last_mod_by"/>
      <selectedProperty namespace="http://cmdb.ca.com/r1" localName="last_mod_dt"/>
      <selectedProperty namespace="http://cmdb.ca.com/r1" localName="child"/>
      <selectedProperty namespace="http://cmdb.ca.com/r1" localName="parent"/>
    </selectedRecordType>
  </contentSelector>
  <sourceTemplate ref="Linux1" />
  <targetTemplate ref="Linux2" />
  <recordConstraint>
    <recordType namespace="http://cmdb.ca.com/r1" localName="is-deployed-by"/>
    <propertyValue namespace="http://cmdb.ca.com/r1" localName="parent"
      matchAny="true">
      <equal>test</equal>
    </propertyValue>
  </recordConstraint>
</relationshipTemplate>
```

例: 応答(edges の部分)

```
<edges templateId="rels">
  <relationship xsi:type="ns3:RelationshipType" xmlns:ns3="http://cmdbf.org/schema/1-0-0/datamodel">
    </ソース>
    <mdrId xsi:type="xsd:string">http://cmdb.ca.com/r1</mdrId>
    <localId xsi:type="xsd:string">nr:C2B975A96C03934BA61080C0F79C8BD2</localId>
    </source>
    <target>
    <mdrId xsi:type="xsd:string">http://cmdb.ca.com/r1</mdrId>
    <localId xsi:type="xsd:string">nr:B985B5297C46224283D0E5F2632A2A44</localId>
    </target>
    <record xsi:type="ns3:RecordType">
      <recordMetadata>
        <recordId xsi:type="xsd:string">bmhier:400004</recordId>
      </recordMetadata>
      <is-deployed-by xmlns="http://cmdb.ca.com/r1/is-deployed-by">
        <child>ali5</child>
        <last_mod_dt>6 Oct 2008 16:34:48 GMT</last_mod_dt>
        <parent>ali</parent>
        <last_mod_by>ServiceDesk</last_mod_by>
      </is-deployed-by>
    </record>
    <instanceId xsi:type="ns3:MdrScopedIdType">
      <mdrId xsi:type="xsd:string">http://cmdb.ca.com/r1</mdrId>
      <localId xsi:type="xsd:string">bmhier:400004</localId>
    </instanceId>
  </relationship>
</edges>
```

一般的な制限

以下の一般的な制限が適用されます。

- <recordMetadata>
 - <recordId>...</recordId>
 - <lastModified>...</lastModified> ?
 - <baselineId>...</baselineId> ?
 - <snapshotId>...</snapshotId> ?
 - xs:any </recordMetadata>:

注: recordMetadata はレコード ID および xs:any のみを返します。

その他の値は CA CMDB に対して何も意味がありません。

- CA CMDB では、equal、contains、および like 演算子の小文字と大文字は区別されません。
- CA CMDB では、独自のワイルドカード文字としてのエスケープシーケンスはサポートされていません。
- CMDBf は、XSD date および XSD dateTime 形式をサポートしています。
"YYYY-MM-DD" -XSD date
"YYYY-MM-DDThh:mm:ss" -XSD dateTime

日付データ タイプ

日付データ タイプは以下の形式で指定されます。

YYYY-MM-DD

各項目は以下のとおりです。

YYYY

年を指定。

MM

月を指定。

DD

月の日付を指定。

注: すべてのコンポーネントは必須です。

日付時間データ タイプ

日付時間データ タイプを使用してその日の日付と時間の両方を指定します。

dateTime は以下の形式で指定されます。

YYYY-MM-DDThh:mm:ss

各項目は以下のとおりです。

YYYY

年を指定。

MM

月を指定。

DD

日付を指定。

T

必要な時間セクションの開始を指定。

hh

時間を指定。

mm

分を指定。

ss

秒を指定。

注: すべてのコンポーネントは必須です。

第 6 章：マルチテナンシーおよび CI

このセクションには、以下のトピックが含まれています。

[マルチテナンシーが CI に影響する仕組み](#) (181 ページ)

[CI リストおよびマルチテナンシー関係](#) (182 ページ)

[CI 作成およびマルチテナンシー関係](#) (183 ページ)

[CI 更新およびマルチテナンシー関係](#) (185 ページ)

マルチテナンシーが CI に影響する仕組み

以下の CA CMDB オブジェクトがテナント化されています。

- CI および関連する拡張テーブル
- CI 関係
- MDR (Management Data Repository、管理データ リポジトリ) プロバイダ
- MDR マッピング

効率的に CI を作成、編集、および一覧表示するには、CI に対するマルチテナンシーの影響について理解する必要があります。CI を作成、一覧表示、または更新する場合には、以下の事項を考慮してください。

- マルチテナンシーがインストールされると、[役割の詳細] フォームの [権限] タブに [テナント アクセス] と [テナント書き込みアクセス] ドロップダウン リストが表示されます。以下のオプションがあります。
 - 連絡先のテナント
 - シングル テナント
 - テナント グループ
 - すべてのテナント

指定されたテナント アクセスは、CA CMDB 関連のアプリケーションの CI に対してどのような操作を実行できるかに影響を及ぼします。

- 連絡先に対してテナント アクセスまたはテナント書き込みアクセスのタイプが指定されていない場合は、デフォルトの役割が使用されます。
- [ロールの詳細] フォームの [Update Public] チェック ボックスによって、ロール内のユーザがパブリック データを作成または更新する権限があるかどうかを制御されます。テナント ユーザはそれらのテナントが所有していないデータへの読み取り専用アクセスに制限されるので、このチェック ボックスはサービス プロバイダと関連付けられたユーザにとってのみ効果的です。

重要: サービス プロバイダ以外にテナントと関連付けられたユーザは、自身の役割に権限が与えられた場合は除き、自分のテナントと関連付けられたオブジェクトの作成または更新のみができます。サービス プロバイダと関連付けられたユーザは、自身以外のテナントが所有しているオブジェクトを作成または更新することが許可されます。

関連項目:

[GRLoader およびマルチテナンシー \(162 ページ\)](#)

CI リストおよびマルチテナンシー関係

以下の表に、マルチテナンシーが有効である CA CMDB 関連アプリケーションで CI を一覧表示した結果を示します。

この表は、役割アクセス オプションの数多くの可能な組み合わせ、およびそれらがさまざまなアプリケーションに与える影響についての一部のみを示しています。

役割テナントのアクセス オプション	Web UI	CA APM	Visualizer	GRLoader	CA Cohesion ACM
連絡先のテナント	同じテナント内でパブリックな CI を一覧表示	すべての CI を一覧表示	同じテナント内でパブリックな CI を一覧表示	同じテナント内でパブリックな CI を一覧表示	同じテナント内でパブリックな CI を一覧表示
単一テナント	同じテナント内でパブリックな CI を一覧表示	すべての CI を一覧表示	同じテナント内でパブリックな CI を一覧表示	同じテナント内でパブリックな CI を一覧表示	同じテナント内でパブリックな CI を一覧表示
テナント グループ	テナント グループ内のすべてのテナントのパブリックな CI を一覧表示	すべての CI を一覧表示	テナント グループ内のすべてのテナントのパブリックな CI を一覧表示	テナント グループ内のすべてのテナントのパブリックな CI を一覧表示	テナント グループ内のすべてのテナントのパブリックな CI を一覧表示
すべてのテナント	すべての CI を一覧表示	すべての CI を一覧表示	すべての CI を一覧表示	すべての CI を一覧表示	すべての CI を一覧表示

CI 作成およびマルチテナンシー関係

以下の表に、マルチテナンシーが有効である CA CMDB 関連アプリケーションで CI を作成した結果を示します。

この表は、役割アクセス オプションの数多くの可能な組み合わせ、およびそれらがさまざまなアプリケーションに与える影響についての一部のみを示しています。

役割テナントのアクセス オプション	Web UI	CA APM	Visualizer	GRLoader	CA Cohesion ACM
連絡先のテナント	CI テナントがサインオンしたユーザに割り当てられる	CI テナントがパブリックとして作成される	Web UI を使用して CI を作成	CI テナントが、サインオンしたユーザに関連付けられたデフォルト テナントとなる 注: 各データ ソースに対して個別の連絡先を設定することをお勧めします。連絡先定義では、連絡先のテナントである役割を指定する必要があります。	CI テナントがサインオンしたユーザに割り当てられる
単一テナント	CI テナントがサインオンしたユーザのプロキシに割り当てられる	CI テナントがパブリックとして作成される	Web UI を使用して CI を作成	CI テナントが、サインオンしたユーザに関連付けられたデフォルト テナントとなる 注: 各データ ソースに対して個別の連絡先を設定することをお勧めします。連絡先定義では、連絡先のテナントである役割を指定する必要があります。	CI テナントがサインオンしたユーザのプロキシに割り当てられる
テナント グループ	CI テナントは、グループ内	CI テナントがパブリックとして作成される	Web UI を使用して CI を作成	<tenant> オプションを使用してテナントを割り当て可	-dt が指定されていない場合は、CI はパブリックとして

役割テナントのアクセス オプション	Web UI	CA APM	Visualizer	GRLoader	CA Cohesion ACM
	<p>のテナントのみを含む UI 内のリストから選択可能</p> <p>注: デフォルト テナントは、GRLoader の <code>-dt</code> オプションを使用して書きできます。</p>			<p>能</p> <p>注: 各データソースに対して個別の連絡先を設定することをお勧めします。連絡先定義では、連絡先のテナントである役割を指定する必要があります。</p>	作成される
すべてのテナント	<p>CI テナントは、UI 内のリストから選択可能</p>	<p>CI テナントがパブリックとして作成される</p>	<p>Web UI を使用して CI を作成</p>	<p><code><tenant></code> オプションを使用してテナントを割り当て可能 テナントが指定されていない場合、デフォルトはパブリック</p> <p>注: 各データソースに対して個別の連絡先を設定することをお勧めします。連絡先定義では、連絡先のテナントである役割を指定する必要があります。</p>	<p><code>-dt</code> が指定されていない場合は、CI はパブリックとして作成される</p>

CI 更新およびマルチテナンシー関係

以下の表に、マルチテナンシーが有効である CA CMDB 関連アプリケーションで CI を更新した結果を示します。CI を更新する場合には、以下の事項を考慮してください。

- 一覧表示可能な CI のみを更新できます。
- テナント属性は、コマンド ラインを使用することによってのみ変更できます。
- CA Cohesion ACM では、<tenant> 属性は設定されません。

この表は、役割アクセス オプションの数多くの可能な組み合わせ、およびそれらがさまざまなアプリケーションに与える影響についての一部のみを示しています。

役割テナントのアクセス オプション	Web UI	CA APM	Visualizer	GRLoader	CA Cohesion ACM
連絡先のテナント	同一テナント内の CI を更新できる 役割およびサービスプロバイダによってパブリックな読み取り/書き込みアクセスが決定される	任意の CI を更新できる	Web UI を使用して CI を更新する	同一テナント内の CI を更新できる 役割およびサービスプロバイダによってパブリックな読み取り/書き込みアクセスが決定される	同一テナント内の CI を更新できる 役割およびサービスプロバイダによってパブリックな読み取り/書き込みアクセスが決定される
単一テナント	同一テナント内の CI を更新できる 役割およびサービスプロバイダによってパブリックな読み取り/書き込みアクセスが決定される	任意の CI を更新できる	Web UI を使用して CI を更新する	同一テナント内の CI を更新できる 役割およびサービスプロバイダによってパブリックな読み取り/書き込みアクセスが決定される	同一テナント内の CI を更新できる 役割およびサービスプロバイダによってパブリックな読み取り/書き込みアクセスが決定される

役割テナントのアクセス オプション	Web UI	CA APM	Visualizer	GRLoader	CA Cohesion ACM
テナント グループ	<p>同一テナント内の CI を更新できる</p> <p>テナントグループ内の CI を更新できない</p> <p>役割およびサービス プロバイダによってパブリックな読み取り/書き込みアクセスが決定される</p> <p>複数のテナントで CI 関係を更新するには、連絡先がサービス プロバイダ テナントである必要がある</p>	任意の CI を更新できる	Web UI を使用して CI を更新する	<p>同一テナント内の CI を更新できる</p> <p>テナントグループ内の CI を更新できない</p> <p>役割およびサービス プロバイダによってパブリックな読み取り/書き込みアクセスが決定される</p> <p>複数のテナントで CI 関係を更新するには、連絡先がサービス プロバイダ テナントである必要がある</p>	<p>同一テナント内の CI を更新できる</p> <p>テナントグループ内の CI を更新できない</p> <p>役割およびサービス プロバイダによってパブリックな読み取り/書き込みアクセスが決定される</p> <p>複数のテナントで CI 関係を更新するには、連絡先がサービス プロバイダ テナントである必要がある</p>
すべてのテナント	任意の CI を更新できる	任意の CI を更新できる	Web UI を使用して CI を更新する	任意の CI を更新できる	任意の CI を更新できる